

令和4年度 貝塚市男女共同参画市民意識調査  
報告書

令和5年3月

貝塚市



# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査実施概要 .....	1
3. 標本誤差 .....	1
4. 報告書の見方 .....	2
<b>II 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1. 回答者自身と家族のことについて .....	3
2. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について .....	14
3. 家庭での役割分担について .....	32
4. 地域活動について .....	43
5. 男女平等に関する意識について .....	51
6. 性の多様性について .....	63
7. 女性視点での防災について .....	72
8. DV（ドメスティック・バイオレンス）について .....	74
9. 市の施策について .....	91
<b>III 調査票</b> .....	<b>130</b>





# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、「貝塚市男女共同参画計画（第4期）コスモスプラン」策定の基礎資料とするため実施しました。

## 2. 調査実施概要

対象	貝塚市内在住の満18歳以上の方 2,000人 (住民基本台帳から無作為抽出)
調査実施時期	令和4年6月14日(火)～6月30日(木)
調査方法	郵送配布、郵送回収
有効回答数	585件(29.4%) ※到着数1,993件に対して

## 3. 標本誤差

一般的に標本調査においては、信頼度95%のレベルでの結果を評価することが妥当とされており、信頼度95%における標本誤差は次の式で算出されます。主な標本誤差については下表の通りです。

例えば585人が回答している設問について、ある選択肢に回答した比率が50%であった場合、回答比率の誤差範囲は±4.0% (46.0%～54.0%) の間にあることが推測できます。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

信頼度95%：同一の調査を100回実施した場合、うち95回はこの誤差の範囲におさまるとのこと  
 N：母集団数（令和4年5月1日時点の18歳以上の男女70,481人）  
 n：標本数（本調査では回答総数=585）  
 P：測定値（回答の比率）

n \ P(%)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
585	±1.8%	±2.4%	±2.9%	±3.2%	±3.5%	±3.7%	±3.8%	±4.0%	±4.0%	±4.0%
500	±1.9%	±2.6%	±3.1%	±3.5%	±3.8%	±4.0%	±4.2%	±4.3%	±4.3%	±4.4%
400	±2.1%	±2.9%	±3.5%	±3.9%	±4.2%	±4.5%	±4.7%	±4.8%	±4.9%	±4.9%
300	±2.5%	±3.4%	±4.0%	±4.5%	±4.9%	±5.2%	±5.4%	±5.5%	±5.6%	±5.6%
200	±3.0%	±4.2%	±4.9%	±5.5%	±6.0%	±6.3%	±6.6%	±6.8%	±6.9%	±6.9%
100	±4.3%	±5.9%	±7.0%	±7.8%	±8.5%	±9.0%	±9.3%	±9.6%	±9.7%	±9.8%
50	±6.0%	±8.3%	±9.9%	±11.1%	±12.0%	±12.7%	±13.2%	±13.6%	±13.8%	±13.9%
25	±8.5%	±11.8%	±14.0%	±15.7%	±17.0%	±18.0%	±18.7%	±19.2%	±19.5%	±19.6%
10	±13.5%	±18.6%	±22.1%	±24.8%	±26.8%	±28.4%	±29.6%	±30.4%	±30.8%	±31.0%

#### 4. 報告書の見方

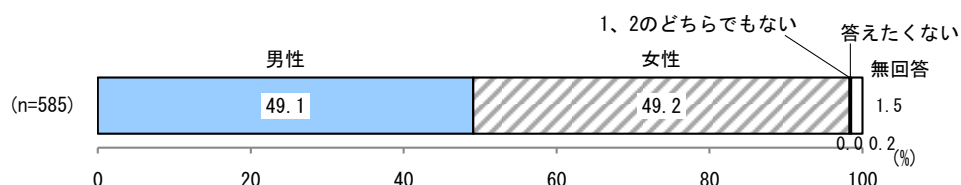
- ・ 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・ 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ・ 表については、報告書内で注目している箇所を「+太字」表記にしています。
- ・ クロス集計において、回答者数（n）が少数となる場合は標本誤差が大きくなるため、参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意が必要です。
- ・ 前回調査とは、貝塚市で平成23年に実施した「貝塚市男女共同参画に関する市民意識調査」のことです。

## II 調査結果

### 1. 回答者自身と家族のことについて

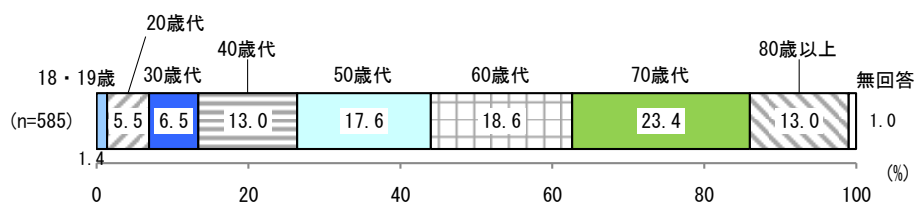
問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

回答者の性別については、「男性」が49.1%、「女性」が49.2%、「答えたくない」が0.2%となっています。



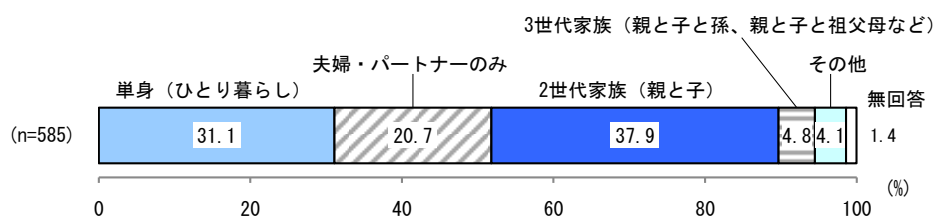
問2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

回答者の年齢については、「70歳代」が23.4%と最も高く、次いで「60歳代」(18.6%)、「50歳代」(17.6%)となっています。



問3 あなたのご家族の構成は次のどれですか。(○は1つ)

家族構成については、「2世代家族(親と子)」が37.9%と最も高く、次いで「単身(ひとり暮らし)」(31.1%)、「夫婦・パートナーのみ」(20.7%)となっています。

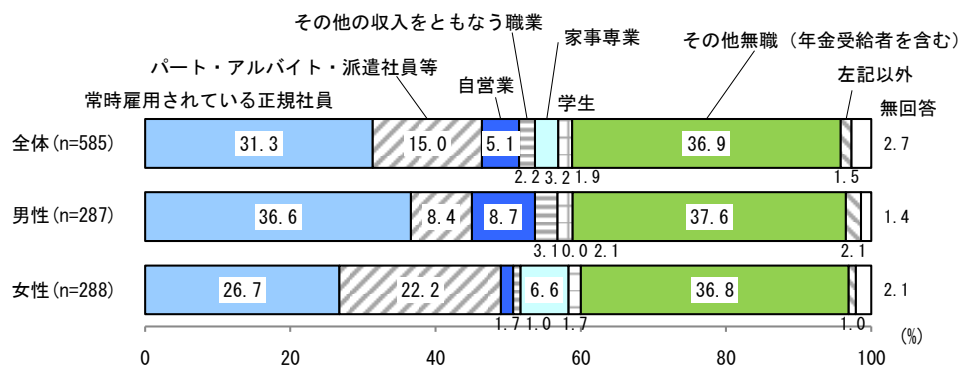


問4 あなたの主なお仕事をお答えください。(〇は1つ)

回答者の職業については、「その他無職（年金受給者を含む）」が36.9%と最も高く、次いで「常時雇用されている正規社員」（31.3%）、「パート・アルバイト・派遣社員等」（15.0%）となっています。

性別でみると、「女性」で「常時雇用されている正規社員」が26.7%と3割未満となっている一方で、「パート・アルバイト・派遣社員等」が22.2%と2割を超えています。

性年代別でみると、「男性」の「30～50歳代」では「常時雇用されている正規社員」が6割を超えている一方で、「女性」の「30～50歳代」では6割未満となっています。また、「女性」の「50歳代」で、「パート・アルバイト・派遣社員等」が39.7%と4割近くを占めています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	正規社員 常時雇用されている	派遣社員等	パート・アルバイト・ 派遣社員等	自営業	その他の収入を ともなう職業	家事専業	学生	その他無職（年金 受給者を含む）
全体		585	31.3	15.0	5.1	2.2	3.2	1.9	36.9	
男性	10～20 歳代	21	47.6	-	4.8	-	-	28.6	14.3	
	30 歳代	22	<b>77.3</b>	4.5	9.1	9.1	-	-	-	
	40 歳代	30	<b>73.3</b>	6.7	3.3	-	-	-	13.3	
	50 歳代	45	<b>66.7</b>	2.2	11.1	4.4	-	-	6.7	
	60 歳代	57	36.8	21.1	14.0	-	-	-	26.3	
	70 歳代	68	5.9	11.8	8.8	4.4	-	-	67.6	
	80 歳以上	43	2.3	-	2.3	4.7	-	-	86.0	
女性	10～20 歳代	19	42.1	15.8	-	-	5.3	21.1	10.5	
	30 歳代	16	<b>56.3</b>	25.0	-	-	-	-	18.8	
	40 歳代	45	<b>57.8</b>	22.2	2.2	-	4.4	-	8.9	
	50 歳代	58	<b>46.6</b>	<b>39.7</b>	1.7	-	3.4	-	6.9	
	60 歳代	52	7.7	32.7	3.8	-	15.4	1.9	36.5	
	70 歳代	68	4.4	10.3	1.5	4.4	8.8	-	70.6	
	80 歳以上	30	-	-	-	-	-	-	86.7	
		調査数	上記以外	無回答						
全体		585	1.5	2.7						
男性	10～20 歳代	21	4.8	-						
	30 歳代	22	-	-						
	40 歳代	30	3.3	-						
	50 歳代	45	4.4	4.4						
	60 歳代	57	1.8	-						
	70 歳代	68	1.5	-						
	80 歳以上	43	-	4.7						
女性	10～20 歳代	19	-	5.3						
	30 歳代	16	-	-						
	40 歳代	45	2.2	2.2						
	50 歳代	58	1.7	-						
	60 歳代	52	-	1.9						
	70 歳代	68	-	-						
	80 歳以上	30	3.3	10.0						

問5 あなたの1日の労働時間（残業・通勤時間を含む）の平均と1日の家事時間の平均は次のうちどれですか。（各項目で○は1つずつ）

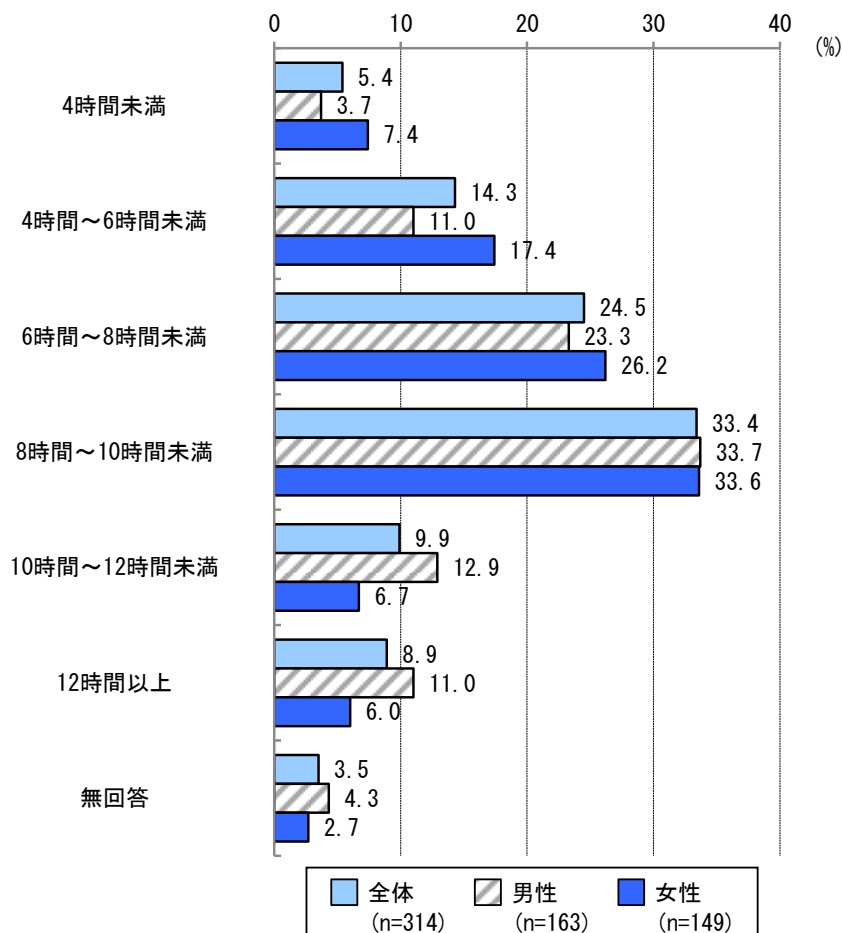
（※問4で「常時雇用されている正規社員」、「パート・アルバイト・派遣社員等」、「自営業」、「その他収入をともなう職業」のいずれかを答えた方にお伺いします。）

① 労働時間

回答者の1日の労働時間については、「8時間～10時間未満」が33.4%と最も高く、次いで「6時間～8時間未満」（24.5%）、「4時間～6時間未満」（14.3%）となっています。

性別でみると、「男性」で「10時間～12時間未満」（12.9%）・「12時間以上」（11.0%）がそれぞれ1割を超えています。

性・就労形態別でみると、「男性」の「常時雇用されている正規社員」で「10時間～12時間未満」（18.1%）・「12時間以上」（16.2%）を合わせた『10時間以上』の合計割合が34.3%と3割を超えています。



<性・就労形態別クロス表>

(%)

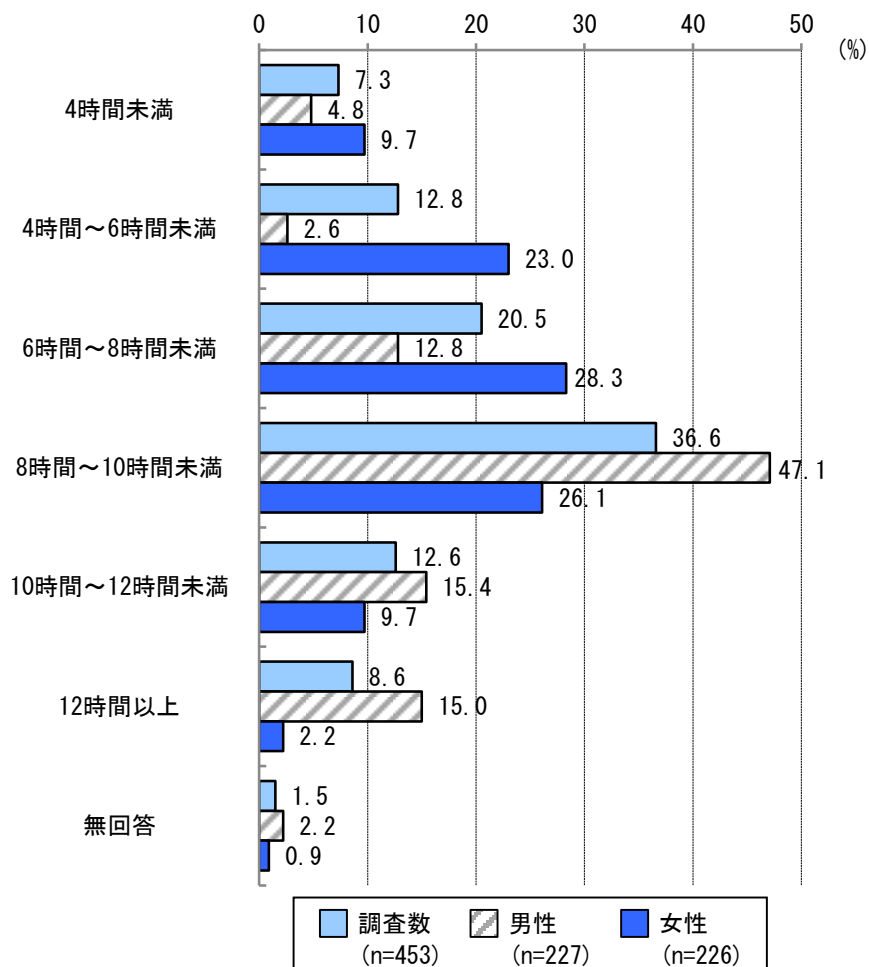
		調査数	4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間～10時間未満	10時間～12時間未満	12時間以上	無回答
全体		314	5.4	14.3	24.5	33.4	9.9	8.9	3.5
男性	常時雇用されている正規社員	105	1.0	1.0	17.1	45.7	18.1	16.2	1.0
	パート・アルバイト・派遣社員等	24	4.2	45.8	37.5	8.3	-	-	4.2
	自営業	25	12.0	16.0	32.0	16.0	8.0	4.0	12.0
	その他収入をとまなう職業	9	11.1	22.2	33.3	11.1	-	-	22.2
女性	常時雇用されている正規社員	77	-	1.3	20.8	53.2	13.0	9.1	2.6
	パート・アルバイト・派遣社員等	64	9.4	39.1	34.4	10.9	-	3.1	3.1
	自営業	5	40.0	-	20.0	40.0	-	-	-
	その他収入をとまなう職業	3	100.0	-	-	-	-	-	-

● 問5① 前回調査との比較

回答者の1日の労働時間について、全体では前回調査から大きな変化はみられません。

性別でみると、「男性」で、「8時間～10時間未満」が前回調査より13.4ポイント減少している一方で、「6時間～8時間未満」が10.5ポイント増加しています。また、「女性」で、「4時間～6時間未満」が5.6ポイント増加しています。また、「女性」で、「4時間～6時間未満」が5.6ポイント減少している一方で、「8時間～10時間未満」が7.5ポイント増加しています。

【前回調査】



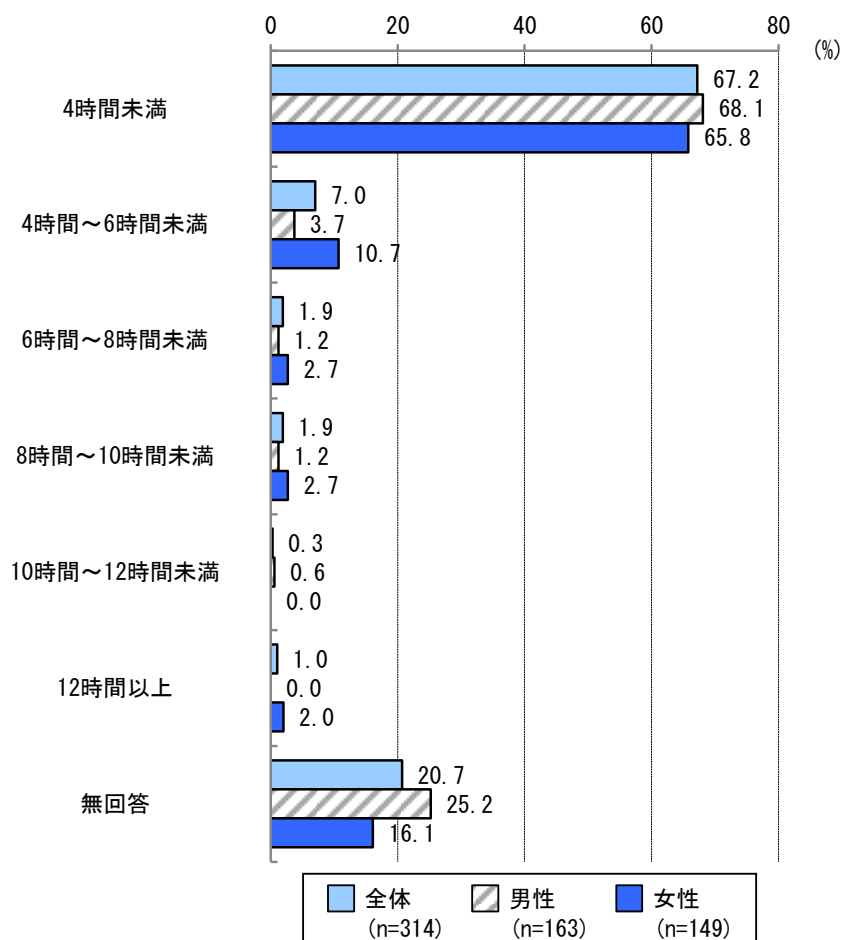


## ② 家事時間

回答者の1日の家事時間については、「4時間未満」が67.2%と最も高く、次いで「4時間～6時間未満」(7.0%)となっています。

性別でみると、「女性」で「4時間～6時間未満」が10.7%と1割を占めています。

性・就労形態別でみると、「女性」の「パート・アルバイト・派遣社員等」で「4時間～6時間未満」(15.6%)・「6時間～8時間未満」(1.6%)・「8時間～10時間未満」(4.7%)・「12時間以上」(1.6%)を合わせた『4時間以上』の合計割合が23.5%と2割を超えています。



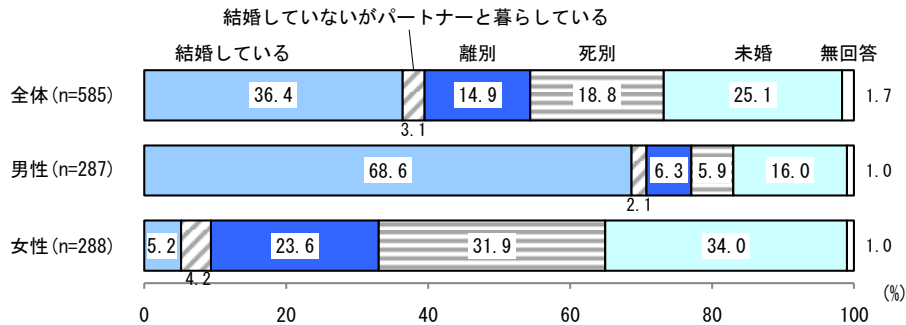
<性・就労形態別クロス表>

(%)

		調査数	4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間～10時間未満	10時間～12時間未満	12時間以上	無回答
全体		314	67.2	7.0	1.9	1.9	0.3	1.0	20.7
男性	常時雇用されている正規社員	105	72.4	2.9	1.9	-	1.0	-	21.9
	パート・アルバイト・派遣社員等	24	66.7	4.2	-	-	-	-	29.2
	自営業	25	56.0	8.0	-	8.0	-	-	28.0
	その他収入をとまなう職業	9	55.6	-	-	-	-	-	44.4
女性	常時雇用されている正規社員	77	70.1	7.8	2.6	1.3	-	1.3	16.9
	パート・アルバイト・派遣社員等	64	60.9	15.6	1.6	4.7	-	1.6	15.6
	自営業	5	80.0	-	20.0	-	-	-	-
	その他収入をとまなう職業	3	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3

問6 あなたは結婚をされていますか。(〇は1つ)

回答者の結婚状況については、「結婚している」が36.4%、「結婚していないがパートナーと暮らしている」が3.1%、「離別」が14.9%、「死別」が18.8%、「未婚」が25.1%となっています。

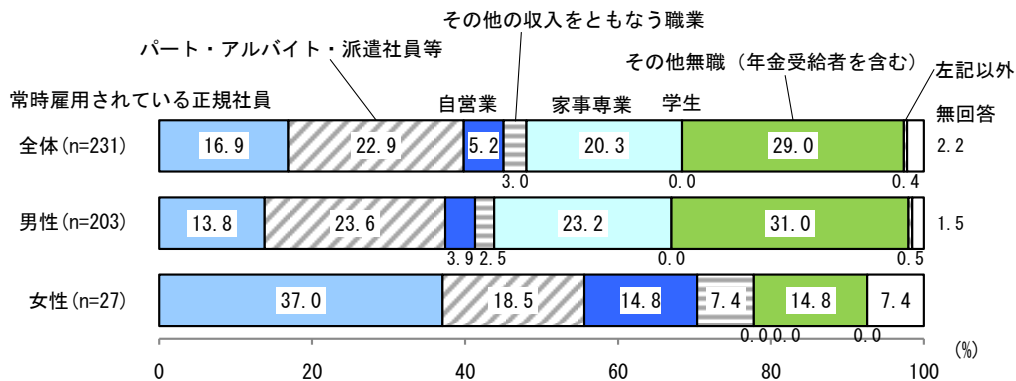


問7 あなたの配偶者・パートナーの主なお仕事をお答えください。(〇は1つ)

(※問6で「結婚している」、「結婚していないがパートナーと暮らしている」のいずれかを答えた方にお伺いします。)

配偶者・パートナーの職業については、「その他無職（年金受給者を含む）」が29.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・派遣社員等」(22.9%)、「家事専業」(20.3%)となっています。

性別でみると、「男性」の配偶者・パートナーで、「その他無職（年金受給者を含む）」が31.0%と3割を超え、かつ、「パート・アルバイト・派遣社員等」が23.6%、「家事専業」が23.2%と2割を超えている一方で、「女性」の配偶者・パートナーで「常時雇用されている正規社員」が37.0%と3割を超え、最も高くなっています。



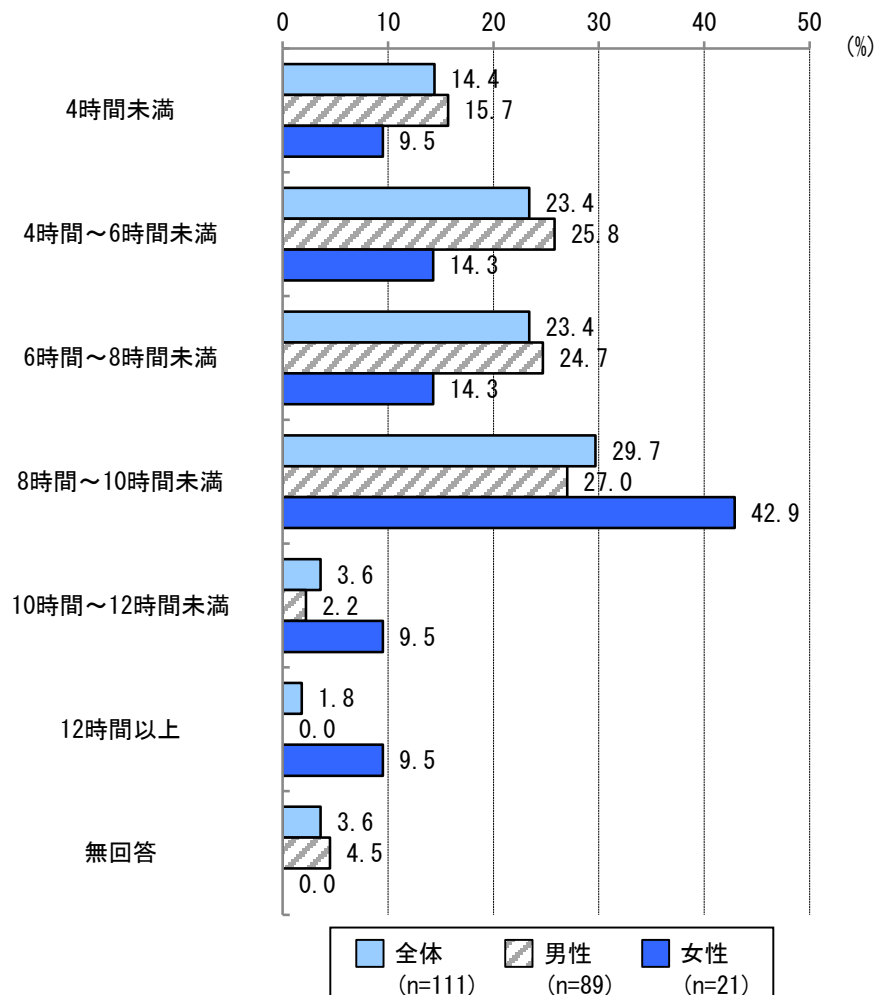
問 8 あなたの配偶者・パートナーの1日の労働時間（残業・通勤時間を含む）の平均と1日の家事時間の平均は次のうちどれですか。（各項目で○は1つずつ）

（※問7で「常時雇用されている正規社員」、「パート・アルバイト・派遣社員等」、「自営業」、「その他収入をともなう職業」と答えた方にお伺いします。）

① 労働時間

配偶者・パートナーの1日の労働時間については、「8時間～10時間未満」が29.7%と最も高く、次いで「4時間～6時間未満」・「6時間～8時間未満」（23.4%）となっています。

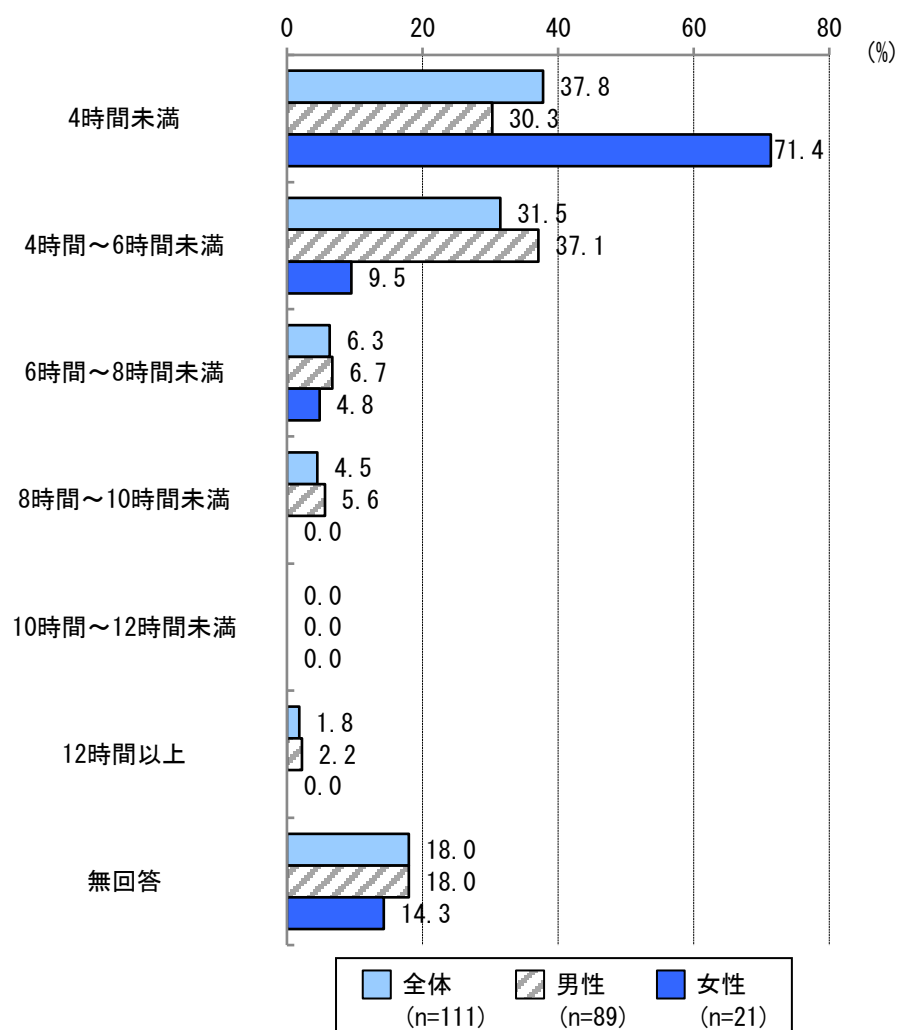
性別でみると、「女性」の配偶者・パートナーで「8時間～10時間未満」が42.9%と4割を超えて最も高くなっています。



## ② 家事時間

配偶者・パートナーの1日の家事時間については、「4時間未満」が37.8%と最も高く、次いで「4時間～6時間未満」(31.5%)となっています。

性別で見ると、「男性」の配偶者・パートナーで「4時間～6時間未満」が37.1%と最も高い一方で、「女性」の配偶者・パートナーで「4時間未満」が71.4%と7割を超え、最も高くなっています。



## 2. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

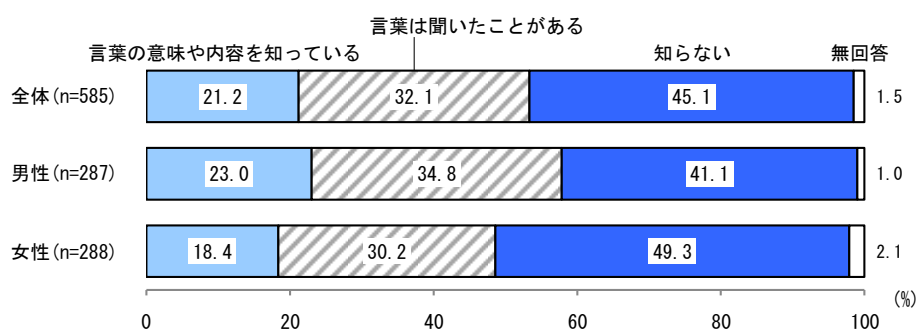
問9 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」について、どの程度知っていますか。（○は1つ）

「ワーク・ライフ・バランス」の認知度については、「知らない」が45.1%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」（32.1%）となっています。

性別で見ると、「女性」で「知らない」が49.3%と5割近くを占めています。

性年代別で見ると、男女ともに概ね年代が上がるにつれ「知らない」が増加する傾向がみられ、「女性」の「80歳以上」では70.0%と7割を占めています。

就労形態別で見ると、「常時雇用されている正規社員」・「その他の収入をとまなう職業」・「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が3割を超えています。



<性年代別クロス表>

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	21.2	32.1	45.1	1.5
男性	10~20 歳代	21	47.6	33.3	19.0	-
	30 歳代	22	40.9	31.8	27.3	-
	40 歳代	30	26.7	40.0	33.3	-
	50 歳代	45	28.9	26.7	42.2	2.2
	60 歳代	57	15.8	38.6	45.6	-
	70 歳代	68	16.2	30.9	50.0	2.9
	80 歳以上	43	14.0	41.9	44.2	-
女性	10~20 歳代	19	42.1	31.6	26.3	-
	30 歳代	16	25.0	31.3	43.8	-
	40 歳代	45	31.1	28.9	37.8	2.2
	50 歳代	58	13.8	46.6	39.7	-
	60 歳代	52	15.4	30.8	51.9	1.9
	70 歳代	68	13.2	22.1	61.8	2.9
	80 歳以上	30	6.7	16.7	70.0	6.7

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	21.2	32.1	45.1	1.5
常時雇用されている正規社員	183	<b>31.7</b>	36.1	31.1	1.1
パート・アルバイト・派遣社員等	88	13.6	39.8	45.5	1.1
自営業	30	13.3	33.3	53.3	-
その他の収入をとまなう職業	13	<b>38.5</b>	7.7	46.2	7.7
家事専業	19	15.8	26.3	57.9	-
学生	11	<b>63.6</b>	27.3	9.1	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	13.9	29.6	54.2	2.3
上記以外	9	-	22.2	77.8	-

問10 あなたの生活は次のどれにあてはまりますか。

(①・②のそれぞれに○は1つずつ)

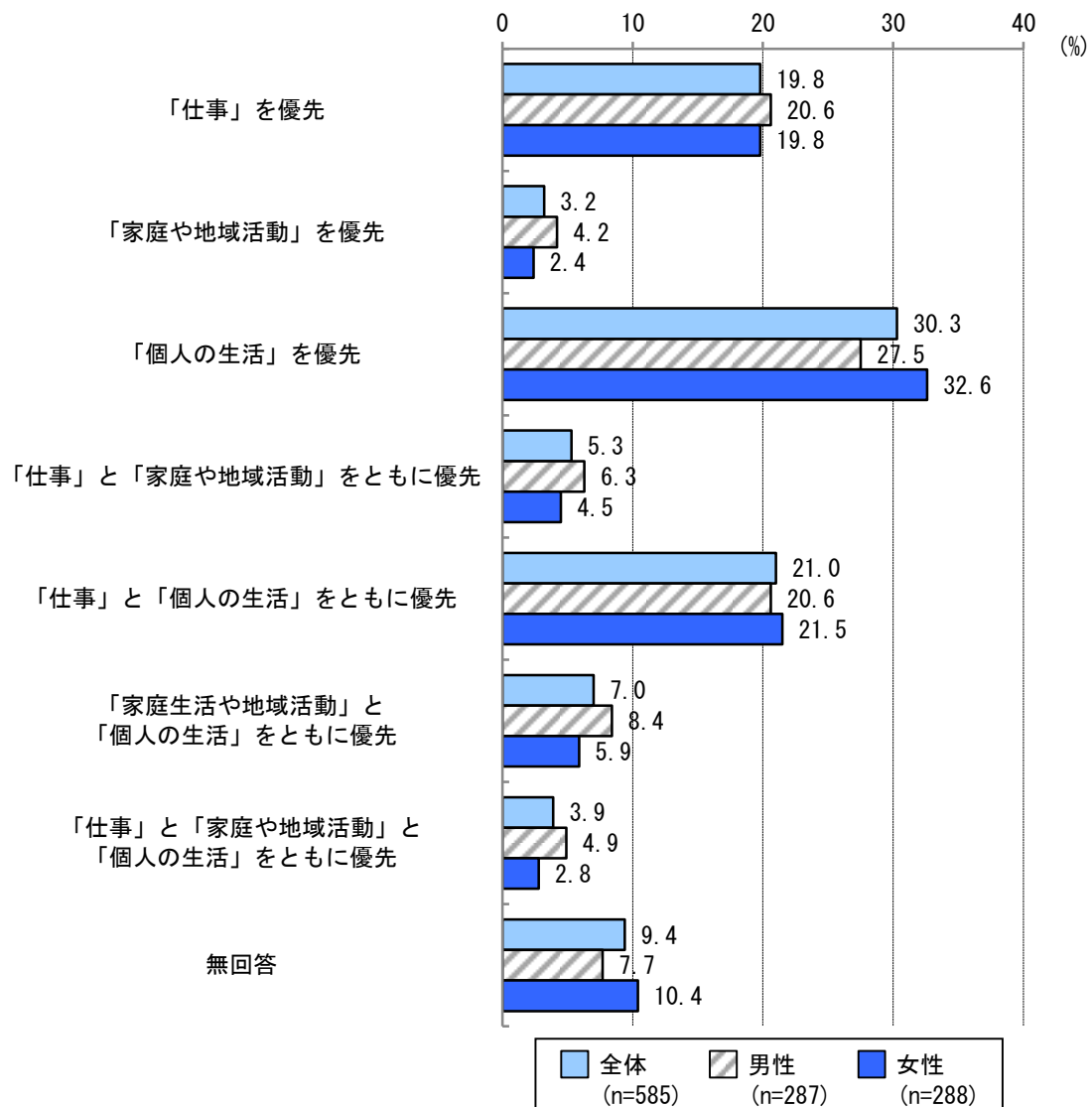
① 実際の生活

実際の生活の優先度については、「個人の生活」を優先」が30.3%と最も高く、次いで「仕事」と「個人の生活」をともに優先」(21.0%)、「仕事」を優先」(19.8%)となっています。

性別で大きな差はみられません。

性年代別でみると、「男性」の「30歳代」で「仕事」を優先」が59.1%と6割近くを占めています。

性・結婚状況別でみると、「女性」の「結婚している・パートナーと暮らしている」方で「仕事」と「個人の生活」をともに優先」が37.0%と3割を超えています。





<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	「仕事」を優先	優先 「家庭や地域活動」を	「個人の生活」を優先	優先 「仕事」と「家庭や地域活動」をともに	「仕事」と「個人の生活」をともに優先
全体		585	19.8	3.2	30.3	5.3	21.0
男性	10～20 歳代	21	14.3	4.8	19.0	14.3	23.8
	30 歳代	22	59.1	-	-	13.6	18.2
	40 歳代	30	33.3	-	6.7	10.0	30.0
	50 歳代	45	33.3	2.2	13.3	8.9	28.9
	60 歳代	57	22.8	1.8	24.6	1.8	31.6
	70 歳代	68	7.4	8.8	42.6	4.4	11.8
	80 歳以上	43	-	7.0	55.8	2.3	2.3
女性	10～20 歳代	19	36.8	-	15.8	-	15.8
	30 歳代	16	31.3	6.3	12.5	-	31.3
	40 歳代	45	33.3	2.2	22.2	6.7	26.7
	50 歳代	58	29.3	3.4	6.9	12.1	34.5
	60 歳代	52	17.3	1.9	38.5	3.8	23.1
	70 歳代	68	4.4	1.5	63.2	-	11.8
	80 歳以上	30	3.3	3.3	40.0	3.3	6.7
		調査数	優先 「家庭生活や地域活動」と 「個人の生活」をともに	優先 「仕事」と「家庭や地域活動」と 「個人の生活」をともに	無回答		
全体		585	7.0	3.9	9.4		
男性	10～20 歳代	21	23.8	-	-		
	30 歳代	22	-	9.1	-		
	40 歳代	30	3.3	6.7	10.0		
	50 歳代	45	-	4.4	8.9		
	60 歳代	57	5.3	8.8	3.5		
	70 歳代	68	11.8	2.9	10.3		
	80 歳以上	43	16.3	2.3	14.0		
女性	10～20 歳代	19	10.5	5.3	15.8		
	30 歳代	16	-	-	18.8		
	40 歳代	45	2.2	4.4	2.2		
	50 歳代	58	1.7	6.9	5.2		
	60 歳代	52	7.7	-	7.7		
	70 歳代	68	7.4	-	11.8		
	80 歳以上	30	13.3	3.3	26.7		

<性・結婚状況別クロス表>

(%)

		調査数	「仕事」を優先	「家庭や地域活動」を優先	「個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先	優先 「仕事」と「個人の生活」をともに
全体		374	22.2	4.3	23.3	6.1	24.1
男性	結婚・パートナーあり	203	20.2	5.4	23.6	7.4	21.2
	未婚	46	23.9	2.2	23.9	4.3	26.1
女性	結婚・パートナーあり	27	22.2	11.1	18.5	3.7	<b>37.0</b>
	未婚	98	25.5	1.0	23.5	5.1	25.5
		調査数	をともに優先 「家庭生活や地域活動」と「個人の生活」	「仕事」と「家庭や地域活動」と 「個人の生活」をともに優先	無回答		
全体		374	7.2	4.8	8.0		
男性	結婚・パートナーあり	203	8.9	6.9	6.4		
	未婚	46	8.7	-	10.9		
女性	結婚・パートナーあり	27	-	-	7.4		
	未婚	98	5.1	4.1	10.2		

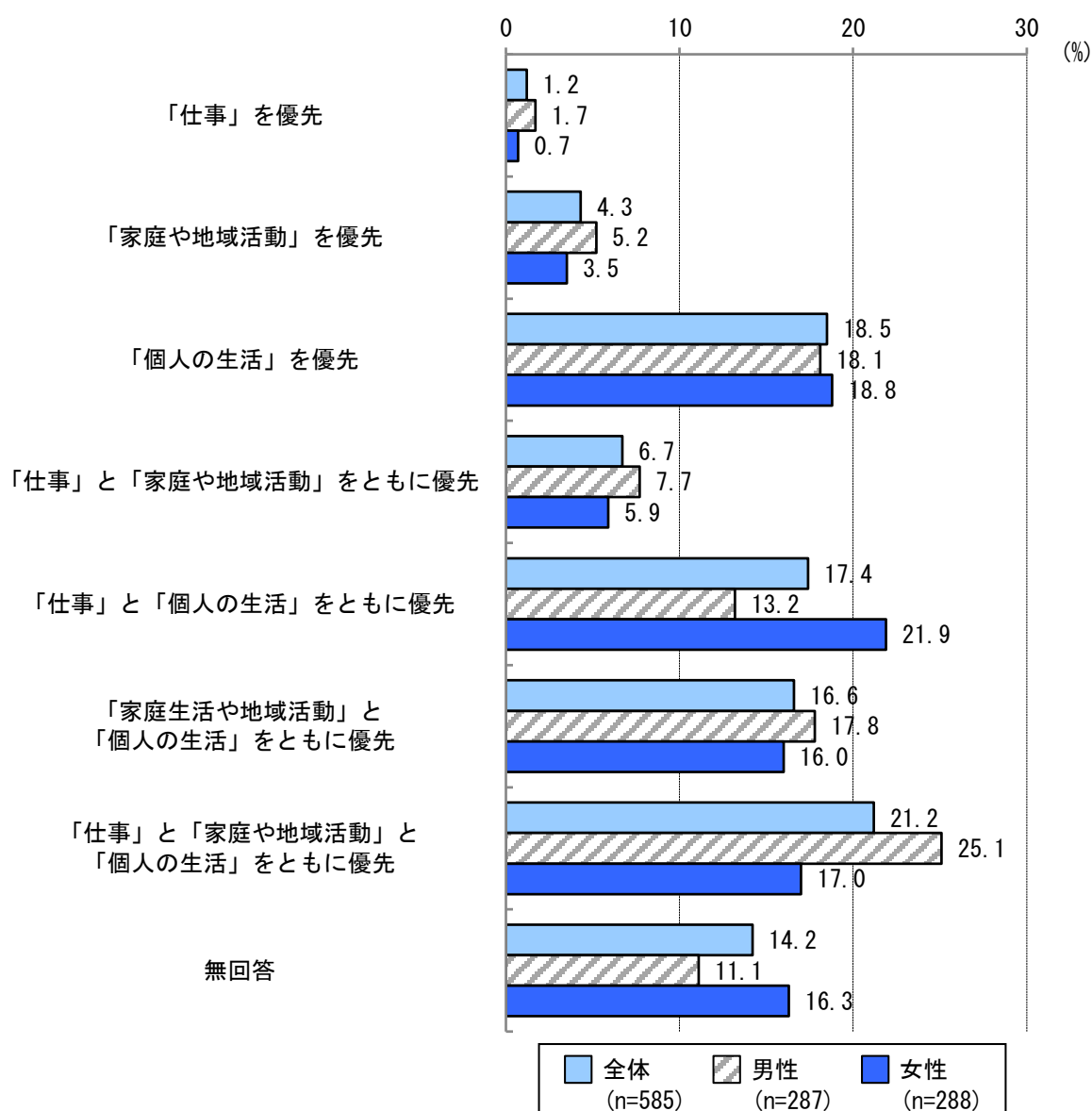
## ② 理想の生活

理想の生活の優先度については、「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先」が21.2%と最も高く、次いで「個人の生活」を優先（18.5%）、「仕事」と「個人の生活」をともに優先（17.4%）となっています。

性別でみると、「男性」では「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先」が25.1%と最も高い一方で、「女性」では「仕事」と「個人の生活」をともに優先」が21.9%で最も高くなっています。

性年代別でみると、「男性」の「30～50歳代」で「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先」が3割を超えている一方で、「女性」の「10～50歳代」では「仕事」と「個人の生活」をともに優先」が3割を超えています。

性・結婚状況別でみると、「男性」・「女性」のどちらも「未婚」の方では「個人の生活」を優先」が最も高くなっている一方で、「男性」・「女性」のどちらも「結婚している・パートナーと暮らしている」方では、「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先」が最も高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	「仕事」を優先	優先 「家庭や地域活動」を	「個人の生活」を優先	優先 「仕事」と「家庭や地域活動」をともに	「仕事」と「個人の生活」をともに優先
全体		585	1.2	4.3	18.5	6.7	17.4
男性	10～20 歳代	21	4.8	-	23.8	14.3	19.0
	30 歳代	22	-	-	-	22.7	27.3
	40 歳代	30	3.3	3.3	13.3	13.3	13.3
	50 歳代	45	-	4.4	22.2	8.9	15.6
	60 歳代	57	3.5	1.8	15.8	5.3	22.8
	70 歳代	68	1.5	8.8	17.6	2.9	5.9
	80 歳以上	43	-	11.6	27.9	2.3	-
女性	10～20 歳代	19	-	-	26.3	5.3	<b>36.8</b>
	30 歳代	16	6.3	-	12.5	6.3	<b>37.5</b>
	40 歳代	45	-	2.2	22.2	2.2	<b>35.6</b>
	50 歳代	58	1.7	1.7	13.8	10.3	<b>31.0</b>
	60 歳代	52	-	5.8	23.1	3.8	19.2
	70 歳代	68	-	4.4	17.6	5.9	7.4
	80 歳以上	30	-	6.7	16.7	6.7	3.3
		調査数	優先 「家庭生活や地域活動」と 「個人の生活」をともに	優先 「仕事」と「家庭や地域活動」と 「個人の生活」をともに優先	無回答		
全体		585	16.6	21.2	14.2		
男性	10～20 歳代	21	9.5	28.6	-		
	30 歳代	22	13.6	<b>36.4</b>	-		
	40 歳代	30	10.0	<b>30.0</b>	13.3		
	50 歳代	45	2.2	<b>31.1</b>	15.6		
	60 歳代	57	17.5	29.8	3.5		
	70 歳代	68	27.9	19.1	16.2		
	80 歳以上	43	30.2	9.3	18.6		
女性	10～20 歳代	19	10.5	5.3	15.8		
	30 歳代	16	6.3	6.3	25.0		
	40 歳代	45	6.7	22.2	8.9		
	50 歳代	58	8.6	22.4	10.3		
	60 歳代	52	13.5	23.1	11.5		
	70 歳代	68	35.3	10.3	19.1		
	80 歳以上	30	13.3	16.7	36.7		

<性・結婚状況別クロス表>

(%)

		調査数	「仕事」を優先	「家庭や地域活動」を優先	「個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先	優先 「仕事」と「個人の生活」をともに
全体		374	1.9	4.3	19.8	6.7	16.3
男性	結婚・パートナーあり	203	1.5	6.4	13.8	7.4	12.3
	未婚	46	4.3	-	32.6	10.9	17.4
女性	結婚・パートナーあり	27	3.7	3.7	18.5	3.7	14.8
	未婚	98	1.0	2.0	26.5	4.1	24.5
		調査数	をともに優先 「家庭生活や地域活動」と「個人の生活」	「仕事」と「家庭や地域活動」と 「個人の生活」をともに優先	無回答		
全体		374	13.6	25.4	12.0		
男性	結婚・パートナーあり	203	19.2	29.1	10.3		
	未婚	46	4.3	17.4	13.0		
女性	結婚・パートナーあり	27	3.7	37.0	14.8		
	未婚	98	9.2	18.4	14.3		

問11 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えですか。

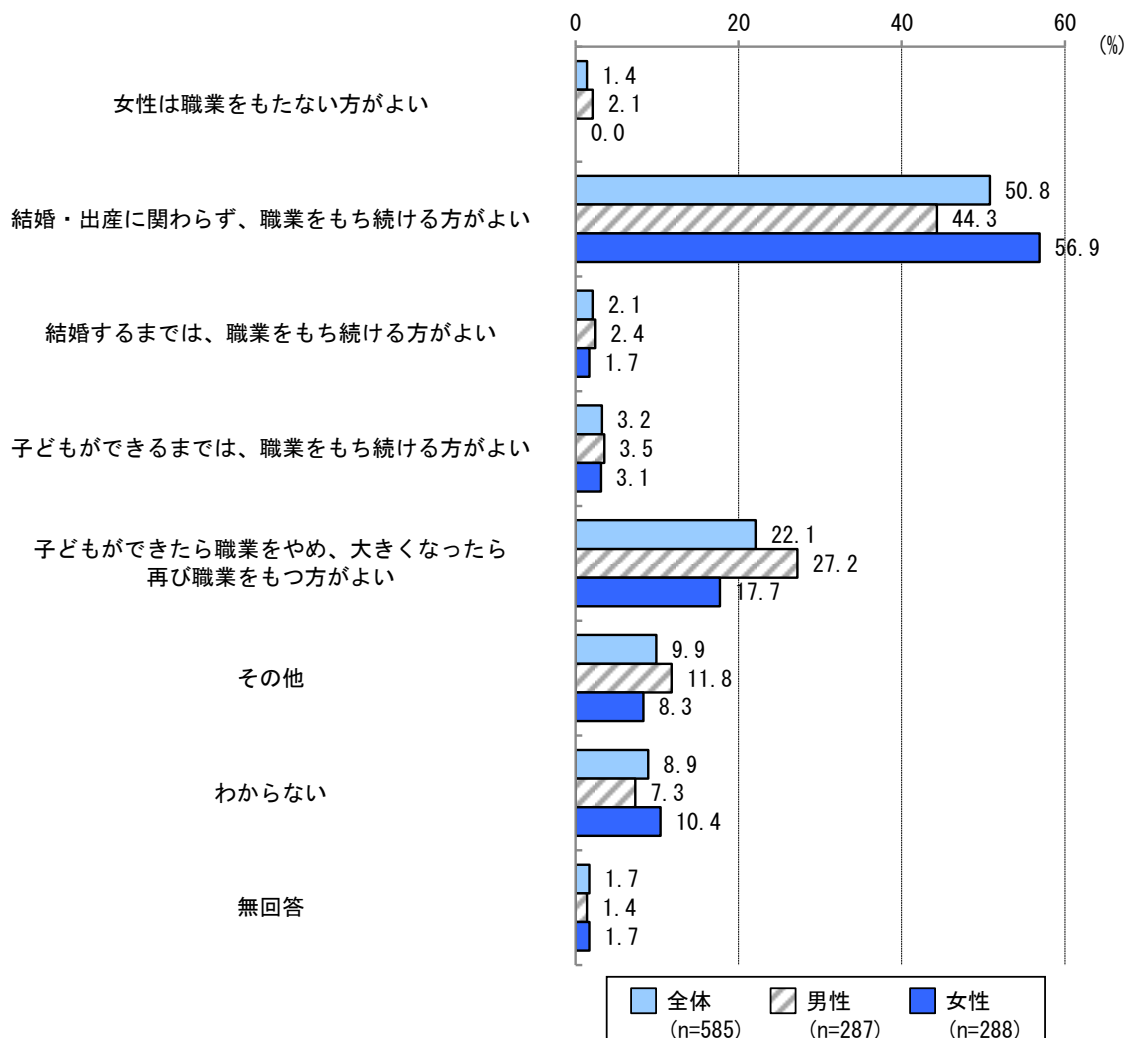
(○は1つ)

女性が職業をもつことについては、「結婚・出産に関わらず、職業をもち続ける方がよい」が50.8%と最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(22.1%)となっています。

性別で見ると、「男性」で「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が27.2%と2割を超えている一方で、「女性」で「結婚・出産に関わらず、職業をもち続ける方がよい」が56.9%と5割を超えています。

性年代別で見ると、「男性」の「40歳以上」で「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が2割を超えています。また、「女性」の「30～40歳代」で「結婚・出産に関わらず、職業をもち続ける方がよい」が7割を超えています。

性・結婚状況別で見ると、「男性」の「結婚している・パートナーと暮らしている」方では「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が30.0%と3割を占めています。一方で、「女性」では結婚状況に関係なく「結婚・出産に関わらず、職業をもち続ける方がよい」が6割近くを占めています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	女性は職業をもたない方がよい	結婚・出産に関わらず、職業をもち続ける方がよい	結婚するまでは、職業をもち続ける方がよい	子どもができるまでは、職業をもち続ける方がよい	子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
全体		585	1.4	50.8	2.1	3.2	22.1
男性	10～20 歳代	21	-	33.3	9.5	4.8	9.5
	30 歳代	22	4.5	45.5	-	-	18.2
	40 歳代	30	3.3	50.0	-	-	20.0
	50 歳代	45	4.4	44.4	4.4	-	22.2
	60 歳代	57	-	63.2	1.8	1.8	24.6
	70 歳代	68	1.5	39.7	-	2.9	39.7
	80 歳以上	43	2.3	25.6	4.7	14.0	34.9
女性	10～20 歳代	19	-	47.4	-	5.3	15.8
	30 歳代	16	-	81.3	-	-	6.3
	40 歳代	45	-	75.6	-	2.2	2.2
	50 歳代	58	-	55.2	1.7	1.7	13.8
	60 歳代	52	-	67.3	3.8	5.8	17.3
	70 歳代	68	-	50.0	1.5	-	33.8
	80 歳以上	30	-	23.3	3.3	10.0	20.0
		調査数	その他	わからない	無回答		
全体		585	9.9	8.9	1.7		
男性	10～20 歳代	21	28.6	14.3	-		
	30 歳代	22	27.3	4.5	-		
	40 歳代	30	20.0	6.7	-		
	50 歳代	45	15.6	4.4	4.4		
	60 歳代	57	5.3	3.5	-		
	70 歳代	68	7.4	8.8	-		
	80 歳以上	43	2.3	11.6	4.7		
女性	10～20 歳代	19	21.1	10.5	-		
	30 歳代	16	12.5	-	-		
	40 歳代	45	11.1	8.9	-		
	50 歳代	58	15.5	12.1	-		
	60 歳代	52	-	3.8	1.9		
	70 歳代	68	2.9	7.4	4.4		
	80 歳以上	30	6.7	33.3	3.3		

<性・結婚状況別クロス表>

(%)

		調査数	女性は職業をもたない方がよい	結婚・出産に関わらず、職業をもち続ける方がよい	結婚するまでは、職業をもち続ける方がよい	子どもができるまでは、職業をもち続ける方がよい	子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
全体		374	1.3	48.1	1.9	3.5	22.2
男性	結婚・パートナーあり	203	1.5	44.3	1.0	3.9	<b>30.0</b>
	未婚	46	4.3	34.8	6.5	2.2	17.4
女性	結婚・パートナーあり	27	-	<b>59.3</b>	-	3.7	14.8
	未婚	98	-	<b>59.2</b>	2.0	3.1	10.2
		調査数	その他	わからない	無回答		
全体		374	13.4	8.6	1.1		
男性	結婚・パートナーあり	203	12.3	6.4	0.5		
	未婚	46	17.4	15.2	2.2		
女性	結婚・パートナーあり	27	11.1	7.4	3.7		
	未婚	98	14.3	10.2	1.0		

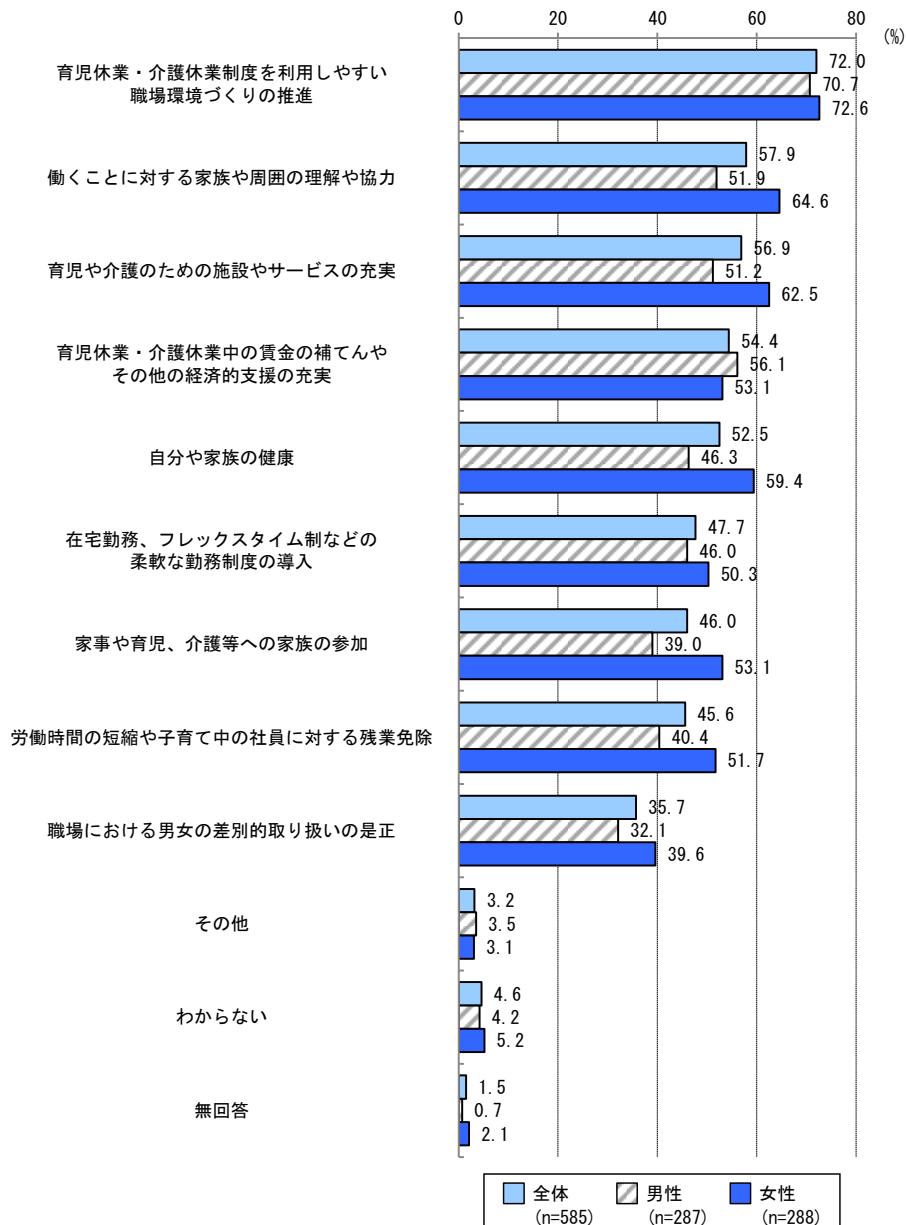


問12 仕事をもち続けることを希望する人が、出産・子育て・介護などの理由で仕事を辞めずに働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

仕事をもち続けることを希望する人に必要なことについては、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進」が72.0%と最も高く、次いで「働くことに対する家族や周囲の理解や協力」(57.9%)、「育児や介護のための施設やサービスの充実」(56.9%)となっています。

性別でみると、「女性」で「働くことに対する家族や周囲の理解や協力」(64.6%)、「育児や介護のための施設やサービスの充実」(62.5%)、「自分や家族の健康」(59.4%)、「家事や育児、介護等への家族の参加」(53.1%)、「労働時間の短縮や子育て中の社員に対する残業免除」(51.7%)が全体とくらべて、5ポイント程度高くなっています。

性年代別でみると、「女性」の「10～20歳代」で「家事や育児、介護等への家族の参加」(84.2%)、「女性」の「30歳代」で「育児休業・介護休業中の賃金の補てんやその他の経済的支援の充実」(87.5%)が全体と比べて、30ポイント以上高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

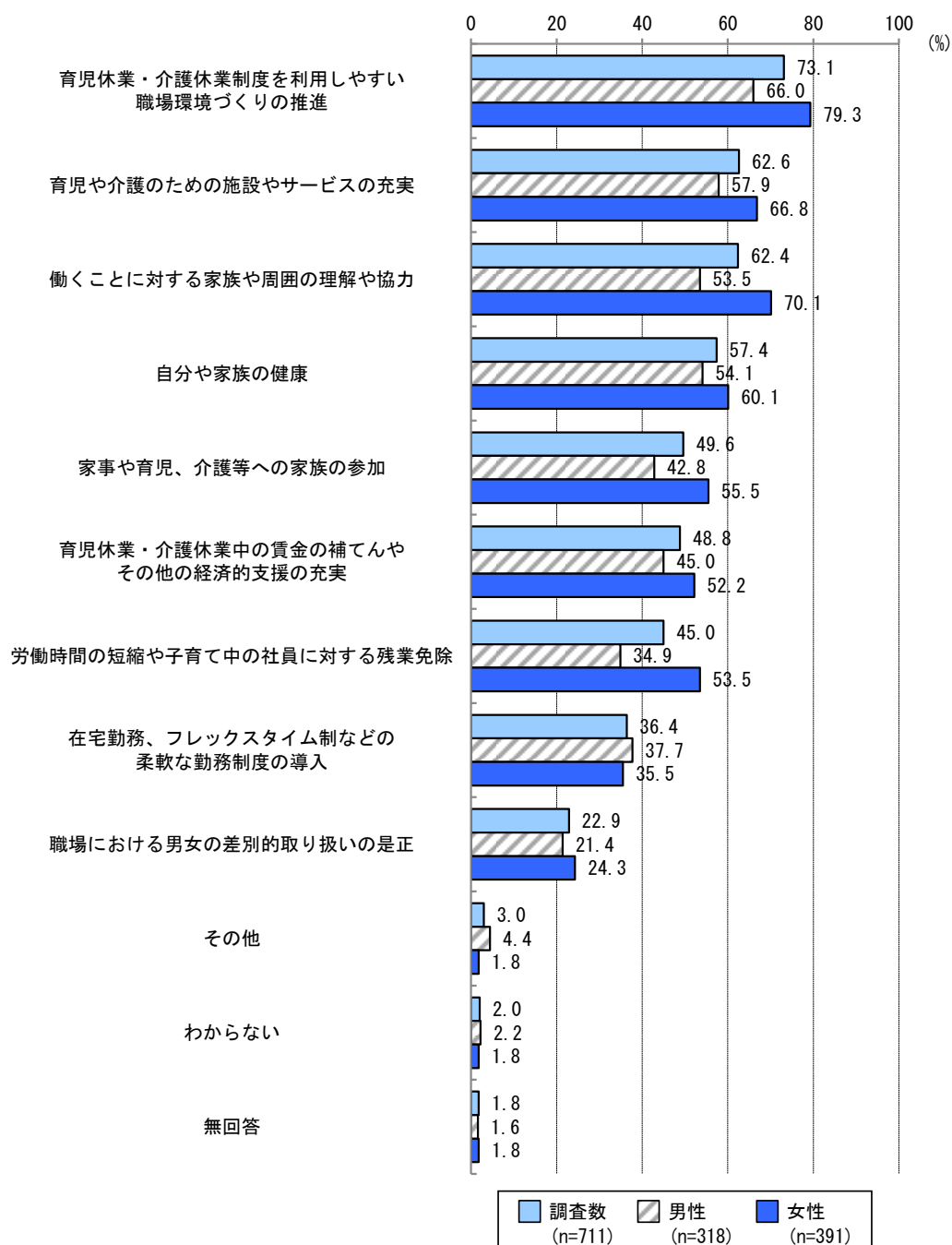
		調査数	育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進	労働時間の短縮や子育て中の社員に対する残業免除	在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入	育児休業・介護休業中の賃金の補てんやその他の経済的支援の充実	職場における男女の差別的取り扱いの是正	育児や介護のための施設やサービスの充実	働くことに対する家族や周囲の理解や協力
全体		585	72.0	45.6	47.7	54.4	35.7	56.9	57.9
男性	10～20 歳代	21	81.0	19.0	66.7	71.4	38.1	47.6	66.7
	30 歳代	22	72.7	59.1	50.0	63.6	22.7	40.9	59.1
	40 歳代	30	73.3	60.0	56.7	60.0	26.7	53.3	56.7
	50 歳代	45	75.6	40.0	44.4	55.6	28.9	55.6	37.8
	60 歳代	57	82.5	42.1	56.1	68.4	40.4	52.6	52.6
	70 歳代	68	60.3	36.8	38.2	45.6	33.8	54.4	48.5
	80 歳以上	43	58.1	30.2	25.6	44.2	27.9	46.5	58.1
女性	10～20 歳代	19	94.7	47.4	63.2	57.9	52.6	63.2	78.9
	30 歳代	16	87.5	62.5	62.5	<b>87.5</b>	31.3	56.3	62.5
	40 歳代	45	80.0	62.2	75.6	51.1	42.2	64.4	62.2
	50 歳代	58	86.2	60.3	46.6	62.1	36.2	70.7	72.4
	60 歳代	52	76.9	55.8	55.8	51.9	44.2	69.2	61.5
	70 歳代	68	57.4	41.2	39.7	47.1	42.6	57.4	64.7
	80 歳以上	30	40.0	33.3	20.0	33.3	23.3	46.7	50.0
		調査数	自分や家族の健康	家事や育児、介護等への家族の参加	その他	わからない	無回答		
全体		585	52.5	46.0	3.2	4.6	1.5		
男性	10～20 歳代	21	57.1	42.9	-	4.8	-		
	30 歳代	22	45.5	36.4	4.5	4.5	-		
	40 歳代	30	40.0	33.3	6.7	3.3	-		
	50 歳代	45	28.9	33.3	2.2	2.2	4.4		
	60 歳代	57	49.1	45.6	1.8	3.5	-		
	70 歳代	68	42.6	36.8	2.9	5.9	-		
	80 歳以上	43	67.4	44.2	7.0	4.7	-		
女性	10～20 歳代	19	63.2	<b>84.2</b>	5.3	5.3	-		
	30 歳代	16	68.8	68.8	6.3	-	6.3		
	40 歳代	45	66.7	55.6	2.2	-	-		
	50 歳代	58	65.5	58.6	3.4	3.4	-		
	60 歳代	52	53.8	48.1	5.8	3.8	-		
	70 歳代	68	57.4	47.1	1.5	5.9	2.9		
	80 歳以上	30	43.3	33.3	-	20.0	10.0		

● 問12 前回調査との比較

仕事をもち続けることを希望する人に必要なことについて、前回調査と比較すると、「職場における男女の差別的取り扱いの是正」・「在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」で、前回調査より全体で10ポイント程度増加しています。

性別でみると、「男性」で、「育児休業・介護休業中の賃金の補てんやその他の経済的支援の充実」・「職場における男女の差別的取り扱いの是正」が、前回調査より10ポイント程度増加しています。また、「女性」で、「職場における男女の差別的取り扱いの是正」・「在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」が、前回調査より15ポイント程度増加しています。

【前回調査】

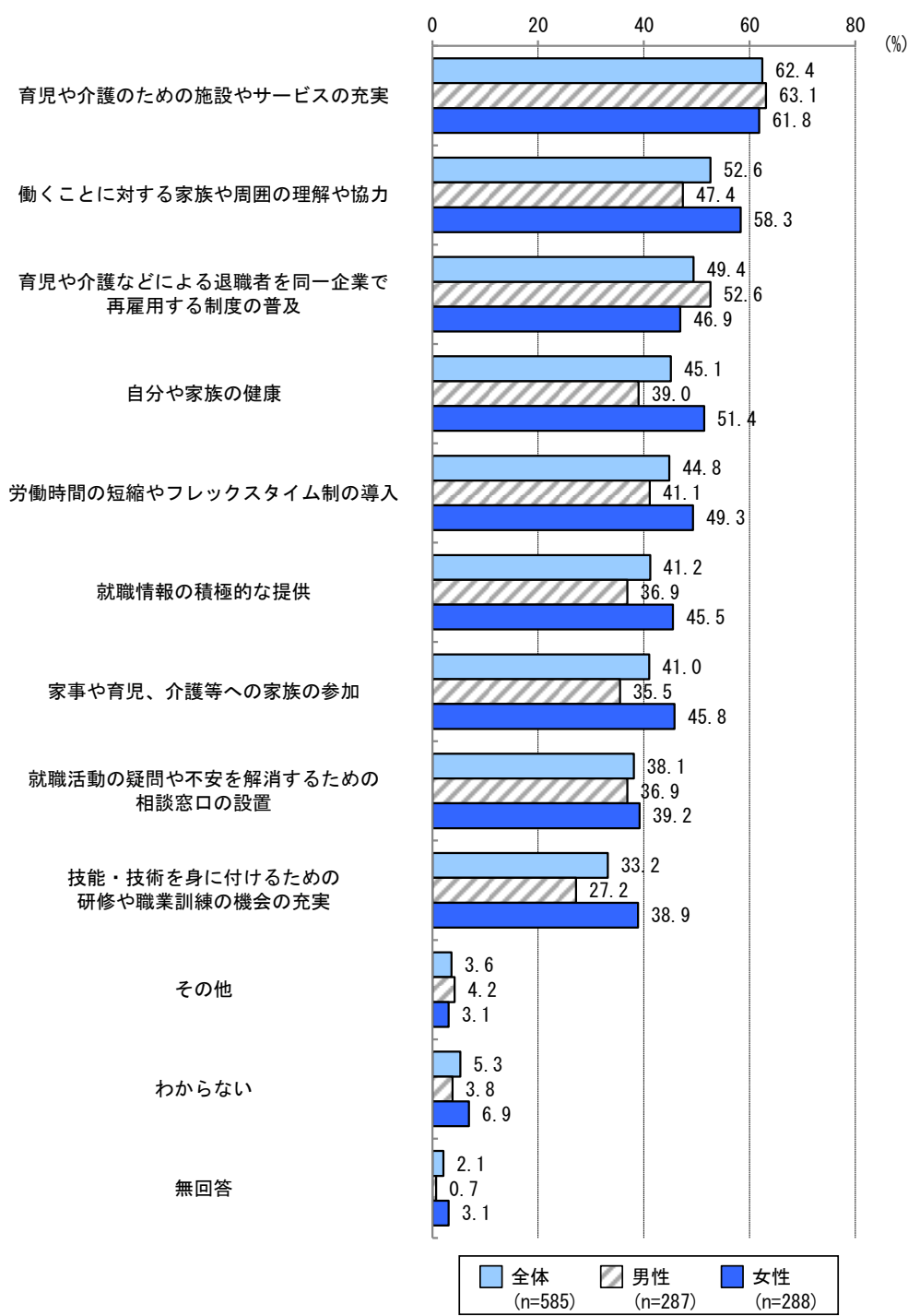


問13 再就職を希望する人が、出産・子育て・介護などで仕事を辞めた後、再就職しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

再就職を希望する人が必要なことについては、「育児や介護のための施設やサービスの充実」が62.4%と最も高く、次いで「働くことに対する家族や周囲の理解や協力」(52.6%)、「育児や介護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及」(49.4%)となっています。

性別でみると、「男性」で「育児や介護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及」が52.6%と5割を超えている一方で、「女性」では、「働くことに対する家族や周囲の理解や協力」が58.3%と6割近くを占めています。

性年代別でみると、「男性」の「60歳代」で「育児や介護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及」(64.9%)・「就職活動の疑問や不安を解消するための相談窓口の設置」(49.1%)が全体と比べて10ポイント以上高くなっています。また、「女性」の「10～20歳代」で「家族や育児、介護等への家族の参加」(63.2%)・「技能・技術を身に付けるための研修や職業訓練の機会の充実」(52.6%)、「女性」の「30歳代」で「家事や育児、介護等への家族の参加」(62.5%)が全体と比べて20ポイント程度高くなっています。その他、「女性」の「40歳代」で「労働時間の短縮やフレックスタイム制の導入」(62.2%)、「女性」の「50歳代」で「就職情報の積極的な提供」(58.6%)・「働くことに対する家族や周囲の理解や協力」(69.0%)が全体と比べて17ポイント程度高くなっています。



<性年代別クロス表>

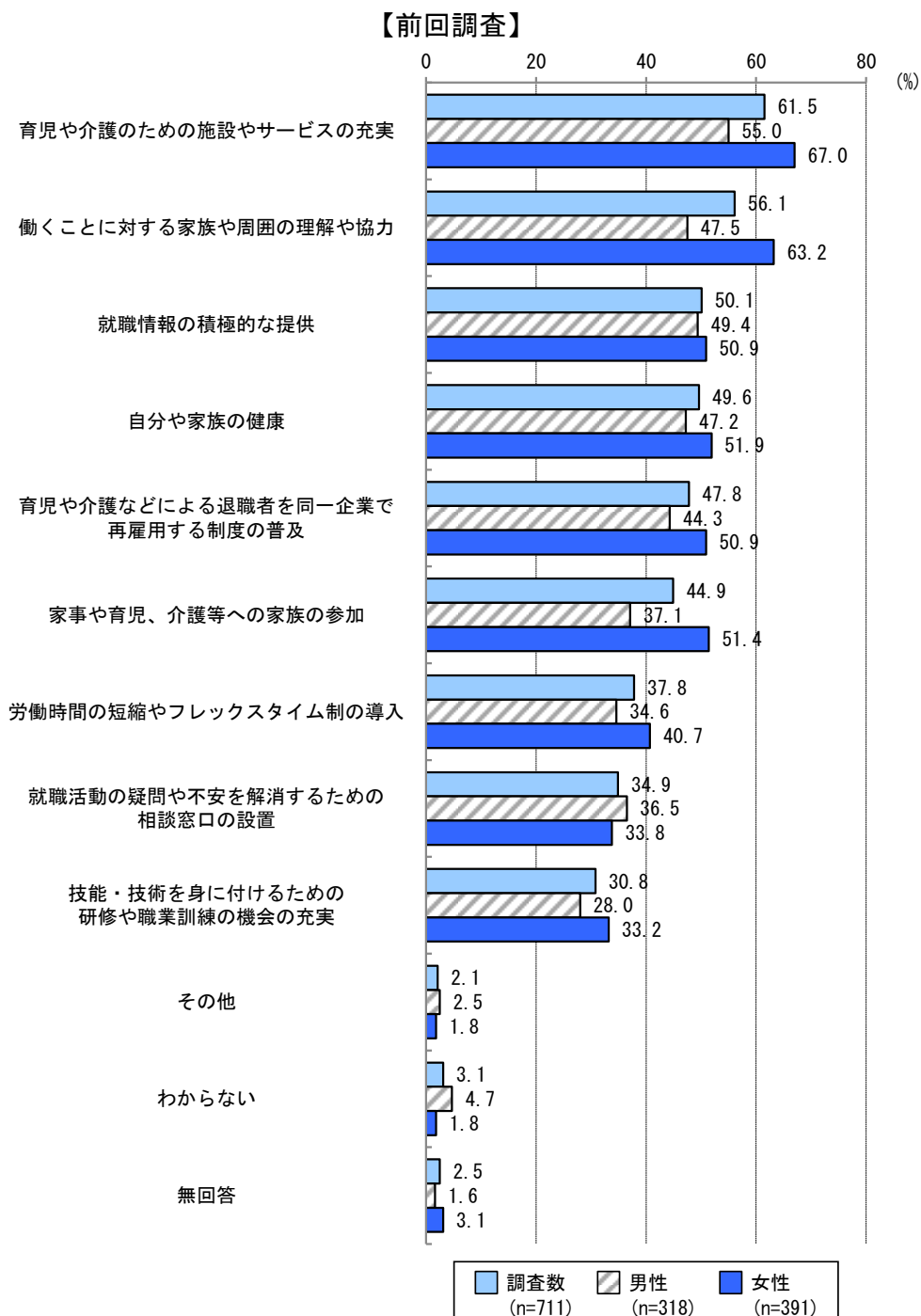
(%)

		調査数	就職情報の積極的な提供	就職活動の疑問や不安を解消するための相談窓口の設置	育児や介護のための施設やサービスの充実	研修や職業訓練の機会の充実	技能・技術を身に付けるための同一企業で再雇用する制度の普及	育児や介護などによる退職者をタイム制の導入	労働時間の短縮やフレックス	働くことに対する家族や周囲の理解や協力
全体		585	41.2	38.1	62.4	33.2	49.4	44.8	52.6	
男性	10～20 歳代	21	42.9	38.1	57.1	23.8	47.6	42.9	52.4	
	30 歳代	22	45.5	36.4	63.6	18.2	54.5	54.5	40.9	
	40 歳代	30	40.0	30.0	63.3	20.0	53.3	46.7	36.7	
	50 歳代	45	26.7	28.9	55.6	26.7	57.8	40.0	42.2	
	60 歳代	57	42.1	<b>49.1</b>	70.2	26.3	<b>64.9</b>	52.6	52.6	
	70 歳代	68	29.4	35.3	58.8	29.4	47.1	30.9	47.1	
	80 歳以上	43	44.2	37.2	69.8	37.2	41.9	32.6	53.5	
女性	10～20 歳代	19	47.4	36.8	68.4	<b>52.6</b>	52.6	52.6	63.2	
	30 歳代	16	56.3	37.5	62.5	25.0	56.3	37.5	62.5	
	40 歳代	45	44.4	40.0	64.4	44.4	44.4	<b>62.2</b>	46.7	
	50 歳代	58	<b>58.6</b>	41.4	65.5	43.1	56.9	58.6	<b>69.0</b>	
	60 歳代	52	46.2	46.2	69.2	38.5	48.1	48.1	53.8	
	70 歳代	68	38.2	36.8	60.3	36.8	41.2	44.1	66.2	
	80 歳以上	30	30.0	30.0	36.7	26.7	33.3	30.0	40.0	
		調査数	自分や家族の健康	家事や育児、介護等への家族の参加	その他	わからない	無回答			
全体		585	45.1	41.0	3.6	5.3	2.1			
男性	10～20 歳代	21	33.3	28.6	-	4.8	4.8			
	30 歳代	22	27.3	31.8	9.1	4.5	-			
	40 歳代	30	33.3	36.7	10.0	3.3	-			
	50 歳代	45	22.2	24.4	4.4	-	2.2			
	60 歳代	57	43.9	45.6	3.5	3.5	-			
	70 歳代	68	41.2	29.4	2.9	5.9	-			
	80 歳以上	43	60.5	48.8	2.3	4.7	-			
女性	10～20 歳代	19	57.9	<b>63.2</b>	5.3	10.5	-			
	30 歳代	16	62.5	<b>62.5</b>	6.3	-	6.3			
	40 歳代	45	53.3	40.0	8.9	6.7	-			
	50 歳代	58	53.4	51.7	1.7	3.4	-			
	60 歳代	52	48.1	48.1	-	5.8	1.9			
	70 歳代	68	54.4	41.2	2.9	5.9	4.4			
	80 歳以上	30	33.3	30.0	-	20.0	13.3			

● 問13 前回調査との比較

再就職を希望する人が必要なことについて、前回調査と比較すると、「労働時間の短縮やフレックスタイム制の導入」で、前回調査より全体で7.0ポイント増加しています。

性別でみると、「男性」で「育児や介護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及」・「育児や介護のための施設やサービスの充実」が前回調査より8ポイント程度増加しています。さらに、「労働時間の短縮やフレックスタイム制の導入」が前回調査より6.5ポイント増加しています。また、「女性」で、「労働時間の短縮やフレックスタイム制の導入」が前回調査より8.6ポイント増加しています。さらに、「技能・技術を身に付けるための研修や職業訓練の機会の充実」・「就職活動の疑問や不安を解消するための相談窓口の設置」が前回調査より5ポイント程度増加しています。



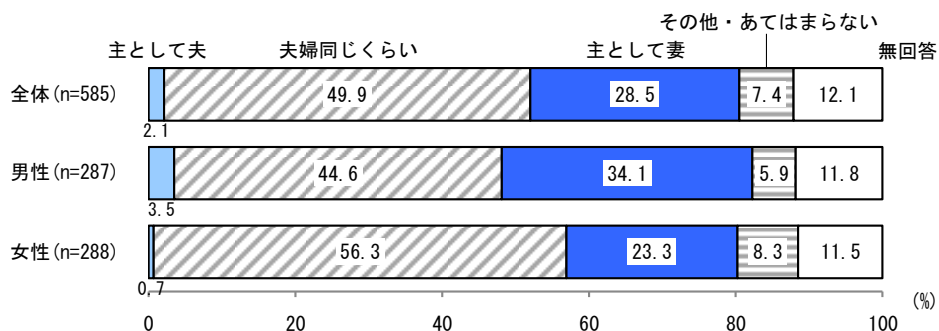
### 3. 家庭での役割分担について

問14 家庭での夫婦の役割分担について、あなたはどうお考えですか。配偶者・パートナーがおられない方は(1)の希望の生活のみお答えください。(1)希望の生活、(2)現実の生活で、①～⑤のそれぞれについて、○は1つずつ  
 ① 家事(洗濯・掃除・食事等)

#### (1) 希望の生活

理想の家事の夫婦の役割分担については、「夫婦同じくらい」が49.9%と最も高く、次いで「主として妻」(28.5%)となっています。

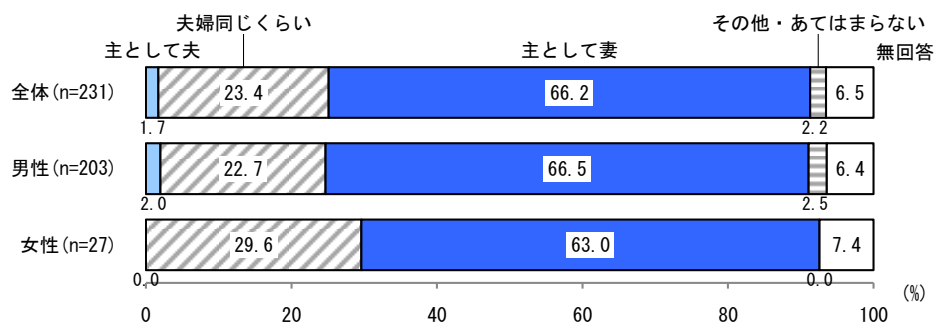
性別でみると、「男性」で「主として妻」が34.1%と3割を超えている一方で、「女性」で「夫婦同じくらい」が56.3%と5割を超えています。



#### (2) 現実の生活

現実の家事の夫婦の役割分担については、「主として妻」が66.2%と最も高く、次いで「夫婦同じくらい」(23.4%)となっています。

性別でみると、「女性」で「夫婦同じくらい」が29.6%と3割近くを占めています。



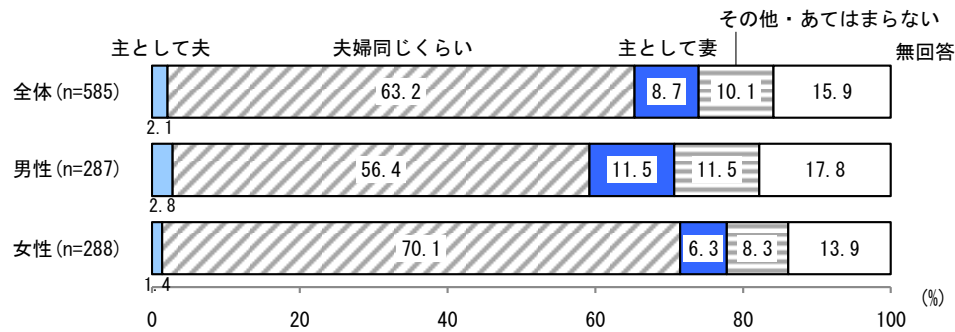


問14 ② しつけやあそびなど、日常生活での子育て

(1) 希望の生活

理想の子育ての夫婦の役割分担については、「夫婦同じくらい」が63.2%と最も高く、次いで「主として妻」(8.7%)となっています。

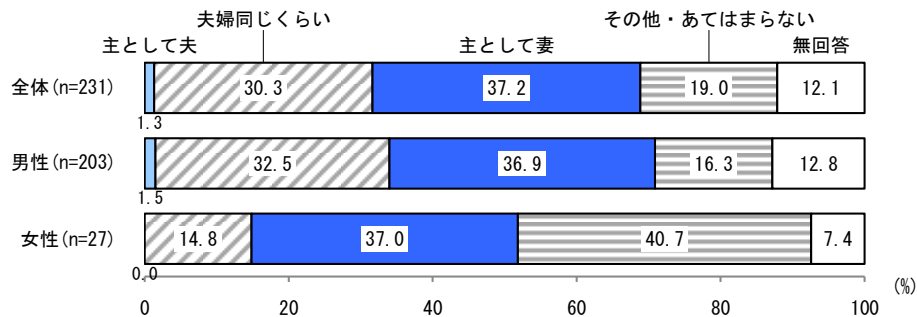
性別でみると、「女性」で「夫婦同じくらい」が70.1%と7割を占めています。



(2) 現実の生活

現実の子育ての夫婦の役割分担については、「主として妻」が37.2%と最も高く、次いで「夫婦同じくらい」(30.3%)となっています。

性別でみると、「男性」で「夫婦同じくらい」が32.5%と3割を超えています。

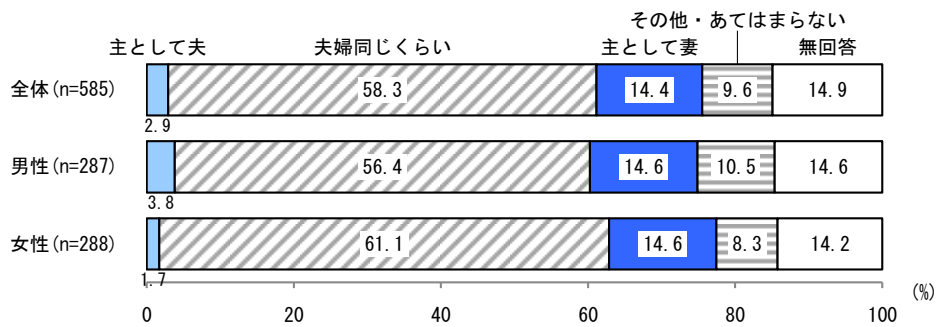


問14 ③ 近所づきあい

(1) 希望の生活

理想の近所づきあいの夫婦の役割分担については、「夫婦同じくらい」が58.3%と最も高く、次いで「主として妻」(14.4%)となっています。

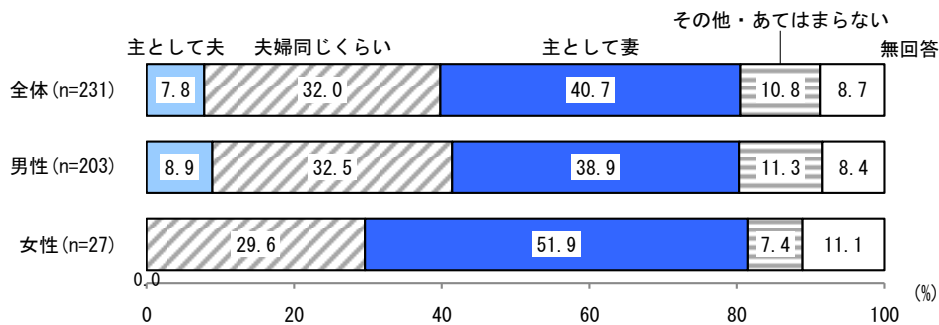
性別でみると、「女性」で「夫婦同じくらい」が61.1%と6割程度を占めています。



(2) 現実の生活

現実の近所づきあいの夫婦の役割分担では、「主として妻」が40.7%と最も高く、次いで「夫婦同じくらい」(32.0%)となっています。

性別でみると、「女性」で「主として妻」が51.9%と5割程度を占めています。

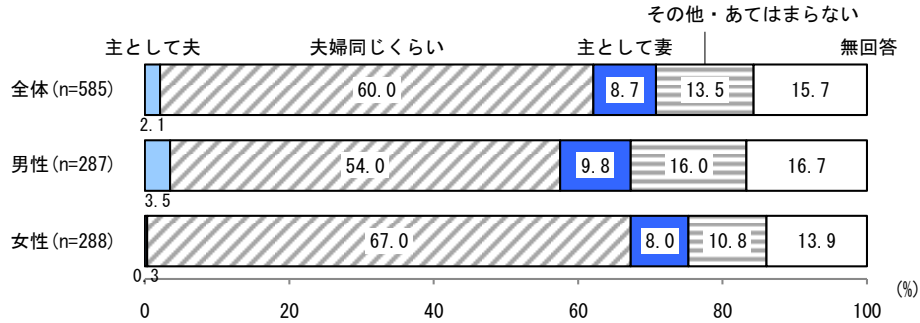


問14 ④ 高齢者・病人の世話・介護

(1) 希望の生活

理想の高齢者・病人の世話・介護の夫婦の役割分担については、「夫婦同じくらい」が60.0%と最も高く、次いで「主として妻」(8.7%)となっています。

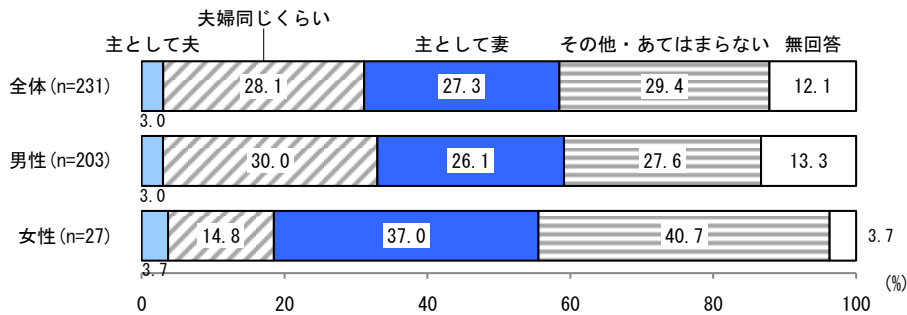
性別でみると、「女性」で「夫婦同じくらい」が67.0%と6割を超えています。



(2) 現実の生活

現実の高齢者・病人の世話・介護の夫婦の役割分担については、「夫婦同じくらい」が28.1%と最も高く、次いで「主として妻」(27.3%)となっています。

性別でみると、「女性」で「主として妻」が37.0%と3割を超えています。

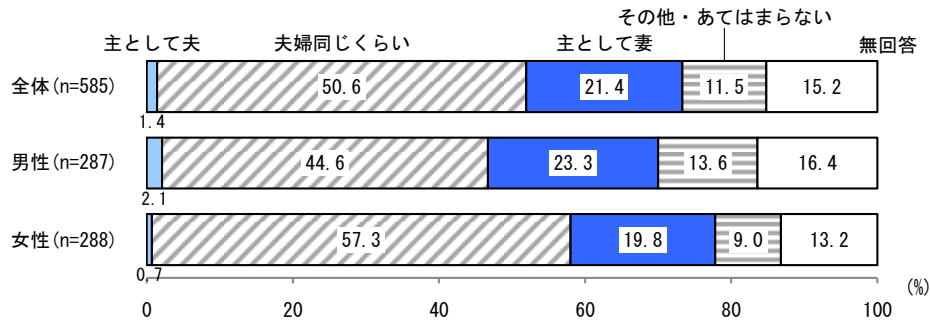


問14 ⑤ 特に子どもが3歳くらいまでの幼少期の世話

(1) 希望の生活

理想の幼少期の世話の夫婦の役割分担については、「夫婦同じくらい」が50.6%と最も高く、次いで「主として妻」(21.4%)となっています。

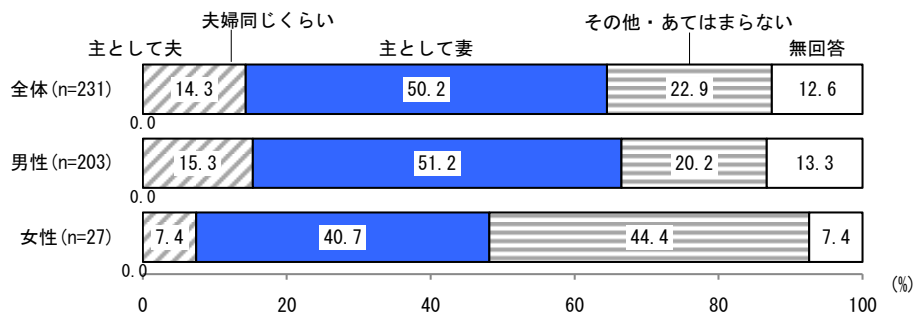
性別でみると、「女性」で「夫婦同じくらい」が57.3%と5割を超えています。



(2) 現実の生活

現実の幼少期の世話の夫婦の役割分担については、「主として妻」が50.2%と最も高く、次いで「夫婦同じくらい」(14.3%)となっています。

性別でみると、「男性」で「主として妻」が51.2%と5割程度を占めています。



● 問14 前回調査との比較

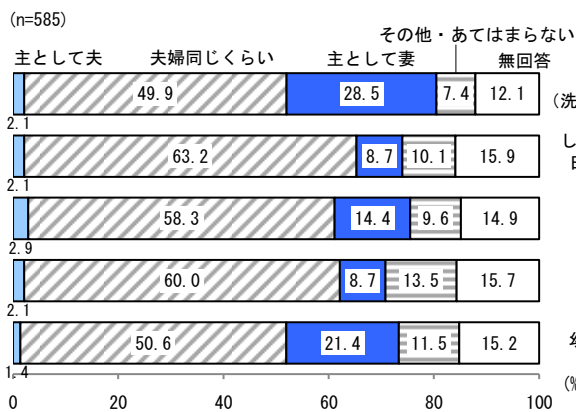
家庭での役割分担の希望と現実について、前回調査と比較すると、「家事」の「希望」について、前回調査よりも「主として妻」が24.2ポイント減少した一方で、「夫婦同じくらい」が13.5ポイント増加しています。

また「現実」については、「家事」において、前回調査より「主として妻」が14.0ポイント減少した一方で、「夫婦同じくらい」が15.4ポイント増加しています。

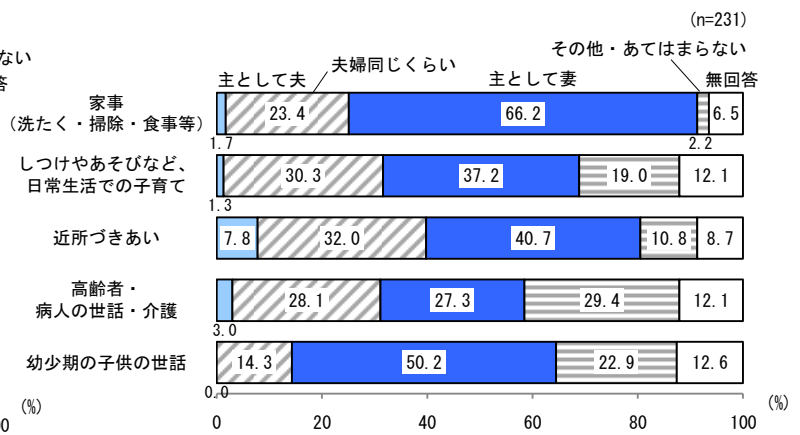
その他の項目について、前回調査より10ポイント以上の増減はみられません。

【今回調査】

【希望】

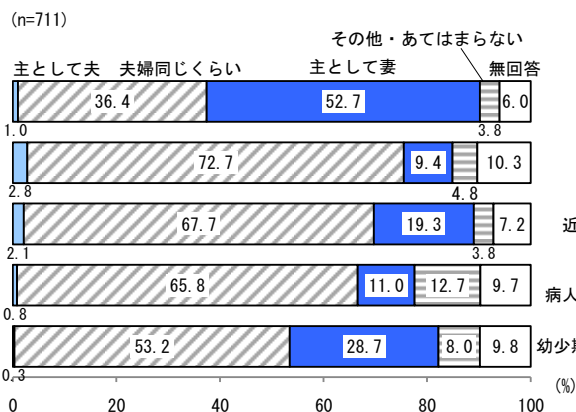


【現実】

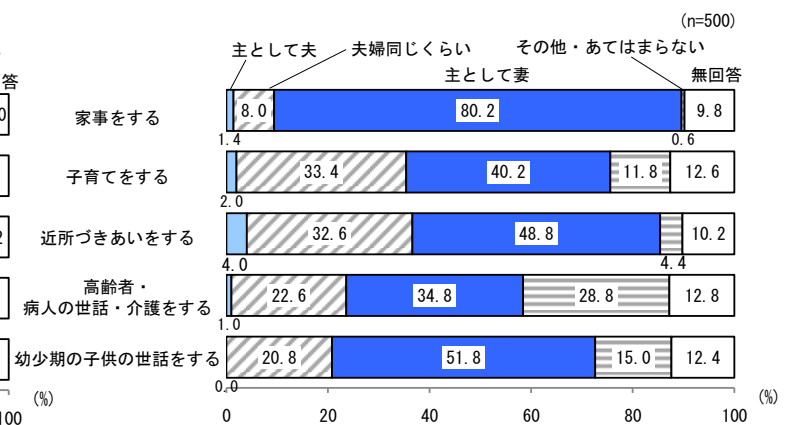


【前回調査】

【希望】



【現実】



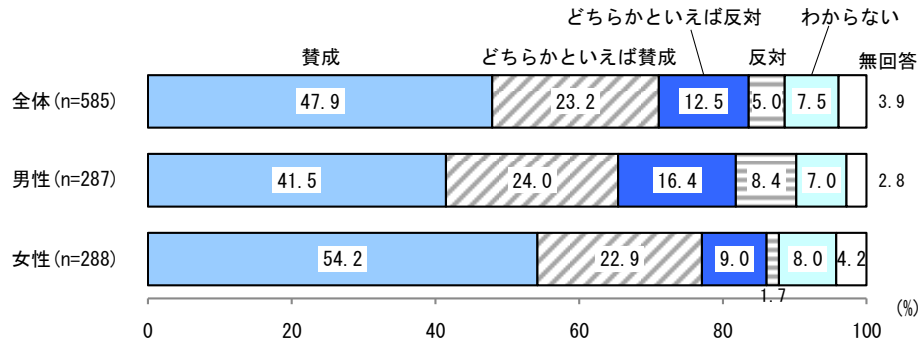
問15 あなたは結婚や家庭についてどう思いますか。各項目についてあなたのお考えに最も近いものをお答えください。(①～④のそれぞれについて、○は1つずつ)

① 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよいという考えについては、「賛成」が47.9%と最も高く、「どちらかといえば賛成」(23.2%)を合わせた『賛成』の割合は71.1%となっています。

性別でみると、「男性」で「どちらかといえば反対」が16.4%と1割を超えており、「反対」(8.4%)を合わせた『反対』の割合は24.8%と2割を超えています。一方で、「女性」で「賛成」が54.2%と5割を超えており、「どちらかといえば賛成」(22.9%)を合わせた『賛成』の割合は77.1%となっています。

性年代別でみると、「男性」の「70歳以上」で「どちらかといえば反対」と「反対」を合わせた『反対』の割合が3割を超えています。



<性年代別クロス表>

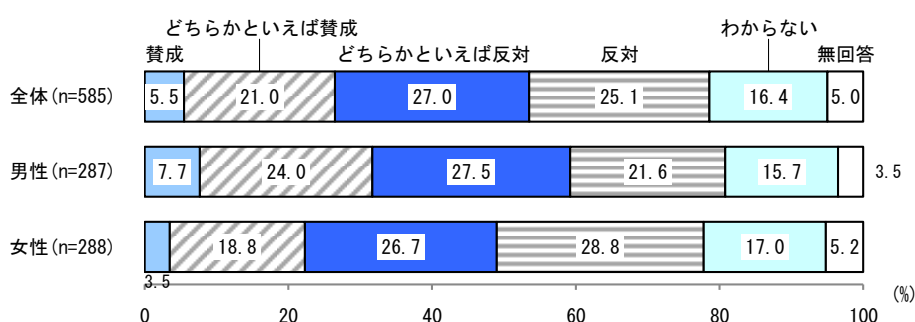
		調査数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答	『賛成』計	『反対』計
全体		585	47.9	23.2	12.5	5.0	7.5	3.9	71.1	17.5
男性	10～20歳代	21	71.4	14.3	-	-	14.3	-	85.7	0.0
	30歳代	22	59.1	18.2	13.6	4.5	4.5	-	77.3	18.1
	40歳代	30	56.7	16.7	10.0	13.3	3.3	-	73.4	23.3
	50歳代	45	42.2	31.1	11.1	2.2	8.9	4.4	73.3	13.3
	60歳代	57	42.1	21.1	19.3	10.5	7.0	-	63.2	29.8
	70歳代	68	26.5	30.9	23.5	11.8	5.9	1.5	57.4	<b>35.3</b>
	80歳以上	43	27.9	23.3	20.9	9.3	7.0	11.6	51.2	<b>30.2</b>
女性	10～20歳代	19	84.2	15.8	-	-	-	-	100.0	0.0
	30歳代	16	87.5	6.3	-	-	-	6.3	93.8	0.0
	40歳代	45	80.0	17.8	-	-	2.2	-	97.8	0.0
	50歳代	58	63.8	20.7	5.2	1.7	8.6	-	84.5	6.9
	60歳代	52	44.2	30.8	15.4	-	7.7	1.9	75.0	15.4
	70歳代	68	29.4	32.4	14.7	5.9	10.3	7.4	61.8	20.6
	80歳以上	30	33.3	13.3	16.7	-	20.0	16.7	46.6	16.7

② 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考えについては、「どちらかといえば反対」が27.0%と最も高く、「反対」(25.1%)を合わせた『反対』の割合は52.1%と5割を超えています。

性別でみると、「男性」で「どちらかといえば賛成」が24.0%と2割を超えており、「賛成」(7.7%)を合わせた『賛成』の割合は31.7%と3割程度を占めています。

性年代別でみると、「男性」の「70歳以上」で「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた『賛成』の割合が4割を超えている一方で、「女性」の「10～20歳代」では「どちらかといえば反対」(15.8%)と「反対」(63.2%)を合わせた『反対』の割合が79.0%と8割近くを占めています。



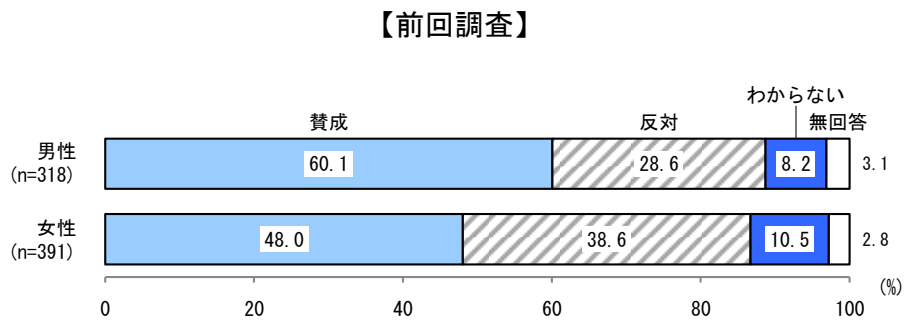
<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答	『賛成』計	『反対』計
全体		585	5.5	21.0	27.0	25.1	16.4	5.0	26.5	52.1
男性	10～20歳代	21	-	4.8	38.1	33.3	23.8	-	4.8	71.4
	30歳代	22	4.5	18.2	27.3	22.7	27.3	-	22.7	50.0
	40歳代	30	10.0	10.0	23.3	33.3	23.3	-	20.0	56.6
	50歳代	45	4.4	17.8	24.4	28.9	17.8	6.7	22.2	53.3
	60歳代	57	7.0	22.8	31.6	22.8	14.0	1.8	29.8	54.4
	70歳代	68	4.4	39.7	29.4	16.2	5.9	4.4	44.1	45.6
	80歳以上	43	20.9	27.9	20.9	7.0	16.3	7.0	48.8	27.9
女性	10～20歳代	19	-	10.5	15.8	63.2	10.5	-	10.5	79.0
	30歳代	16	-	6.3	18.8	56.3	12.5	6.3	6.3	75.1
	40歳代	45	-	15.6	31.1	35.6	17.8	-	15.6	66.7
	50歳代	58	-	24.1	32.8	24.1	19.0	-	24.1	56.9
	60歳代	52	5.8	17.3	30.8	30.8	13.5	1.9	23.1	61.6
	70歳代	68	7.4	22.1	22.1	19.1	16.2	13.2	29.5	41.2
	80歳以上	30	6.7	20.0	23.3	10.0	26.7	13.3	26.7	33.3

● 問15② 前回調査との比較

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考えについて、前回調査と比較すると、男女ともに前回調査より『反対』（「どちらかといえば反対」と「反対」を合わせた割合）が増加しており、「男性」で20.5ポイント、「女性」で16.9ポイント増加しています。



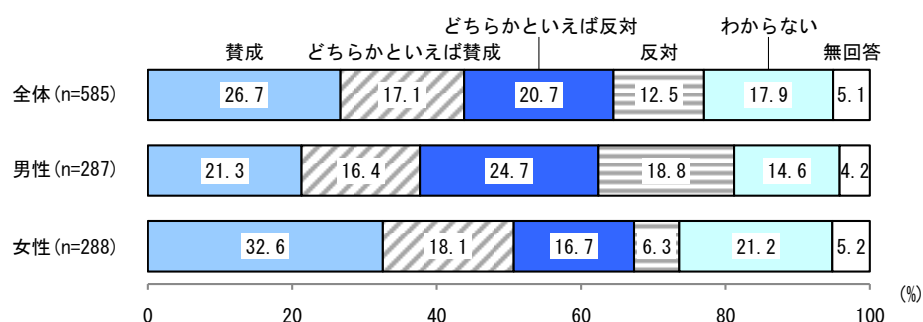


### ③ 結婚しても必ずしも子どもはもたなくてよい

結婚しても必ずしも子どもはもたなくてよいという考えについては、「賛成」が26.7%と最も高く、「どちらかといえば賛成」(17.1%)を合わせた『賛成』の割合は43.8%と4割を超えています。

性別でみると、「男性」で「どちらかといえば反対」が24.7%と2割を超えており、「反対」(18.8%)を合わせた『反対』の割合は43.5%と4割を超えています。一方で、「女性」では、「賛成」が32.6%と3割を超えており、「どちらかといえば賛成」(18.1%)を合わせた『賛成』の割合は50.7%と5割を占めています。

性年代別でみると、「男性」の「70歳以上」で「どちらかといえば反対」と「反対」を合わせた『反対』の割合が5割を超えています。



<性年代別クロス表>

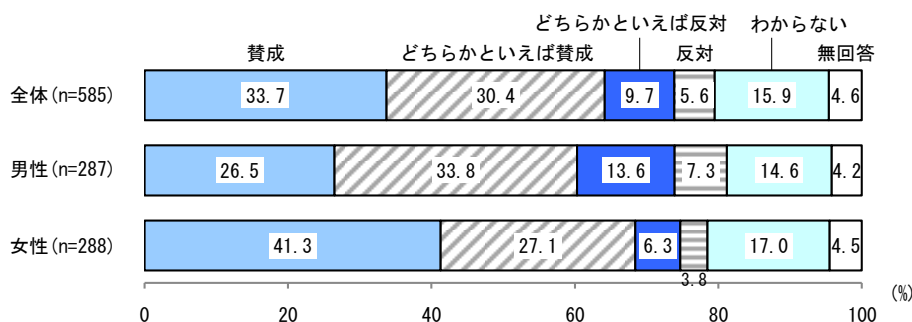
		調査数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答	『賛成』計	『反対』計
全体		585	26.7	17.1	20.7	12.5	17.9	5.1	43.8	33.2
男性	10~20歳代	21	42.9	28.6	4.8	14.3	9.5	-	71.5	19.1
	30歳代	22	40.9	18.2	27.3	4.5	9.1	-	59.1	31.8
	40歳代	30	40.0	13.3	6.7	13.3	26.7	-	53.3	20.0
	50歳代	45	22.2	13.3	24.4	13.3	20.0	6.7	35.5	37.7
	60歳代	57	21.1	19.3	26.3	15.8	15.8	1.8	40.4	42.1
	70歳代	68	8.8	16.2	30.9	32.4	8.8	2.9	25.0	<b>63.3</b>
	80歳以上	43	7.0	9.3	34.9	20.9	14.0	14.0	16.3	<b>55.8</b>
女性	10~20歳代	19	73.7	21.1	-	-	5.3	-	94.8	0.0
	30歳代	16	62.5	18.8	6.3	-	6.3	6.3	81.3	6.3
	40歳代	45	55.6	15.6	8.9	2.2	17.8	-	71.2	11.1
	50歳代	58	31.0	20.7	15.5	3.4	29.3	-	51.7	18.9
	60歳代	52	23.1	21.2	28.8	1.9	23.1	1.9	44.3	30.7
	70歳代	68	14.7	17.6	16.2	16.2	23.5	11.8	32.3	32.4
	80歳以上	30	16.7	10.0	26.7	10.0	20.0	16.7	26.7	36.7

④ 結婚しても相手に満足できないときは、離婚も仕方がない

結婚しても相手に満足できないときは、離婚も仕方がないという考えについては、「賛成」が33.7%と最も高く、「どちらかといえば賛成」(30.4%)を合わせた『賛成』の割合は64.1%と6割を超えています。

性別で見ると、「男性」で「反対」(13.6%)と「どちらかといえば反対」(7.3%)を合わせた『反対』の割合が20.9%と2割程度を占めています。一方で、「女性」では「賛成」が41.3%と4割を超えており、「どちらかといえば賛成」(27.1%)を合わせた『賛成』の割合は68.4%と7割近くを占めています。

性年代別で見ると、「男性」の「30歳代」と「80歳以上」で「どちらかといえば反対」と「反対」を合わせた『反対』の割合が3割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答	『賛成』計	『反対』計
全体		585	33.7	30.4	9.7	5.6	15.9	4.6	64.1	15.3
男性	10~20歳代	21	38.1	14.3	4.8	14.3	28.6	-	52.4	19.1
	30歳代	22	40.9	18.2	22.7	9.1	9.1	-	59.1	31.8
	40歳代	30	33.3	23.3	16.7	10.0	16.7	-	56.6	26.7
	50歳代	45	28.9	37.8	4.4	2.2	20.0	6.7	66.7	6.6
	60歳代	57	28.1	45.6	12.3	3.5	8.8	1.8	73.7	15.8
	70歳代	68	20.6	39.7	13.2	10.3	11.8	4.4	60.3	23.5
	80歳以上	43	14.0	27.9	23.3	7.0	16.3	11.6	41.9	30.3
女性	10~20歳代	19	47.4	36.8	-	-	15.8	-	84.2	0.0
	30歳代	16	68.8	12.5	-	6.3	6.3	6.3	81.3	6.3
	40歳代	45	51.1	28.9	4.4	2.2	13.3	-	80.0	6.6
	50歳代	58	41.4	32.8	6.9	1.7	17.2	-	74.2	8.6
	60歳代	52	46.2	30.8	5.8	1.9	13.5	1.9	77.0	7.7
	70歳代	68	26.5	25.0	10.3	5.9	22.1	10.3	51.5	16.2
	80歳以上	30	33.3	13.3	6.7	10.0	23.3	13.3	46.6	16.7

#### 4. 地域活動について

問16 あなたの住んでいる自治会や町内会の活動では、次のようなことがありますか。

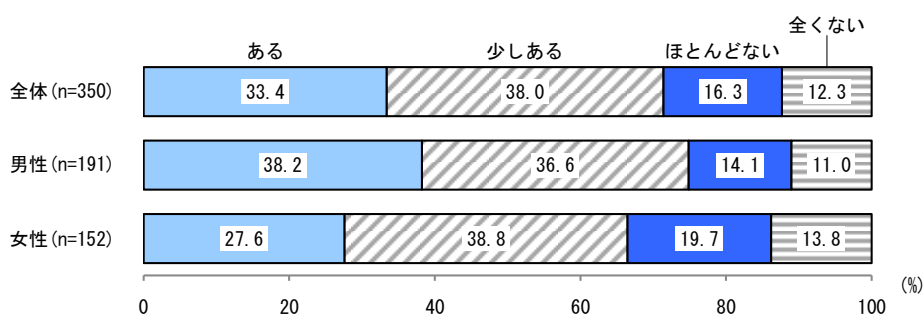
(①～⑤のそれぞれについて○は1つずつ)

(※問16は今までに自治会や町内会の活動に参加したことがある方にお伺いします。)

##### ① 行事やイベントの企画は主に男性が決定している

行事やイベントの企画は主に男性が決定しているについては、「少しある」が38.0%と最も高く、「ある」(33.4%)を合わせた『ある』の割合は71.4%となっています。

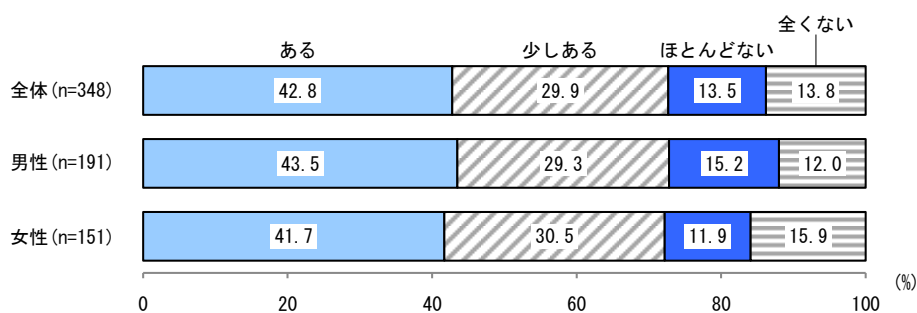
性別でみると、「男性」で「ある」(38.2%)と「少しある」(36.6%)を合わせた『ある』の割合が、74.8%と7割を超えています。



##### ② 代表者は男性から選ばれる

代表者は男性から選ばれるについては、「ある」が42.8%と最も高く、「少しある」(29.9%)を合わせた『ある』の割合は72.7%となっています。

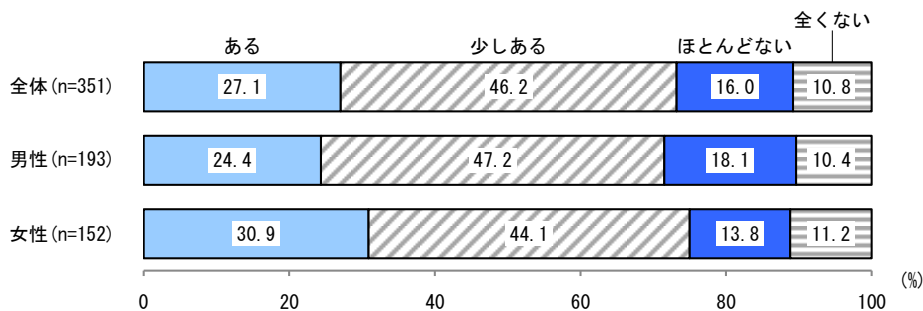
性別で大きな差は見られません。



③ 女性は責任のある役を引き受けたがらない

女性は責任のある役を引き受けたがらないについては、「少しある」が46.2%と最も高く、「ある」(27.1%)を合わせた『ある』の割合は73.3%となっています。

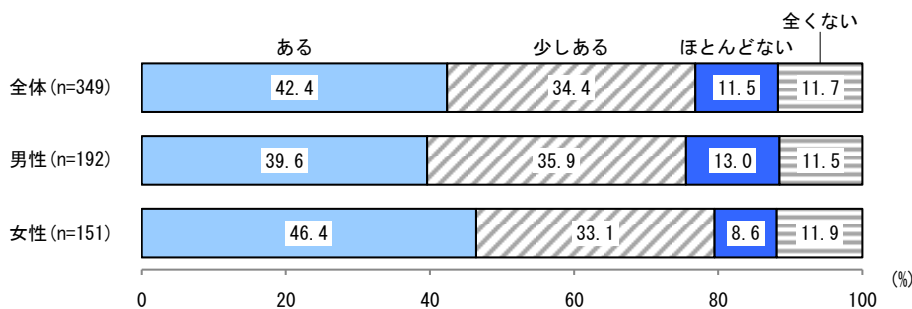
性別で見ると、「女性」で「ある」(30.9%)と「少しある」(44.1%)を合わせた『ある』の割合は75.0%と7割を超えています。



④ お茶入れや食事の準備などは女性がしている

お茶入れや食事の準備などは女性がしているについては、「ある」が42.4%と最も高く、「少しある」(34.4%)を合わせた『ある』の割合は76.8%となっています。

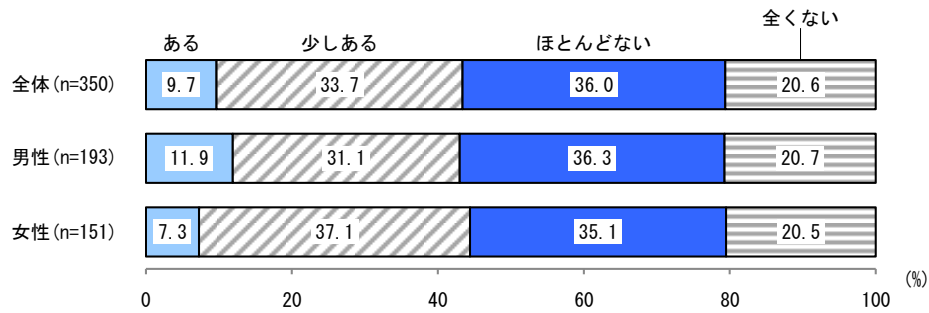
性別で見ると、「女性」で「ある」(46.4%)と「少しある」(33.1%)を合わせた『ある』の割合は79.5%と8割近くとなっています。



⑤ 女性は発言しにくい雰囲気がある

女性は発言しにくい雰囲気があるについては、「ほとんどない」が36.0%と最も高く、「ある」(9.7%)と「少しある」(33.7%)を合わせた『ある』の割合は43.4%となっている。

性別で大きな差はみられません。

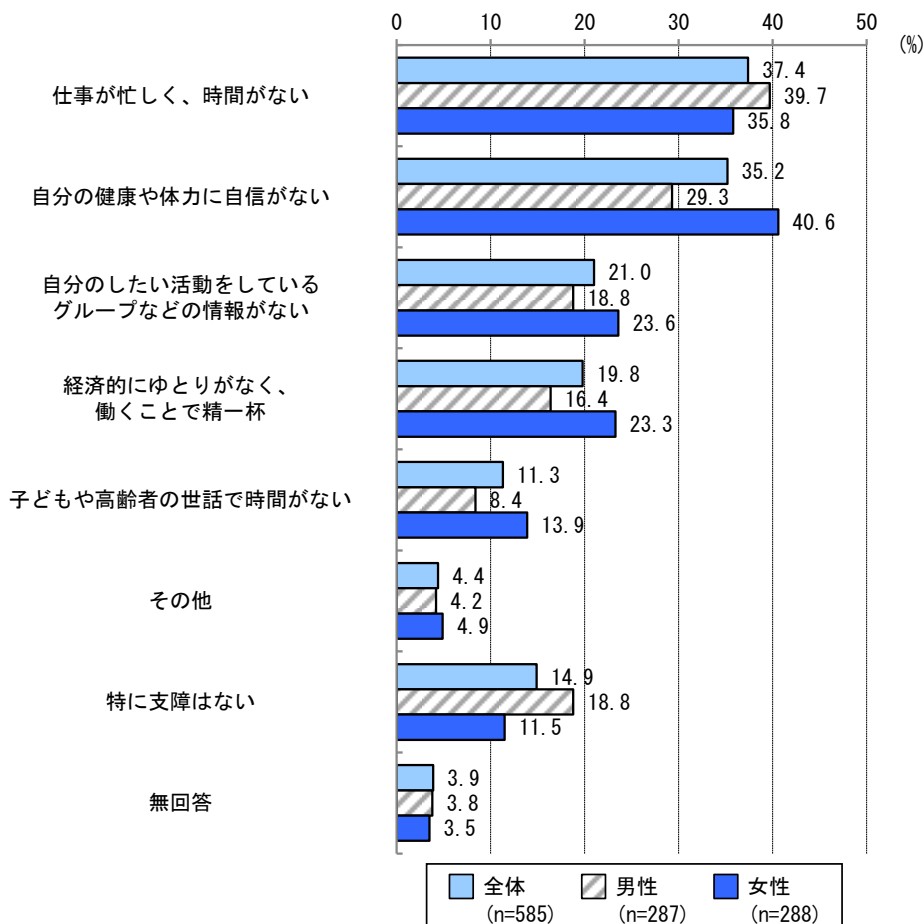


問17 あなたがボランティア活動など、地域活動に参加しようとするとき、支障となるものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

ボランティア活動などの地域活動に参加しようとするとき支障となることについては、「仕事が忙しく、時間がない」が37.4%と最も高く、次いで「自分の健康や体力に自信がない」(35.2%)、「自分のしたい活動をしているグループなどの情報がない」(21.0%)となっています。

性別で見ると、「女性」で「自分の健康や体力に自信がない」が40.6%と4割を超え、最も高くなっています。

性年代別で見ると、男女ともに「10～50歳代」で「仕事が忙しく、時間がない」が5割を超えています。また、男女ともに「10～20歳代」で「自分のしたい活動をしているグループなどの情報がない」が4割を超え、全体より20ポイント以上高くなっています。「女性」の「30歳代」では、「経済的にゆとりがなく、働くことで精一杯」が56.3%と全体より36.5ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

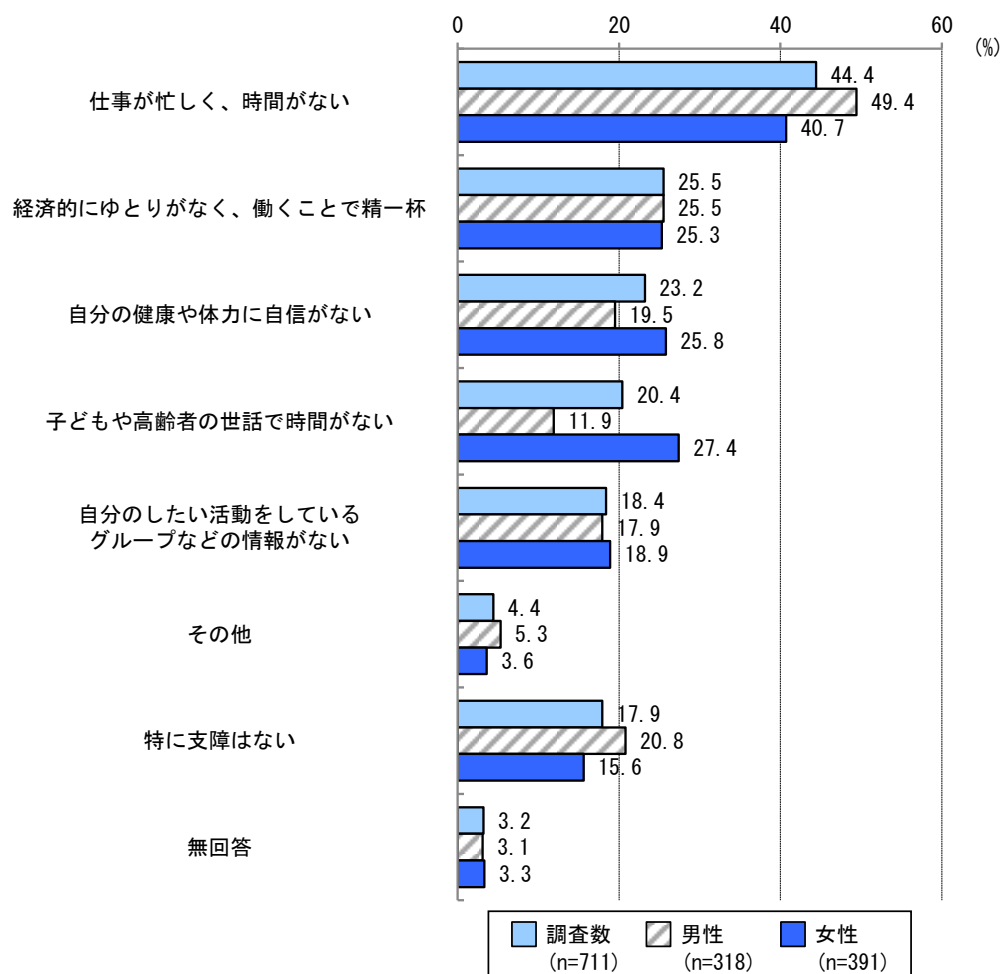
		調査数	仕事が忙しく、 時間がない	子どもや高齢者の世話で 時間がない	働くことで精一杯	経済的にゆとりがなく、 経済的にゆとりがなく、 働くことで精一杯	自分のしたい活動をして いるグループなどの情報がない	自分の健康や体力に 自信がない	その他	特に支障はない
全体		585	37.4	11.3	19.8	21.0	35.2	4.4	14.9	
男性	10～20 歳代	21	52.4	14.3	14.3	42.9	4.8	14.3	19.0	
	30 歳代	22	72.7	22.7	36.4	18.2	13.6	9.1	13.6	
	40 歳代	30	76.7	20.0	20.0	6.7	16.7	6.7	10.0	
	50 歳代	45	57.8	6.7	28.9	11.1	17.8	-	8.9	
	60 歳代	57	43.9	7.0	21.1	22.8	22.8	1.8	19.3	
	70 歳代	68	16.2	1.5	2.9	27.9	44.1	4.4	25.0	
	80 歳以上	43	2.3	4.7	7.0	4.7	55.8	2.3	27.9	
女性	10～20 歳代	19	63.2	5.3	26.3	47.4	21.1	5.3	21.1	
	30 歳代	16	62.5	25.0	56.3	37.5	25.0	-	6.3	
	40 歳代	45	60.0	15.6	35.6	33.3	33.3	4.4	4.4	
	50 歳代	58	56.9	22.4	34.5	20.7	36.2	6.9	3.4	
	60 歳代	52	26.9	17.3	21.2	21.2	38.5	5.8	15.4	
	70 歳代	68	7.4	7.4	7.4	17.6	61.8	2.9	11.8	
	80 歳以上	30	6.7	3.3	3.3	10.0	36.7	6.7	26.7	
		調査数	無回答							
全体		585	3.9							
男性	10～20 歳代	21	-							
	30 歳代	22	-							
	40 歳代	30	-							
	50 歳代	45	6.7							
	60 歳代	57	1.8							
	70 歳代	68	5.9							
	80 歳以上	43	7.0							
女性	10～20 歳代	19	-							
	30 歳代	16	-							
	40 歳代	45	2.2							
	50 歳代	58	-							
	60 歳代	52	1.9							
	70 歳代	68	5.9							
	80 歳以上	30	13.3							

● 問17 前回調査との比較

ボランティア活動などの地域活動に参加しようとするとき支障となることについて、前回調査と比較すると、「自分の健康や体力に自信がない」が、前回調査より全体で12.0ポイント増加しています。

性別で見ると、「女性」で「自分の健康や体力に自信がない」が、前回調査より14.8ポイント増加している一方で、「子どもや高齢者の世話で時間がない」は13.5ポイント減少しています。

【前回調査】



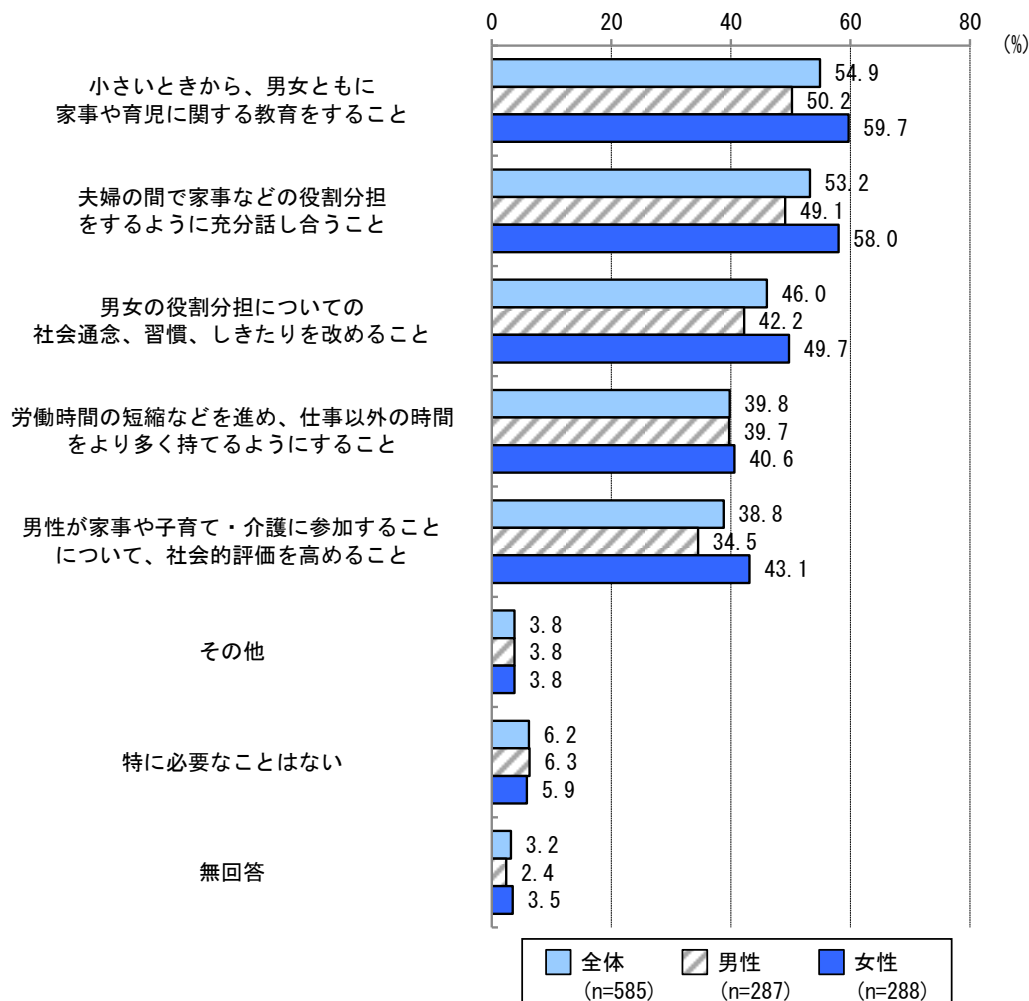


問18 男女が仕事と家事や子育て・介護を両立し、地域活動に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

男女が家事や子育て・介護を両立し、地域活動に参加するために必要なことについては、「小さいときから、男女ともに家事や育児に関する教育をすること」が54.9%と最も高く、次いで「夫婦の間で家事などの役割分担をするように充分話し合うこと」(53.2%)、「男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること」(46.0%)となっています。

性別でみると、「女性」で「小さいときから、男女ともに家事や育児に関する教育をすること」(59.7%)、「夫婦の間で家事などの役割分担をするように充分話し合うこと」(58.0%)が6割近くを占めています。

性年代別でみると、「女性」の「10～20歳代」で「男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること」(84.2%)、「女性」の「30歳代」で「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」(75.0%)が、それぞれ全体より35ポイント以上高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること	男性が家事や子育て・介護に参加することについて、社会的評価を高めること	夫婦の間で家事などの役割分担をするように充分話し合うこと	労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	小さいときから、男女ともに家事や育児に関する教育をすること	その他	特に必要なことはない
全体		585	46.0	38.8	53.2	39.8	54.9	3.8	6.2
男性	10～20 歳代	21	57.1	42.9	57.1	47.6	61.9	-	4.8
	30 歳代	22	31.8	18.2	27.3	63.6	50.0	-	18.2
	40 歳代	30	46.7	53.3	46.7	46.7	53.3	10.0	10.0
	50 歳代	45	37.8	33.3	35.6	35.6	46.7	4.4	2.2
	60 歳代	57	43.9	31.6	57.9	47.4	45.6	7.0	5.3
	70 歳代	68	47.1	32.4	52.9	25.0	54.4	1.5	8.8
	80 歳以上	43	32.6	32.6	55.8	37.2	46.5	2.3	-
女性	10～20 歳代	19	<b>84.2</b>	42.1	63.2	63.2	68.4	5.3	5.3
	30 歳代	16	50.0	37.5	56.3	<b>75.0</b>	75.0	6.3	12.5
	40 歳代	45	46.7	48.9	66.7	55.6	66.7	6.7	2.2
	50 歳代	58	55.2	44.8	58.6	44.8	63.8	3.4	5.2
	60 歳代	52	42.3	55.8	53.8	36.5	55.8	3.8	5.8
	70 歳代	68	48.5	41.2	61.8	27.9	57.4	2.9	2.9
	80 歳以上	30	36.7	16.7	40.0	13.3	40.0	-	16.7
		調査数	無回答						
全体		585	3.2						
男性	10～20 歳代	21	-						
	30 歳代	22	-						
	40 歳代	30	-						
	50 歳代	45	6.7						
	60 歳代	57	-						
	70 歳代	68	1.5						
	80 歳以上	43	7.0						
女性	10～20 歳代	19	-						
	30 歳代	16	-						
	40 歳代	45	-						
	50 歳代	58	-						
	60 歳代	52	1.9						
	70 歳代	68	7.4						
	80 歳以上	30	13.3						

## 5. 男女平等に関する意識について

問19 あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
各項目についてあなたのお考えに最も近いものをお答えください。

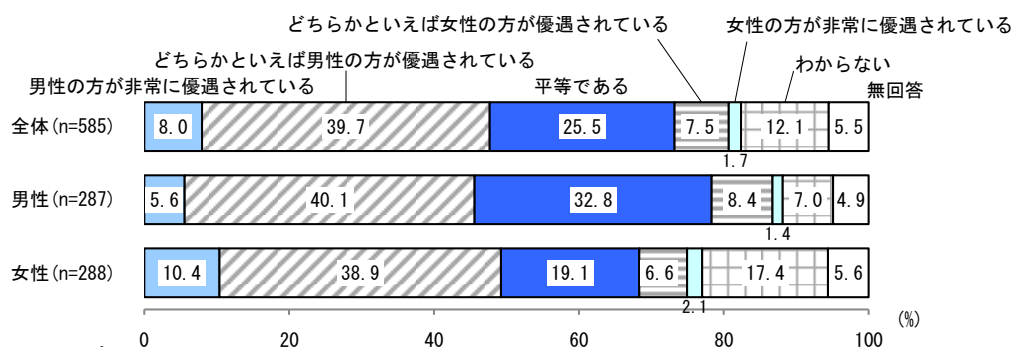
(①～⑨のそれぞれについて、○は1つずつ)

### ① 家庭生活

家庭生活での男女の優遇度については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が39.7%と最も高く、「男性の方が非常に優遇されている」(8.0%)を合わせた『男性優遇』の割合は47.7%となっています。また、「平等である」は25.5%となっています。

性別で見ると、「男性」で「平等である」が32.8%と3割を超えている一方で、「女性」で、「男性の方が非常に優遇されている」(10.4%)と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(38.9%)を合わせた『男性優遇』の割合が49.3%と5割近くを占めています。

性年代別で見ると、「女性」の「40歳代」で「男性の方が非常に優遇されている」が15.6%と全体より7.6ポイント高くなっています。一方で、「男性」の「30歳代」で「平等である」が50.0%と5割を占め、全体より24.5ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

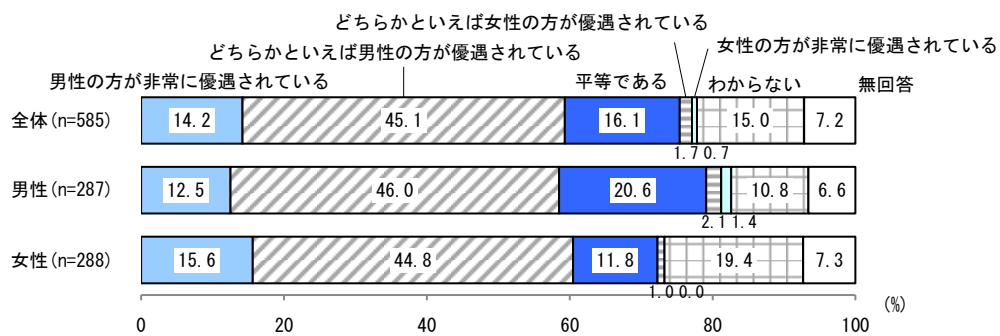
	調査数	優遇されている						わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない				
全体	585	8.0	39.7	25.5	7.5	1.7	12.1	5.5	47.7	9.2	
男性	10～20歳代	-	14.3	28.6	33.3	4.8	14.3	4.8	14.3	38.1	
	30歳代	4.5	18.2	50.0	9.1	4.5	13.6	-	22.7	13.6	
	40歳代	10.0	36.7	23.3	10.0	3.3	16.7	-	46.7	13.3	
	50歳代	6.7	37.8	35.6	6.7	2.2	8.9	2.2	44.5	8.9	
	60歳代	5.3	43.9	40.4	7.0	-	3.5	-	49.2	7.0	
	70歳代	2.9	50.0	32.4	5.9	-	2.9	5.9	52.9	5.9	
	80歳以上	9.3	46.5	20.9	2.3	-	2.3	18.6	55.8	2.3	
女性	10～20歳代	5.3	42.1	5.3	5.3	10.5	31.6	-	47.4	15.8	
	30歳代	6.3	50.0	-	18.8	-	25.0	-	56.3	18.8	
	40歳代	15.6	40.0	20.0	4.4	2.2	13.3	4.4	55.6	6.6	
	50歳代	10.3	39.7	10.3	3.4	1.7	25.9	8.6	50.0	5.1	
	60歳代	9.6	46.2	19.2	5.8	-	17.3	1.9	55.8	5.8	
	70歳代	11.8	30.9	30.9	10.3	1.5	7.4	7.4	42.7	11.8	
	80歳以上	6.7	33.3	26.7	3.3	3.3	16.7	10.0	40.0	6.6	

問19 ② 就業の機会

就業の機会での男女の優遇度については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が45.1%と最も高く、「男性の方が非常に優遇されている」（14.2%）を合わせた『男性優遇』の割合は59.3%となっています。また、「平等である」は16.1%となっています。

性別で見ると、「男性」で「平等である」が20.6%と2割を占めています。

性年代別で見ると、「女性」の「30歳代」で「男性の方が非常に優遇されている」が31.3%と全体より17.1ポイント高くなっています。一方で、「男性」の「10～20歳代」で「平等である」が47.6%と全体より31.5ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

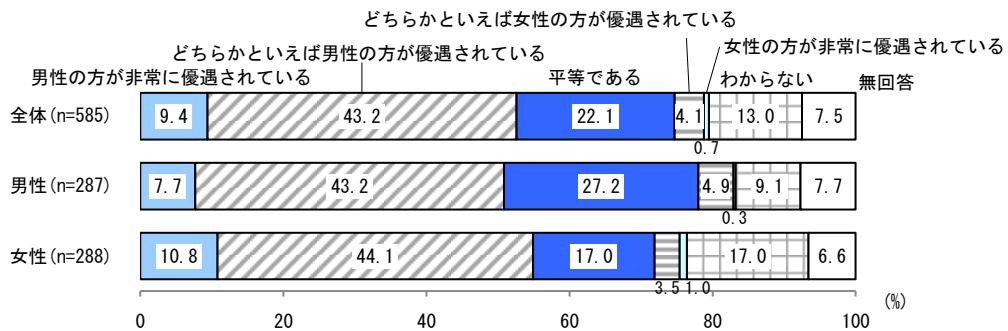
	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計		『女性優遇』計	
								『男性優遇』計	『女性優遇』計		
全体	585	14.2	45.1	16.1	1.7	0.7	15.0	7.2	59.3	2.4	
男性	10～20歳代	21	9.5	28.6	47.6	-	-	9.5	4.8	38.1	-
	30歳代	22	13.6	59.1	22.7	-	-	4.5	-	72.7	-
	40歳代	30	20.0	40.0	26.7	-	3.3	10.0	-	60.0	3.3
	50歳代	45	13.3	51.1	15.6	2.2	2.2	13.3	2.2	64.4	4.4
	60歳代	57	8.8	54.4	28.1	3.5	-	5.3	-	63.2	3.5
	70歳代	68	11.8	47.1	14.7	4.4	2.9	13.2	5.9	58.9	7.3
	80歳以上	43	14.0	32.6	7.0	-	-	16.3	30.2	46.6	-
女性	10～20歳代	19	15.8	47.4	10.5	-	-	26.3	-	63.2	-
	30歳代	16	31.3	31.3	25.0	-	-	12.5	-	62.6	-
	40歳代	45	17.8	48.9	17.8	-	-	13.3	2.2	66.7	-
	50歳代	58	19.0	39.7	12.1	1.7	-	25.9	1.7	58.7	1.7
	60歳代	52	17.3	59.6	7.7	-	-	13.5	1.9	76.9	0.0
	70歳代	68	10.3	38.2	10.3	2.9	-	22.1	16.2	48.5	2.9
	80歳以上	30	6.7	43.3	6.7	-	-	20.0	23.3	50.0	-

問19 ③ 職場

職場での男女の優遇度については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が43.2%と最も高く、「男性の方が非常に優遇されている」(9.4%)を合わせた『男性優遇』の割合は52.6%となっています。また、「平等である」は22.1%となっています。

性別でみると、「男性」で「平等である」が27.2%と2割を超えています。

性年代別でみると、「女性」の「30歳代」で「男性の方が非常に優遇されている」が18.8%と2割近くを占め、全体より9.4ポイント高くなっています。一方で、「男性」の「10～20歳代」・「40歳代」で「平等である」が4割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

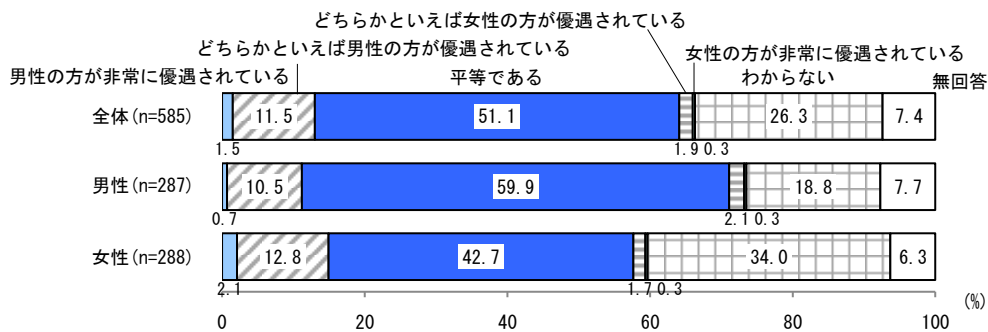
		調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
全体		585	9.4	43.2	22.1	4.1	0.7	13.0	7.5	52.6	4.8
男性	10～20歳代	21	9.5	38.1	<b>42.9</b>	-	-	4.8	4.8	47.6	-
	30歳代	22	9.1	31.8	36.4	9.1	-	13.6	-	40.9	9.1
	40歳代	30	10.0	33.3	<b>40.0</b>	6.7	-	10.0	-	43.3	6.7
	50歳代	45	13.3	40.0	26.7	11.1	2.2	4.4	2.2	53.3	13.3
	60歳代	57	3.5	50.9	35.1	5.3	-	5.3	-	54.4	5.3
	70歳代	68	7.4	50.0	19.1	2.9	-	10.3	10.3	57.4	2.9
	80歳以上	43	4.7	41.9	9.3	-	-	16.3	27.9	46.6	-
女性	10～20歳代	19	10.5	47.4	5.3	10.5	-	26.3	-	57.9	10.5
	30歳代	16	<b>18.8</b>	37.5	25.0	-	-	18.8	-	56.3	-
	40歳代	45	11.1	42.2	26.7	4.4	-	13.3	2.2	53.3	4.4
	50歳代	58	12.1	48.3	22.4	1.7	3.4	12.1	-	60.4	5.1
	60歳代	52	13.5	51.9	13.5	1.9	-	17.3	1.9	65.4	1.9
	70歳代	68	7.4	39.7	11.8	4.4	1.5	20.6	14.7	47.1	5.9
	80歳以上	30	6.7	36.7	13.3	3.3	-	16.7	23.3	43.4	3.3

問19 ④ 学校教育の場

学校教育の場での男女の優遇度については、「平等である」が51.1%と最も高くなっています。また、「男性の方が非常に優遇されている」(1.5%)と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(11.5%)を合わせた『男性優遇』の割合は13.0%と1割程度を占めています。

性別で見ると、「男性」で「平等である」が59.9%と6割近くを占めています。

性年代別で見ると、「男性」の「10～20歳代」・「60歳代」で「平等である」が7割を超えています。一方で、「女性」の「60歳代」・「80歳以上」で「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合が2割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

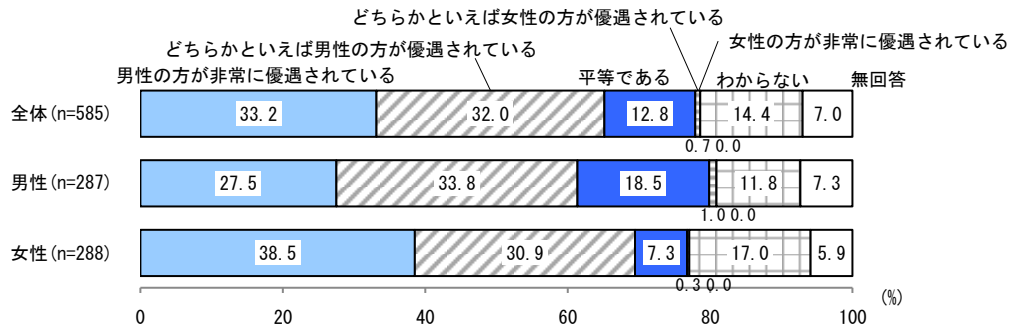
		調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
全体		585	1.5	11.5	51.1	1.9	0.3	26.3	7.4	13.0	2.2
男性	10～20歳代	21	-	4.8	76.2	9.5	4.8	-	4.8	4.8	14.3
	30歳代	22	-	18.2	63.6	-	-	18.2	-	18.2	-
	40歳代	30	-	6.7	66.7	-	-	23.3	3.3	6.7	-
	50歳代	45	2.2	11.1	57.8	4.4	-	22.2	2.2	13.3	4.4
	60歳代	57	-	10.5	71.9	1.8	-	12.3	3.5	10.5	1.8
	70歳代	68	1.5	11.8	57.4	-	-	20.6	8.8	13.3	-
	80歳以上	43	-	9.3	37.2	2.3	-	25.6	25.6	9.3	2.3
女性	10～20歳代	19	-	5.3	42.1	10.5	-	42.1	-	5.3	10.5
	30歳代	16	6.3	-	50.0	-	-	43.8	-	6.3	-
	40歳代	45	-	8.9	40.0	2.2	2.2	44.4	2.2	8.9	4.4
	50歳代	58	-	13.8	44.8	-	-	39.7	1.7	13.8	-
	60歳代	52	7.7	17.3	44.2	1.9	-	26.9	1.9	25.0	1.9
	70歳代	68	-	14.7	38.2	-	-	35.3	11.8	14.7	-
	80歳以上	30	3.3	16.7	46.7	3.3	-	6.7	23.3	20.0	3.3

問19 ⑤ 政治の場

政治の場での男女の優遇度については、「男性の方が非常に優遇されている」が33.2%と最も高く、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(32.0%)を合わせた『男性優遇』の割合は65.2%となっています。また、「平等である」は12.8%となっています。

性別でみると「男性」で「平等である」が18.5%と2割近くを占めている一方で、「女性」で「男性の方が非常に優遇されている」が38.5%と4割近くを占めています。

性年代別でみると、「男性」の「30歳代」で「平等である」が27.3%と全体より14.5ポイント高くなっています。一方で、「女性」の「30歳代」で「男性の方が非常に優遇されている」(50.0%)と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(37.5%)を合わせた『男性優遇』の割合が87.5%と全体より22.3ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計	
									65.2	0.7	
全体	585	33.2	32.0	12.8	0.7	-	14.4	7.0	65.2	0.7	
男性	10~20歳代	21	33.3	42.9	14.3	-	-	4.8	4.8	76.2	-
	30歳代	22	36.4	22.7	<b>27.3</b>	-	-	13.6	-	59.1	-
	40歳代	30	30.0	33.3	16.7	-	-	16.7	3.3	63.3	-
	50歳代	45	46.7	22.2	11.1	2.2	-	13.3	4.4	68.9	2.2
	60歳代	57	26.3	45.6	19.3	1.8	-	5.3	1.8	71.9	1.8
	70歳代	68	14.7	42.6	19.1	1.5	-	13.2	8.8	57.3	1.5
	80歳以上	43	20.9	18.6	23.3	-	-	14.0	23.3	39.5	-
女性	10~20歳代	19	26.3	36.8	15.8	-	-	15.8	5.3	63.1	-
	30歳代	16	50.0	37.5	6.3	-	-	6.3	-	<b>87.5</b>	-
	40歳代	45	46.7	28.9	8.9	-	-	13.3	2.2	75.6	-
	50歳代	58	37.9	31.0	6.9	-	-	22.4	1.7	68.9	-
	60歳代	52	46.2	30.8	5.8	-	-	15.4	1.9	77.0	-
	70歳代	68	38.2	26.5	7.4	-	-	17.6	10.3	64.7	-
	80歳以上	30	16.7	36.7	3.3	3.3	-	20.0	20.0	53.4	3.3

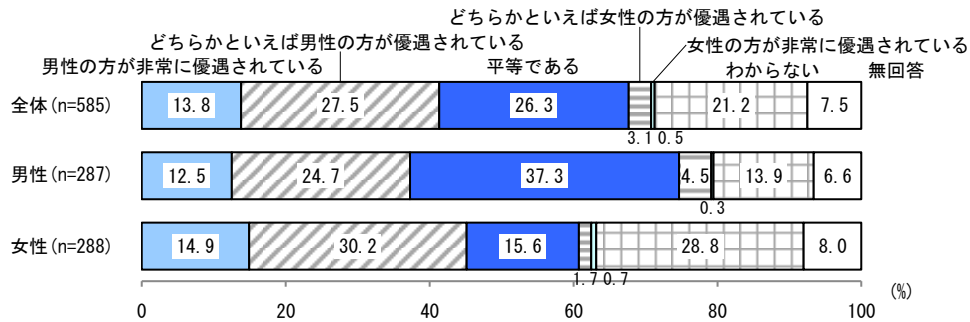


問19 ⑥ 法律や制度の上

法律や制度の上での男女の優遇度では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が27.5%と最も高くなっており、「男性の方が非常に優遇されている」(13.8%)を合わせた『男性優遇』の割合は41.3%となっています。また、「平等である」は26.3%となっています。

性別で見ると、「男性」で「平等である」が37.3%と3割を超えています。一方で、「女性」で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が30.2%と3割を占めており、「男性の方が非常に優遇されている」(14.9%)を合わせた『男性優遇』の割合は45.1%と4割を超えています。

性年代別で見ると、「男性」の「10～20歳代」で「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が23.8%と全体より20.7ポイント高くなっています。また、「男性」の「60歳以上」で「平等である」が4割を超えています。



<性年代別クロス表>

		調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計
全体		585	13.8	27.5	26.3	3.1	0.5	21.2	7.5	41.3	3.6
男性	10～20歳代	21	14.3	14.3	23.8	<b>23.8</b>	-	19.0	4.8	28.6	23.8
	30歳代	22	18.2	31.8	22.7	9.1	-	18.2	-	50.0	9.1
	40歳代	30	20.0	26.7	33.3	3.3	-	13.3	3.3	46.7	3.3
	50歳代	45	22.2	24.4	28.9	6.7	2.2	13.3	2.2	46.6	8.9
	60歳代	57	14.0	22.8	<b>49.1</b>	3.5	-	8.8	1.8	36.8	3.5
	70歳代	68	4.4	32.4	<b>41.2</b>	-	-	13.2	8.8	36.8	-
	80歳以上	43	4.7	16.3	<b>41.9</b>	-	-	16.3	20.9	21.0	-
女性	10～20歳代	19	10.5	15.8	26.3	-	-	42.1	5.3	26.3	-
	30歳代	16	12.5	37.5	12.5	-	-	37.5	-	50.0	-
	40歳代	45	22.2	33.3	15.6	-	2.2	22.2	4.4	55.5	2.2
	50歳代	58	13.8	36.2	6.9	3.4	-	37.9	1.7	50.0	3.4
	60歳代	52	21.2	32.7	19.2	-	-	25.0	1.9	53.9	-
	70歳代	68	11.8	26.5	16.2	2.9	1.5	26.5	14.7	38.3	4.4
	80歳以上	30	6.7	23.3	20.0	3.3	-	20.0	26.7	30.0	3.3

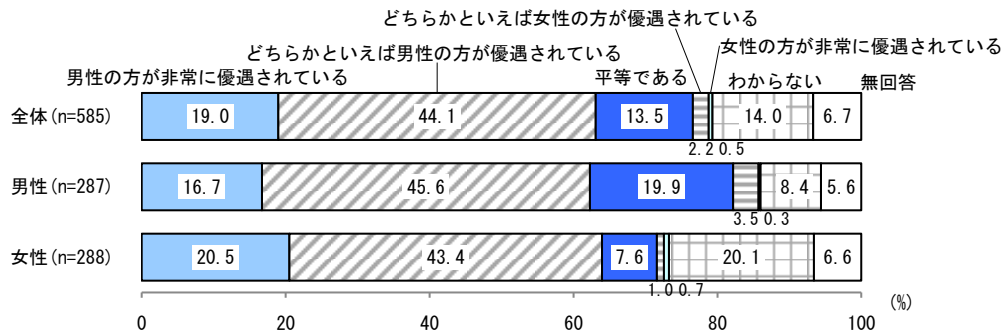


問19 ⑦ 社会通念・習慣・しきたりなど

社会通念・習慣・しきたりなどでの男女の優遇度については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が44.1%と最も高く、「男性の方が非常に優遇されている」(19.0%)を合わせた『男性優遇』の割合は63.1%となっています。また、「平等である」は13.5%となっています。

性別で見ると、「男性」で「平等である」が19.9%と2割近くを占めています。

性年代別で見ると、「女性」の「60歳代」で「男性の方が非常に優遇されている」が30.8%と3割を占め、全体より11.8ポイント高くなっています。一方で、「男性」の「10～20歳代」・「40歳代」・「60歳以上」で「平等である」が2割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

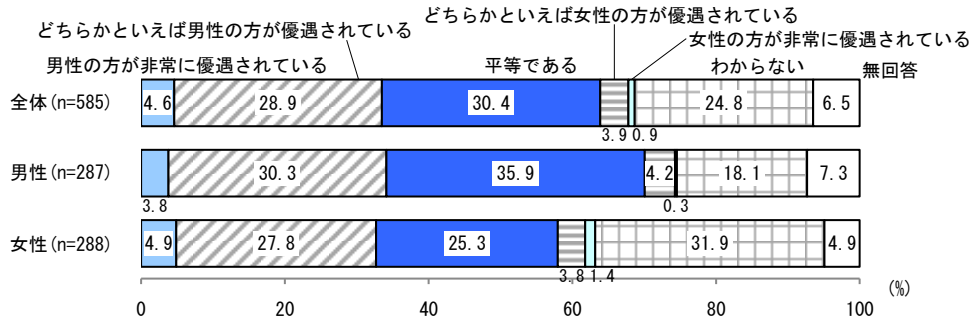
		調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計	『女性優遇』計	
全体		585	19.0	44.1	13.5	2.2	0.5	14.0	6.7	63.1	2.7
男性	10～20歳代	21	4.8	33.3	28.6	9.5	4.8	14.3	4.8	38.1	14.3
	30歳代	22	18.2	45.5	9.1	9.1	-	18.2	-	63.7	9.1
	40歳代	30	13.3	50.0	23.3	-	-	10.0	3.3	63.3	-
	50歳代	45	26.7	42.2	8.9	4.4	-	15.6	2.2	68.9	4.4
	60歳代	57	19.3	47.4	22.8	3.5	-	5.3	1.8	66.7	3.5
	70歳代	68	16.2	54.4	22.1	-	-	1.5	5.9	70.6	-
	80歳以上	43	11.6	37.2	23.3	4.7	-	4.7	18.6	48.8	4.7
女性	10～20歳代	19	10.5	47.4	5.3	-	-	36.8	-	57.9	-
	30歳代	16	18.8	50.0	-	-	-	31.3	-	68.8	-
	40歳代	45	26.7	37.8	11.1	2.2	-	20.0	2.2	64.5	2.2
	50歳代	58	24.1	41.4	8.6	-	-	24.1	1.7	65.5	-
	60歳代	52	30.8	40.4	11.5	-	1.9	13.5	1.9	71.2	1.9
	70歳代	68	14.7	45.6	5.9	2.9	1.5	14.7	14.7	60.3	4.4
	80歳以上	30	6.7	50.0	3.3	-	-	20.0	20.0	56.7	-

問19 ⑧ 自治会やPTAなどの地域活動の場

自治会やPTAなどの地域活動の場での男女の優遇度については、「平等である」が30.4%と最も高くなっています。また、「男性の方が非常に優遇されている」(4.6%)・「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(28.9%)を合わせた『男性優遇』の割合は33.5%と3割を超えています。

性別で見ると、「男性」で「平等である」が35.9%と3割を超えています。

性年代別で見ると、「男性」の「60～70歳代」で「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合が4割を超えています。一方で、「女性」の「80歳以上」で「平等である」が50.0%と5割を占め、全体より19.6ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

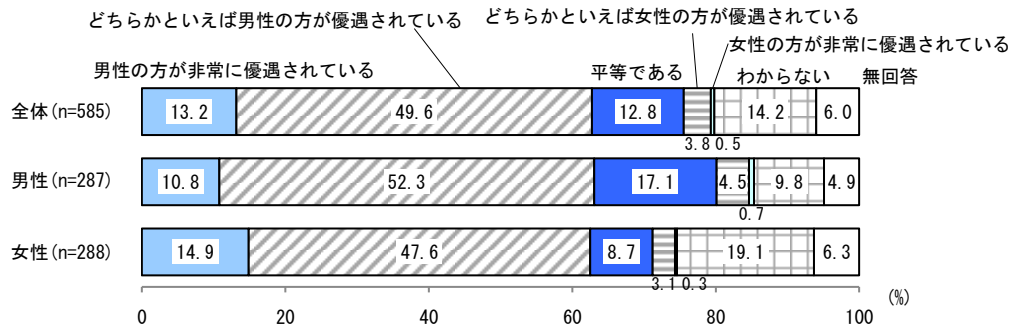
	調査数	優遇度							『男性優遇』計	『女性優遇』計	
		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答			
全体	585	4.6	28.9	30.4	3.9	0.9	24.8	6.5	33.5	4.8	
男性	10～20歳代	21	-	14.3	47.6	4.8	4.8	19.0	9.5	14.3	9.6
	30歳代	22	4.5	31.8	31.8	9.1	-	22.7	-	36.3	9.1
	40歳代	30	10.0	26.7	36.7	3.3	-	16.7	6.7	36.7	3.3
	50歳代	45	4.4	24.4	26.7	6.7	-	35.6	2.2	28.8	6.7
	60歳代	57	3.5	38.6	38.6	3.5	-	14.0	1.8	<b>42.1</b>	3.5
	70歳代	68	4.4	38.2	41.2	1.5	-	8.8	5.9	<b>42.6</b>	1.5
	80歳以上	43	-	23.3	30.2	4.7	-	16.3	25.6	23.3	4.7
女性	10～20歳代	19	-	15.8	31.6	10.5	-	42.1	-	15.8	10.5
	30歳代	16	6.3	25.0	12.5	6.3	-	50.0	-	31.3	6.3
	40歳代	45	2.2	22.2	22.2	2.2	-	48.9	2.2	24.4	2.2
	50歳代	58	5.2	34.5	17.2	-	-	43.1	-	39.7	-
	60歳代	52	7.7	28.8	32.7	5.8	3.8	19.2	1.9	36.5	9.6
	70歳代	68	5.9	32.4	19.1	4.4	2.9	25.0	10.3	38.3	7.3
	80歳以上	30	3.3	20.0	<b>50.0</b>	3.3	-	6.7	16.7	23.3	3.3

問19 ⑨ 社会全体

社会全体での男女の優遇度については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が49.6%と最も高く、「男性の方が非常に優遇されている」(13.2%)を合わせた『男性優遇』の割合は62.8%となっています。また、「平等である」は12.8%となっています。

性別で見ると、「男性」で「平等である」が17.1%と1割を超えています。

性年代別で見ると、「男性」の「30歳代」で「平等である」が27.3%と全体より14.5ポイント高くなっています。一方で、「男性」の「60～70歳代」、「女性」の「60歳代」で、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性優遇』の割合が7割を超えています。



<性年代別クロス表>

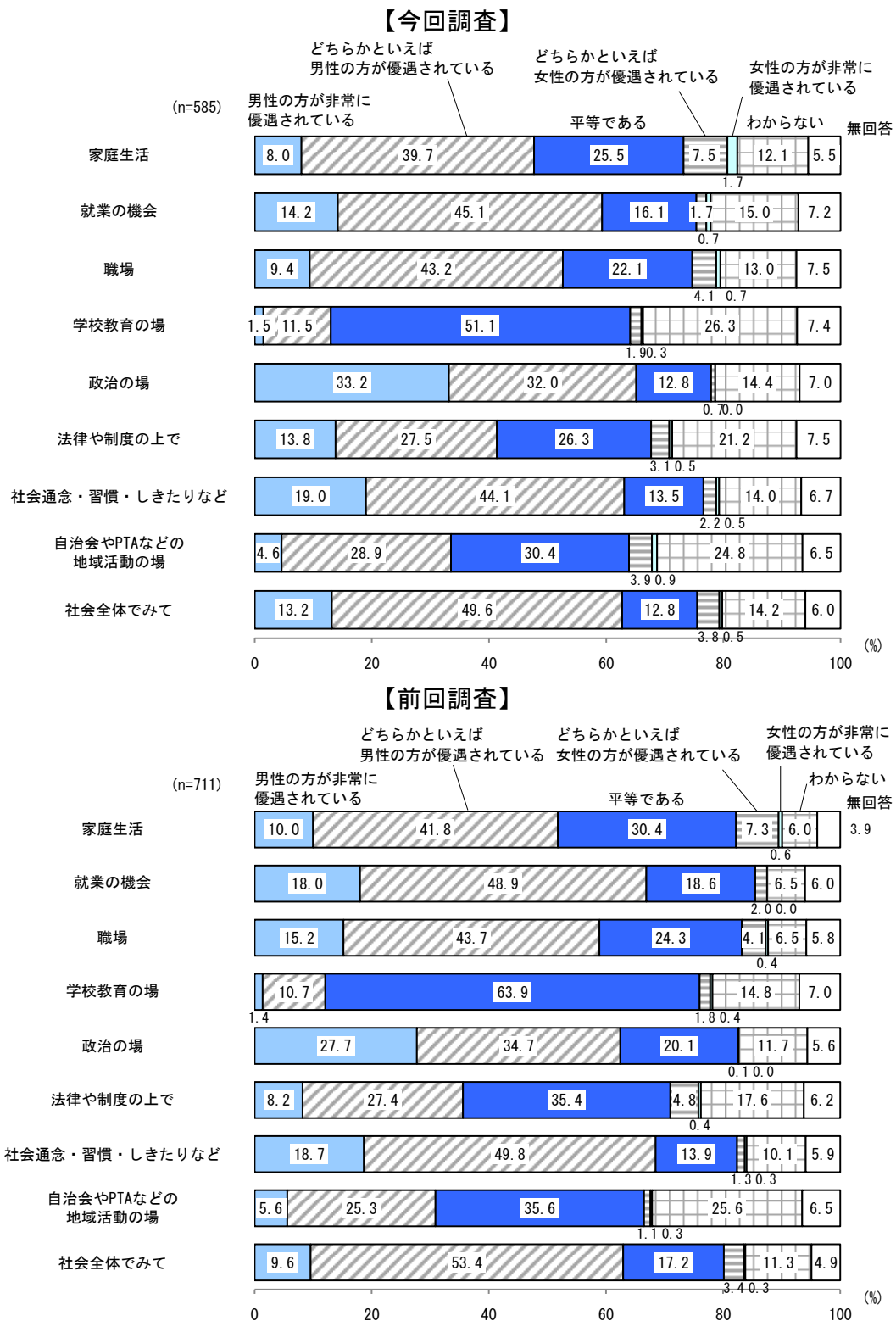
(%)

	調査数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答	『男性優遇』計		
									『男性優遇』計	『女性優遇』計	
全体	585	13.2	49.6	12.8	3.8	0.5	14.2	6.0	62.8	4.3	
男性	10～20歳代	21	4.8	33.3	19.0	9.5	4.8	19.0	9.5	38.1	14.3
	30歳代	22	9.1	40.9	27.3	9.1	-	13.6	-	50.0	9.1
	40歳代	30	13.3	50.0	16.7	3.3	-	13.3	3.3	63.3	3.3
	50歳代	45	15.6	51.1	6.7	8.9	-	15.6	2.2	66.7	8.9
	60歳代	57	12.3	63.2	19.3	-	1.8	1.8	1.8	75.5	1.8
	70歳代	68	10.3	60.3	19.1	2.9	-	4.4	2.9	70.6	2.9
	80歳以上	43	7.0	44.2	16.3	4.7	-	11.6	16.3	51.2	4.7
女性	10～20歳代	19	10.5	47.4	10.5	5.3	-	26.3	-	57.9	5.3
	30歳代	16	18.8	43.8	6.3	6.3	-	25.0	-	62.6	6.3
	40歳代	45	15.6	53.3	8.9	-	2.2	15.6	4.4	68.9	2.2
	50歳代	58	19.0	44.8	10.3	1.7	-	22.4	1.7	63.8	1.7
	60歳代	52	21.2	51.9	7.7	1.9	-	15.4	1.9	73.1	1.9
	70歳代	68	10.3	47.1	8.8	5.9	-	16.2	11.8	57.4	5.9
	80歳以上	30	6.7	40.0	6.7	3.3	-	23.3	20.0	46.7	3.3

● 問19 前回調査との比較

各分野での男女の地位の平等感について、前回調査と比較すると、全ての項目で「平等である」が減少しており、特に「学校教育の場」・「政治の場」・「法律や制度の上で」・「自治会やPTAなどの地域活動の場」については、前回調査より5ポイント以上減少しています。

一方で、「自治会やPTAなどの地域活動の場」を除いた全ての項目で「わからない」が前回調査より増加しています。

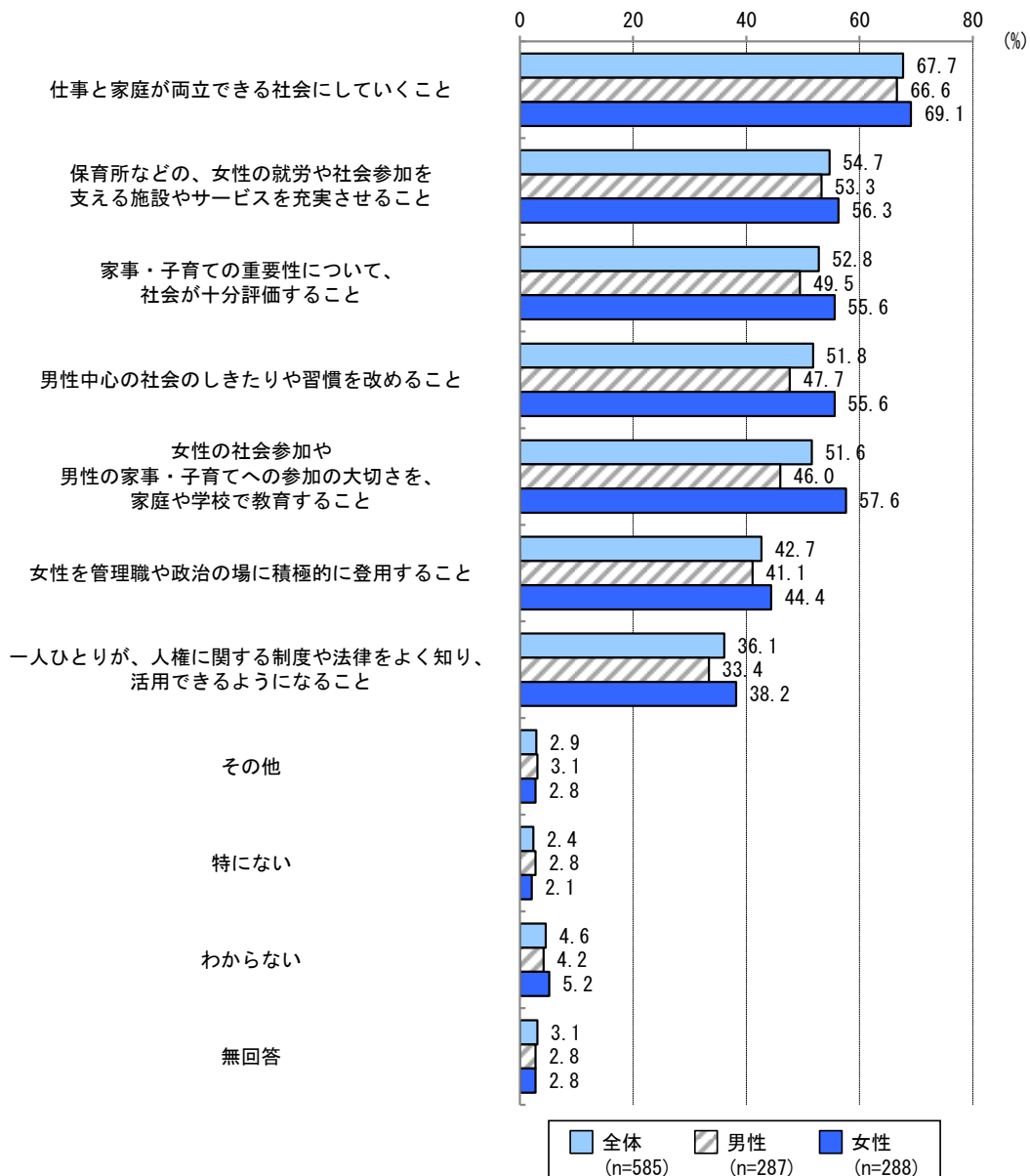


問20 男女が、家庭・職場・地域・政治などあらゆる分野に平等に参画し、共に協力していく社会を作っていくためには、次のうち何が重要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

男女があらゆる分野に平等に参画し、共に協力していく社会を作るために重要だと思うことについては、「仕事と家庭が両立できる社会にしていくこと」が67.7%と最も高く、次いで「保育所などの、女性の就労や社会参加を支える施設やサービスを充実させること」(54.7%)となっています。

性別でみると、「女性」で「女性の社会参加や男性の家事・子育てへの参加の大切さを、家庭や学校で教育すること」が57.6%と、2番目に高くなっています。

性年代別でみると、「女性」の「10～20歳代」で「女性の社会参加や男性の家事・子育てへの参加の大切さを、家庭や学校で教育すること」が73.7%と7割を超え、全体より22.1ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	仕事と家庭が両立できる社会に していくこと	一人ひとりが、人権に関する制度や 法律をよく知り、活用できるように なること	保育所などの、女性の就労や 社会参加を支える施設や サービスを充実させること	男性中心の社会のしきたりや 習慣を改めること	家事・子育ての重要性について、 社会が十分評価すること	女性の社会参加や男性の家事・ 子育てへの参加の大切さを、 家庭や学校で教育すること	女性を管理職や政治の場に 積極的に登用すること
全体		585	67.7	36.1	54.7	51.8	52.8	51.6	42.7
男性	10～20 歳代	21	61.9	42.9	42.9	38.1	52.4	42.9	33.3
	30 歳代	22	63.6	36.4	50.0	27.3	54.5	45.5	45.5
	40 歳代	30	70.0	16.7	53.3	50.0	60.0	43.3	33.3
	50 歳代	45	73.3	26.7	44.4	57.8	46.7	42.2	37.8
	60 歳代	57	71.9	36.8	68.4	38.6	45.6	52.6	38.6
	70 歳代	68	55.9	30.9	51.5	58.8	48.5	47.1	41.2
	80 歳以上	43	69.8	46.5	53.5	46.5	48.8	44.2	55.8
女性	10～20 歳代	19	73.7	52.6	52.6	63.2	57.9	<b>73.7</b>	52.6
	30 歳代	16	81.3	31.3	56.3	62.5	50.0	68.8	37.5
	40 歳代	45	80.0	28.9	53.3	60.0	64.4	66.7	53.3
	50 歳代	58	65.5	36.2	53.4	65.5	56.9	53.4	34.5
	60 歳代	52	65.4	42.3	59.6	50.0	63.5	53.8	50.0
	70 歳代	68	72.1	41.2	63.2	54.4	47.1	58.8	50.0
	80 歳以上	30	50.0	36.7	46.7	33.3	46.7	40.0	26.7
		調査数	その他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答			
全体		585	2.9	2.4	4.6	3.1			
男性	10～20 歳代	21	9.5	-	4.8	4.8			
	30 歳代	22	4.5	13.6	-	4.5			
	40 歳代	30	6.7	-	6.7	-			
	50 歳代	45	-	-	4.4	2.2			
	60 歳代	57	3.5	3.5	5.3	-			
	70 歳代	68	-	4.4	4.4	1.5			
	80 歳以上	43	4.7	-	2.3	9.3			
女性	10～20 歳代	19	-	-	5.3	5.3			
	30 歳代	16	6.3	6.3	-	-			
	40 歳代	45	4.4	-	4.4	-			
	50 歳代	58	3.4	-	6.9	-			
	60 歳代	52	1.9	1.9	5.8	1.9			
	70 歳代	68	1.5	2.9	2.9	4.4			
	80 歳以上	30	3.3	6.7	10.0	10.0			

## 6. 性の多様性について

問21 あなたは、次の①～③について、どの程度ご存知ですか。

(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

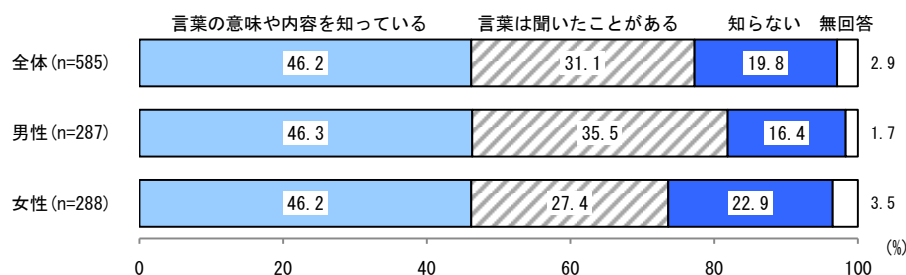
① ジェンダー

ジェンダーの認知度については、「言葉の意味や内容を知っている」が46.2%と4割を超え、最も高くなっています。

性別で見ると、「女性」で「知らない」が22.9%と2割を超えています。

性年代別で見ると、概ね若い年代で「言葉の意味や内容を知っている」と回答した割合が高い傾向がみられ、特に「女性」の「10～20歳代」で89.5%と9割近くを占めています。一方で、概ね年代が上がるにつれ「知らない」と回答した割合が高くなる傾向がみられ、特に「女性」の「80歳以上」で63.3%と6割を超えています。

就労形態別で見ると、「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が81.8%と8割を超え、全体より35.6ポイント高くなっています。



### <性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	46.2	31.1	19.8	2.9
男性	10～20歳代	21	61.9	28.6	4.8	4.8
	30歳代	22	72.7	22.7	4.5	-
	40歳代	30	60.0	40.0	-	-
	50歳代	45	42.2	44.4	11.1	2.2
	60歳代	57	56.1	33.3	10.5	-
	70歳代	68	35.3	38.2	25.0	1.5
	80歳以上	43	25.6	30.2	39.5	4.7
女性	10～20歳代	19	<b>89.5</b>	10.5	-	-
	30歳代	16	62.5	37.5	-	-
	40歳代	45	62.2	33.3	4.4	-
	50歳代	58	60.3	25.9	13.8	-
	60歳代	52	53.8	21.2	23.1	1.9
	70歳代	68	20.6	35.3	36.8	7.4
	80歳以上	30	3.3	20.0	<b>63.3</b>	13.3

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や 内容を知っている	言葉は聞いた ことがある	知らない	無回答
全体	585	46.2	31.1	19.8	2.9
常時雇用されている正規社員	183	59.6	30.6	9.3	0.5
パート・アルバイト・派遣社員等	88	51.1	33.0	15.9	-
自営業	30	43.3	40.0	16.7	-
その他の収入をとまなう職業	13	38.5	15.4	46.2	-
家事専業	19	52.6	10.5	31.6	5.3
学生	11	<b>81.8</b>	18.2	-	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	33.3	31.9	29.2	5.6
上記以外	9	44.4	44.4	11.1	-



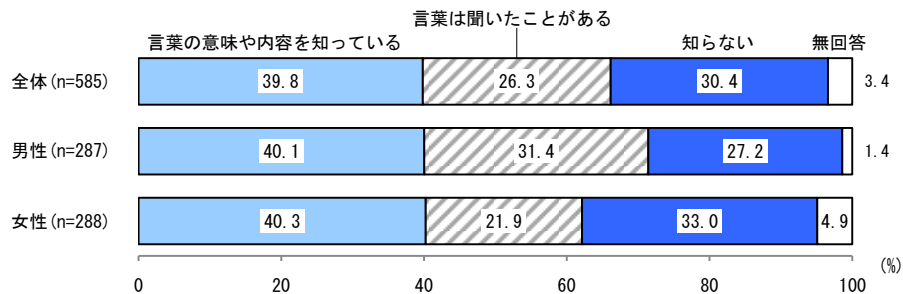
問21 ② L G B T

LGBTの認知度については、「言葉の意味や内容を知っている」が39.8%と4割近くを占め、最も高くなっています。

性別でみると、「女性」で「知らない」が33.0%と3割を超えています。

性年代別でみると、概ね若い年代で「言葉の意味や内容を知っている」と回答した割合が高い傾向がみられ、特に「男性」の「30歳代」、「女性」の「10～20歳代」で7割を超えています。一方で、概ね年代が上がるにつれ「知らない」と回答した割合が高くなる傾向がみられ、特に「女性」の「80歳以上」で70.0%と7割を占めています。

就労形態別でみると、「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が90.9%と9割を占め、全体より51.1ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	39.8	26.3	30.4	3.4
男性	10～20歳代	21	61.9	23.8	9.5	4.8
	30歳代	22	77.3	13.6	9.1	-
	40歳代	30	53.3	36.7	10.0	-
	50歳代	45	40.0	35.6	22.2	2.2
	60歳代	57	47.4	31.6	21.1	-
	70歳代	68	23.5	36.8	38.2	1.5
	80歳以上	43	18.6	25.6	53.5	2.3
女性	10～20歳代	19	73.7	15.8	10.5	-
	30歳代	16	68.8	31.3	-	-
	40歳代	45	64.4	26.7	8.9	-
	50歳代	58	53.4	22.4	24.1	-
	60歳代	52	38.5	25.0	34.6	1.9
	70歳代	68	14.7	22.1	52.9	10.3
	80歳以上	30	3.3	6.7	70.0	20.0

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	39.8	26.3	30.4	3.4
常時雇用されている正規社員	183	53.6	27.3	18.6	0.5
パート・アルバイト・派遣社員等	88	42.0	30.7	27.3	-
自営業	30	36.7	33.3	30.0	-
その他の収入をとまなう職業	13	38.5	7.7	53.8	-
家事専業	19	42.1	21.1	31.6	5.3
学生	11	<b>90.9</b>	9.1	-	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	27.3	24.1	42.1	6.5
上記以外	9	33.3	44.4	11.1	11.1

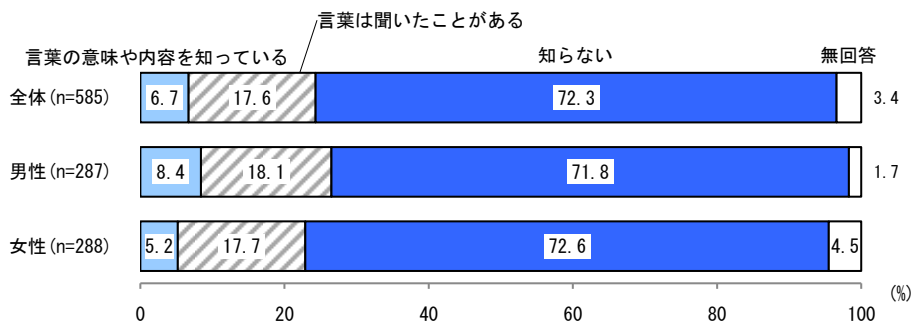
問21 ③ SOGI

SOGIの認知度については、「知らない」が72.3%と7割を超え、最も高くなっています。

性別で大きな差は見られません。

性年代別でみると、「女性」の「10～20歳代」で「言葉の意味や内容を知っている」と答えた割合が21.1%と2割を超え、全体より14.4ポイント高くなっています。一方で、「男性」の「40歳代」で「知らない」が80.0%と8割を占めています。

就労形態別でみると、「その他の収入をとまなう職業」・「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が2割程度を占めています。



<性年代別クロス表>

		調査数	言葉の意味や内容を知っている (%)	言葉は聞いたことがある (%)	知らない (%)	無回答 (%)
全体		585	6.7	17.6	72.3	3.4
男性	10～20歳代	21	14.3	9.5	71.4	4.8
	30歳代	22	18.2	9.1	72.7	-
	40歳代	30	3.3	16.7	80.0	-
	50歳代	45	8.9	26.7	60.0	4.4
	60歳代	57	14.0	21.1	64.9	-
	70歳代	68	2.9	17.6	77.9	1.5
	80歳以上	43	4.7	14.0	79.1	2.3
女性	10～20歳代	19	21.1	21.1	57.9	-
	30歳代	16	12.5	12.5	75.0	-
	40歳代	45	2.2	24.4	73.3	-
	50歳代	58	3.4	19.0	77.6	-
	60歳代	52	5.8	21.2	71.2	1.9
	70歳代	68	4.4	13.2	73.5	8.8
	80歳以上	30	-	10.0	70.0	20.0

<就労形態別クロス表>

(%)

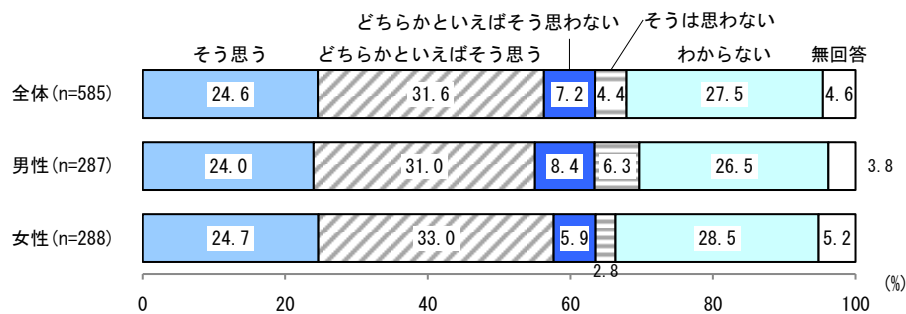
	調査数	言葉の意味や 内容を知っている	言葉は聞いた ことがある	知らない	無回答
全体	585	6.7	17.6	72.3	3.4
常時雇用されている正規社員	183	8.2	19.1	71.6	1.1
パート・アルバイト・派遣社員等	88	5.7	23.9	70.5	-
自営業	30	6.7	16.7	76.7	-
その他の収入をとまなう職業	13	<b>23.1</b>	7.7	69.2	-
家事専業	19	5.3	15.8	73.7	5.3
学生	11	<b>18.2</b>	9.1	72.7	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	4.6	15.7	73.6	6.0
上記以外	9	11.1	22.2	55.6	11.1

問22 現在、性的マイノリティの方々にとって、偏見や差別などにより生活しづらい社会だと思いますか。(〇は1つ)

性的マイノリティの方々にとって生活しづらい社会であるかについては、「どちらかといえばそう思う」が31.6%と最も高く、「そう思う」(24.6%)を合わせた『そう思う』の割合は56.2%となっています。

性別で大きな差はみられません。

性年代別でみると、「女性」の「10～20歳代」で「そう思う」(57.9%)と「どちらかといえばそう思う」(31.6%)を合わせた『そう思う』の合計割合が89.5%と9割近くを占め高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

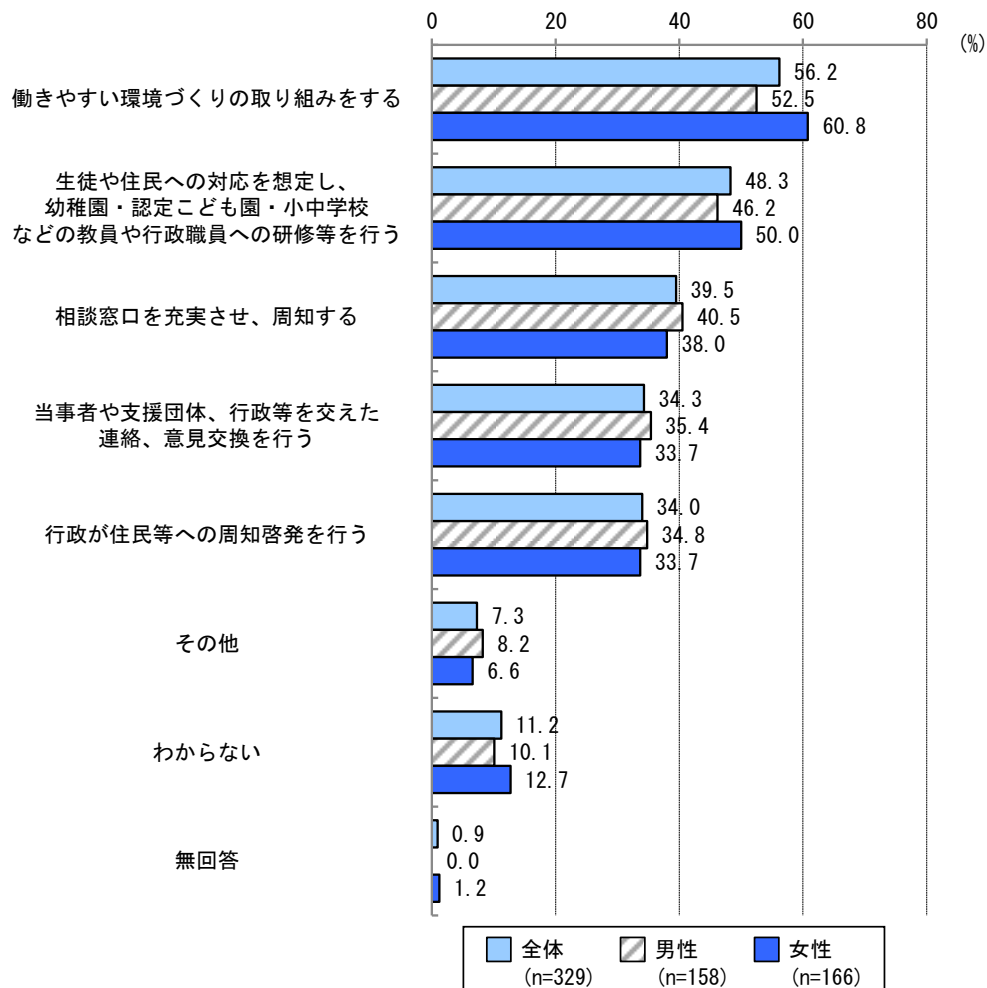
		調査数	そう思う	そう思う どちらかといえ ば	そうは思わ ない どちらかといえ ば	そうは思わ ない	わ か ら な い	無 回 答	『そう 思う』 計	『そう 思わ ない』 計
全体		585	24.6	31.6	7.2	4.4	27.5	4.6	56.2	11.6
男性	10～20 歳代	21	19.0	42.9	9.5	-	23.8	4.8	61.9	9.5
	30 歳代	22	36.4	36.4	4.5	4.5	18.2	-	72.8	9.0
	40 歳代	30	30.0	36.7	10.0	3.3	16.7	3.3	66.7	13.3
	50 歳代	45	26.7	24.4	8.9	6.7	28.9	4.4	51.1	15.6
	60 歳代	57	29.8	40.4	5.3	7.0	17.5	-	70.2	12.3
	70 歳代	68	22.1	26.5	8.8	8.8	30.9	2.9	48.6	17.6
	80 歳以上	43	9.3	20.9	11.6	7.0	39.5	11.6	30.2	18.6
女性	10～20 歳代	19	57.9	31.6	-	-	10.5	-	<b>89.5</b>	0.0
	30 歳代	16	25.0	43.8	12.5	-	18.8	-	68.8	12.5
	40 歳代	45	28.9	33.3	13.3	4.4	17.8	2.2	62.2	17.7
	50 歳代	58	24.1	50.0	8.6	1.7	15.5	-	74.1	10.3
	60 歳代	52	25.0	36.5	3.8	5.8	25.0	3.8	61.5	9.6
	70 歳代	68	20.6	22.1	2.9	1.5	41.2	11.8	42.7	4.4
	80 歳以上	30	6.7	13.3	-	3.3	63.3	13.3	20.0	3.3

問23 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、性的マイノリティの方々が生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)  
 (※問22で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方にお伺いします。)

性的マイノリティの方々が生活しやすくなるために必要な対策については、「働きやすい環境づくりの取り組みをする」が56.2%と最も高く、次いで「生徒や住民への対応を想定し、幼稚園・認定こども園・小中学校などの教員や行政職員への研修等を行う」(48.3%)、「相談窓口を充実させ、周知する」(39.5%)となっています。

性別でみると、「女性」で「働きやすい環境づくりの取り組みをする」が60.8%と6割を占めています。

年代別でみると、「30歳代」で「生徒や住民への対応を想定し、幼稚園・認定こども園・小中学校などの教員や行政職員への研修等を行う」が59.3%と6割近くを占めています。



<年代別クロス表>

(%)

	調査数	行政が住民等への周知啓発を行う	相談窓口を充実させ、周知する	生徒や住民への対応を想定し、幼稚園・認定こども園・小中学校などの教員や行政職員への研修等を行う	当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換を行う	働きやすい環境づくりの取り組みをする	その他	わからない	無回答
全体	329	34.0	39.5	48.3	34.3	56.2	7.3	11.2	0.9
10～20歳代	30	46.7	40.0	46.7	23.3	66.7	6.7	10.0	-
30歳代	27	25.9	44.4	59.3	37.0	51.9	14.8	14.8	-
40歳代	49	30.6	30.6	40.8	26.5	53.1	10.2	16.3	-
50歳代	66	28.8	34.8	56.1	30.3	53.0	10.6	10.6	-
60歳代	72	34.7	36.1	47.2	41.7	58.3	5.6	11.1	1.4
70歳代	62	35.5	48.4	40.3	37.1	53.2	3.2	9.7	1.6
80歳以上	20	45.0	45.0	55.0	50.0	70.0	-	5.0	5.0

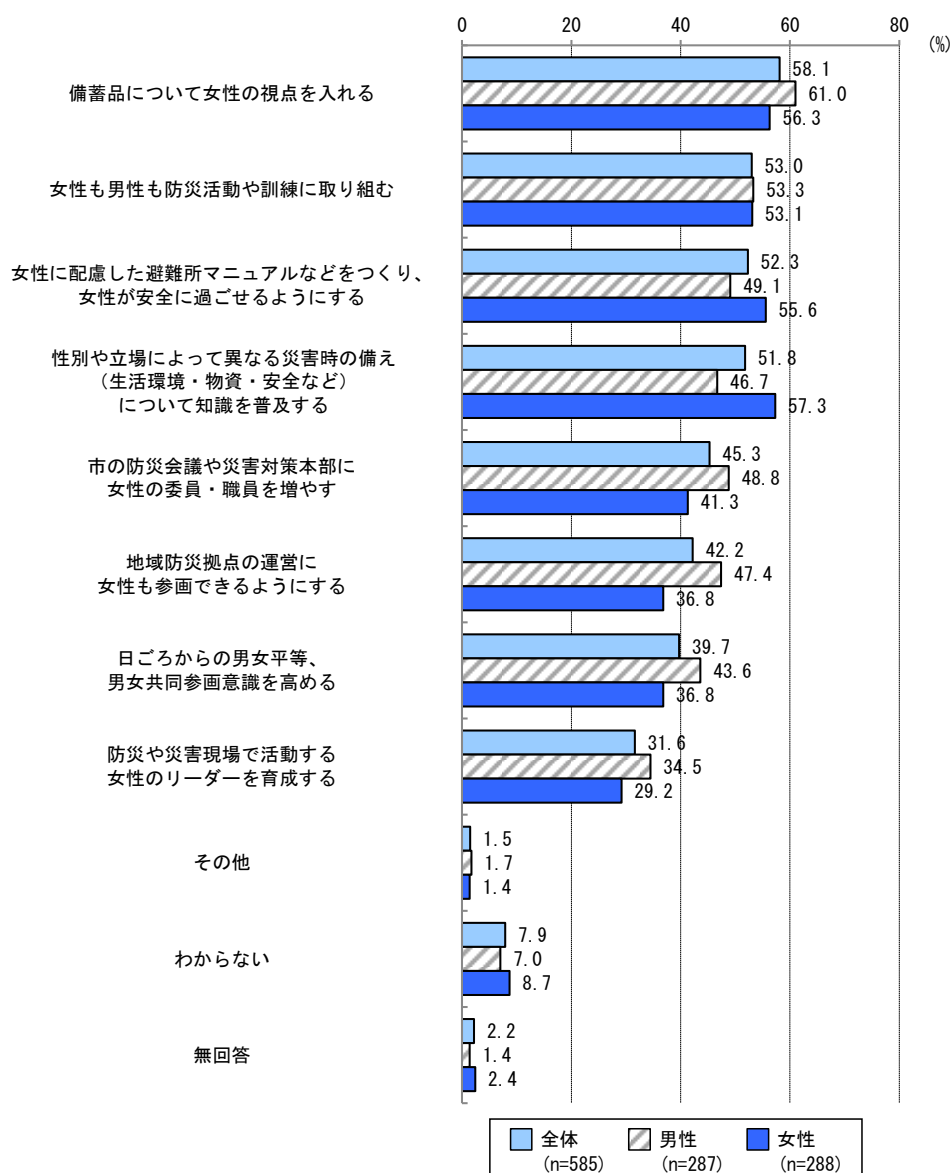
## 7. 女性視点での防災について

問24 防災や震災対応に女性が参画するために、どのような施策が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

防災や震災対応に女性が参画するために必要な施策については、「備蓄品について女性の視点を入れる」が58.1%と最も高く、次いで「女性も男性も防災活動や訓練に取り組む」(53.0%)、「女性に配慮した避難所マニュアルなどをつくり、女性が安全に過ごせるようにする」(52.3%)となっています。

性別で見ると、「女性」で「性別や立場によって異なる災害時の備え(生活環境・物資・安全など)について知識を普及する」が57.3%と最も高くなっています。

性年代別で見ると、「女性」の「30歳代」で「備蓄品について女性の視点を入れる」が81.3%と8割を超え、全体より23.2ポイント高くなっています。





<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	市の防災会議や災害対策本部に 女性の委員・職員を増やす	地域防災拠点の運営に女性も参画できるようにする	女性も男性も防災活動や訓練に取り組む	備蓄品について女性の視点を入れる	女性が配慮した避難所マニュアルなどをつくり、 女性が安全に過ごせるようにする	防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成する	日ごろからの男女平等、男女共同参画意識を高める	性別や立場によって異なる災害時の備え (生活環境・物資・安全など) について知識を普及する	その他	わからない	無回答
全体		585	45.3	42.2	53.0	58.1	52.3	31.6	39.7	51.8	1.5	7.9	2.2
男性	10~20歳代	21	47.6	38.1	42.9	57.1	57.1	28.6	42.9	61.9	4.8	4.8	4.8
	30歳代	22	36.4	45.5	36.4	59.1	68.2	27.3	27.3	50.0	4.5	9.1	-
	40歳代	30	40.0	33.3	26.7	70.0	50.0	13.3	20.0	36.7	6.7	10.0	-
	50歳代	45	51.1	44.4	51.1	57.8	44.4	26.7	40.0	37.8	-	8.9	2.2
	60歳代	57	54.4	54.4	63.2	63.2	56.1	33.3	49.1	50.9	1.8	5.3	-
	70歳代	68	48.5	52.9	54.4	55.9	39.7	47.1	50.0	47.1	-	7.4	1.5
	80歳以上	43	53.5	48.8	74.4	67.4	46.5	46.5	55.8	48.8	-	2.3	2.3
女性	10~20歳代	19	57.9	52.6	63.2	73.7	47.4	31.6	68.4	68.4	-	10.5	-
	30歳代	16	56.3	31.3	56.3	<b>81.3</b>	62.5	25.0	31.3	75.0	12.5	-	-
	40歳代	45	37.8	28.9	55.6	64.4	62.2	28.9	37.8	75.6	-	6.7	-
	50歳代	58	39.7	34.5	51.7	63.8	69.0	29.3	34.5	63.8	-	10.3	-
	60歳代	52	42.3	40.4	48.1	44.2	53.8	32.7	42.3	57.7	1.9	9.6	1.9
	70歳代	68	39.7	38.2	55.9	50.0	54.4	30.9	27.9	45.6	1.5	5.9	4.4
	80歳以上	30	33.3	36.7	46.7	40.0	26.7	20.0	33.3	26.7	-	16.7	10.0

## 8. DV（ドメスティック・バイオレンス）について

問25 あなたは、次の①・②について、どの程度ご存知ですか。

（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

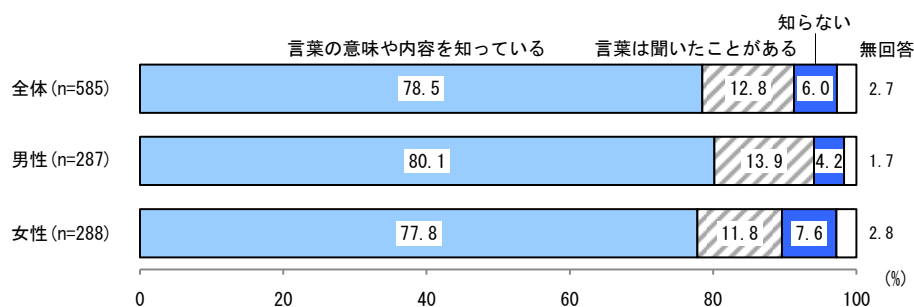
① DV

DVの認知度については、「言葉の意味や内容を知っている」が78.5%と8割近くを占め、最も高くなっています。

性別で大きな差はみられません。

性年代別で見ると、男女ともに「10～50歳代」で「言葉の意味や内容を知っている」が8割を超えている一方で、「女性」の「80歳以上」では「知らない」が33.3%と3割を超えています。

就労形態別で見ると、「常時雇用されている正規社員」・「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が9割を超えています。



### <性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	78.5	12.8	6.0	2.7
男性	10～20歳代	21	81.0	14.3	-	4.8
	30歳代	22	100.0	-	-	-
	40歳代	30	90.0	10.0	-	-
	50歳代	45	84.4	6.7	4.4	4.4
	60歳代	57	82.5	15.8	1.8	-
	70歳代	68	75.0	19.1	2.9	2.9
	80歳以上	43	62.8	20.9	16.3	-
女性	10～20歳代	19	94.7	5.3	-	-
	30歳代	16	93.8	6.3	-	-
	40歳代	45	93.3	6.7	-	-
	50歳代	58	93.1	5.2	1.7	-
	60歳代	52	78.8	9.6	9.6	1.9
	70歳代	68	64.7	19.1	8.8	7.4
	80歳以上	30	33.3	26.7	33.3	6.7

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	78.5	12.8	6.0	2.7
常時雇用されている正規社員	183	<b>94.5</b>	4.9	-	0.5
パート・アルバイト・派遣社員等	88	86.4	8.0	5.7	-
自営業	30	83.3	10.0	6.7	-
その他の収入をとまなう職業	13	69.2	23.1	7.7	-
家事専業	19	78.9	10.5	5.3	5.3
学生	11	<b>90.9</b>	9.1	-	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	63.9	19.9	12.0	4.2
上記以外	9	55.6	44.4	-	-

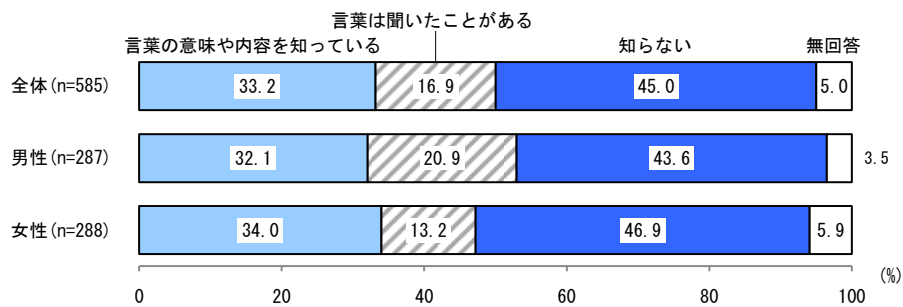
問25 ② デートDV

デートDVの認知度については、「知らない」が45.0%と4割程度を占め、最も高くなっています。

性別で見ると、「男性」で「言葉は聞いたことがある」が20.9%と2割程度を占めています。

性年代別で見ると、「女性」の「10～20歳代」では「言葉の意味や内容を知っている」が63.2%と6割を超えているものの、その他の年代では5割未満となっています。

就労形態別で見ると、「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が54.5%と5割を超え、全体より21.3ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	33.2	16.9	45.0	5.0
男性	10～20歳代	21	47.6	19.0	28.6	4.8
	30歳代	22	45.5	13.6	40.9	-
	40歳代	30	40.0	13.3	46.7	-
	50歳代	45	33.3	22.2	40.0	4.4
	60歳代	57	38.6	24.6	35.1	1.8
	70歳代	68	17.6	23.5	54.4	4.4
	80歳以上	43	25.6	18.6	48.8	7.0
女性	10～20歳代	19	63.2	15.8	21.1	-
	30歳代	16	43.8	18.8	37.5	-
	40歳代	45	40.0	8.9	51.1	-
	50歳代	58	36.2	10.3	51.7	1.7
	60歳代	52	38.5	21.2	38.5	1.9
	70歳代	68	20.6	11.8	52.9	14.7
	80歳以上	30	20.0	10.0	53.3	16.7

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を 知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	33.2	16.9	45.0	5.0
常時雇用されている正規社員	183	42.1	14.8	41.5	1.6
パート・アルバイト・派遣社員等	88	30.7	18.2	51.1	-
自営業	30	16.7	20.0	60.0	3.3
その他の収入をとまなう職業	13	38.5	7.7	53.8	-
家事専業	19	26.3	10.5	52.6	10.5
学生	11	<b>54.5</b>	27.3	18.2	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	27.8	19.4	44.9	7.9
上記以外	9	44.4	11.1	33.3	11.1

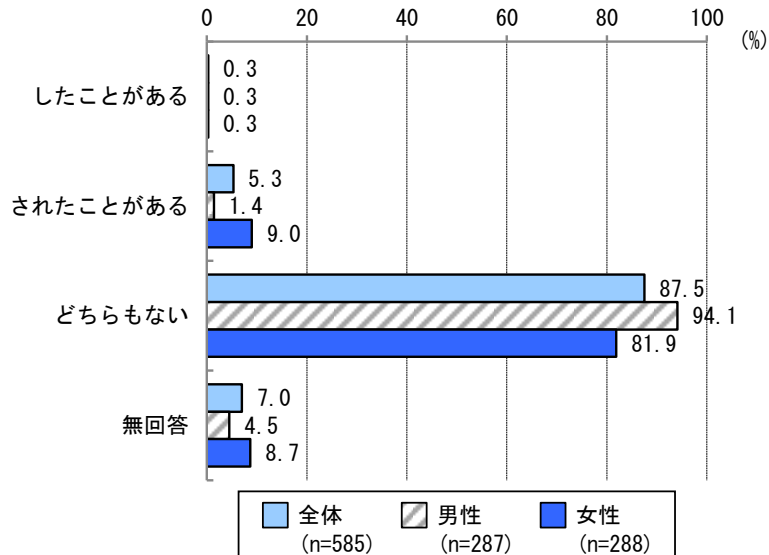
問26 あなたは、以下のようなことを配偶者やパートナー、交際相手に「したこと」または「されたこと」がありますか。

(①～⑪のそれぞれについてあてはまるものすべてに○)

① 生命の危機を感じるほどの暴力をふるう

生命の危機を感じるほどの暴力をふるう経験については、「どちらもない」が87.5%と8割を超え、最も高くなっています。

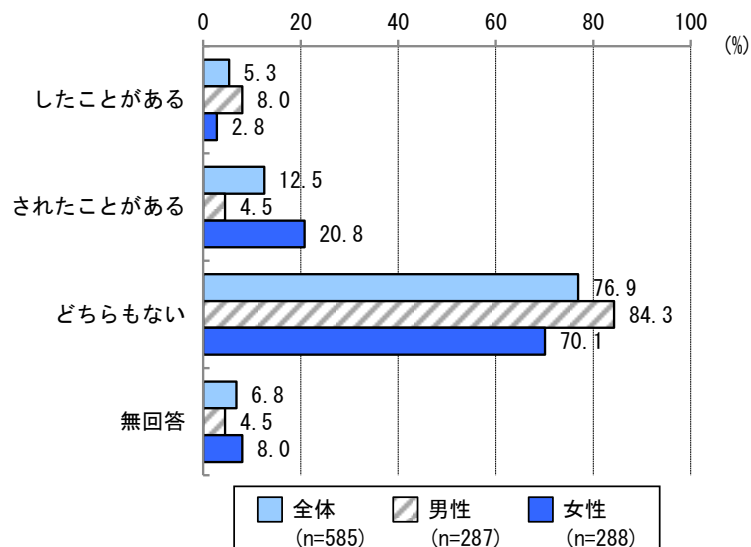
性別で見ると、「女性」で「されたことがある」が9.0%と1割近くを占めています。



問26 ② 平手でぶつ、足でける、物をなげつける

平手でぶつ、足でける、物をなげつける経験については、「どちらもない」が76.9%と7割を超え、最も高くなっています。

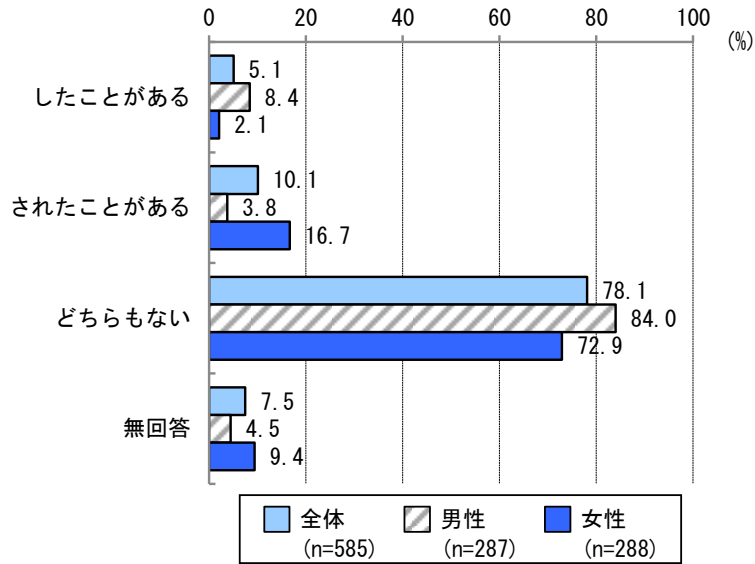
性別で見ると、「女性」で「されたことがある」が20.8%と2割を占めています。



問26 ③ 殴るふりをしておどしたり、暴れて物を壊す

殴るふりをしておどしたり、暴れて物を壊す経験については、「どちらもない」が78.1%と8割近くを占め、最も高くなっています。

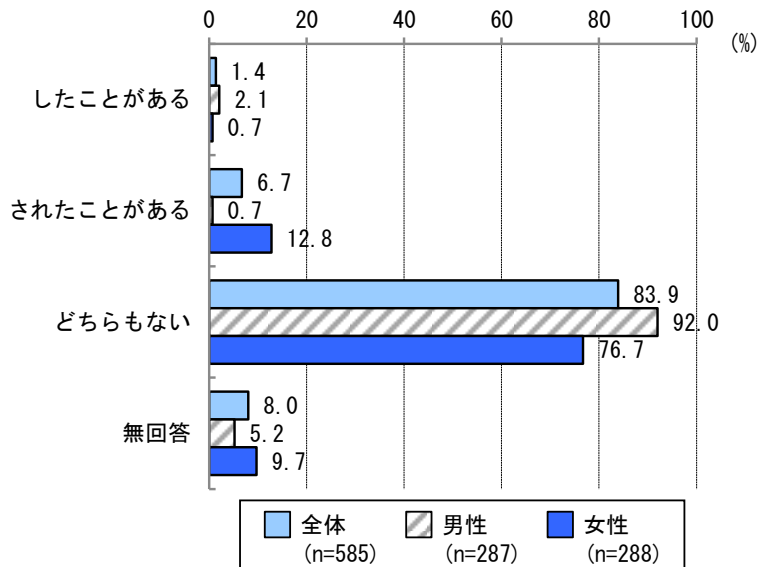
性別でみると、「女性」で「されたことがある」が16.7%と1割を超えています。



問26 ④ 嫌がるのに、性的な行為を強要する

嫌がるのに、性的な行為を強要する経験については、「どちらもない」が83.9%と8割を超え、最も高くなっています。

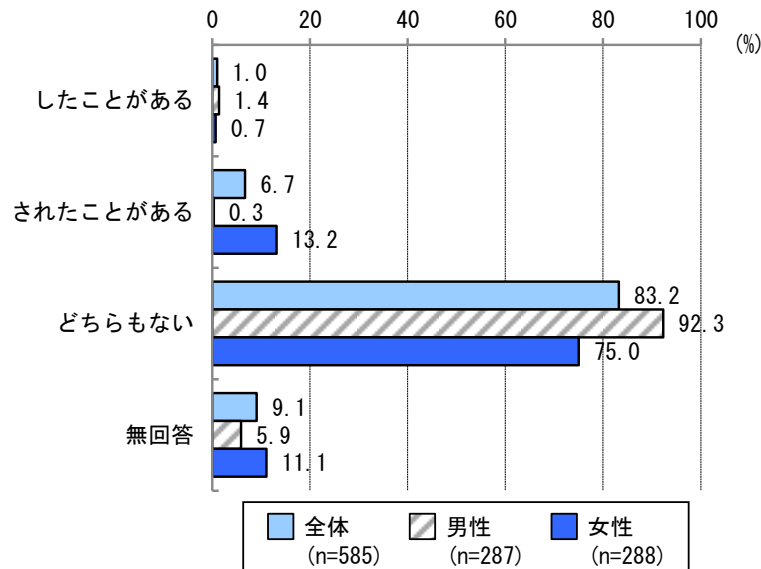
性別でみると、「女性」で「されたことがある」が12.8%と1割を超えています。



問26 ⑤ 避妊に協力しない

避妊に協力しない経験については、「どちらもない」が83.2%と8割を超え、最も高くなっています。

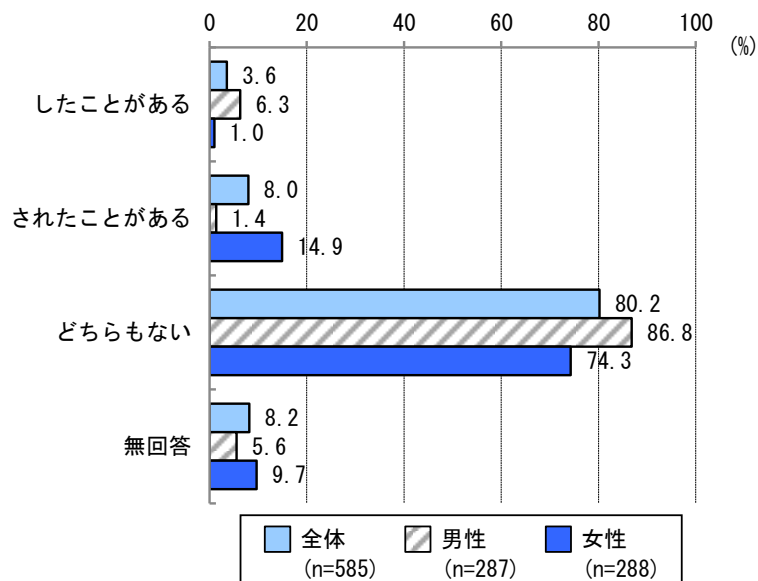
性別で見ると、「女性」で「されたことがある」が13.2%と1割を超えています。



問26 ⑥ 「誰のおかげで生活できてるんだ」などと言う

「誰のおかげで生活できてるんだ」などと言う経験については、「どちらもない」が80.2%と8割を超え、最も高くなっています。

性別で見ると、「女性」で「されたことがある」が14.9%と1割を超えています。

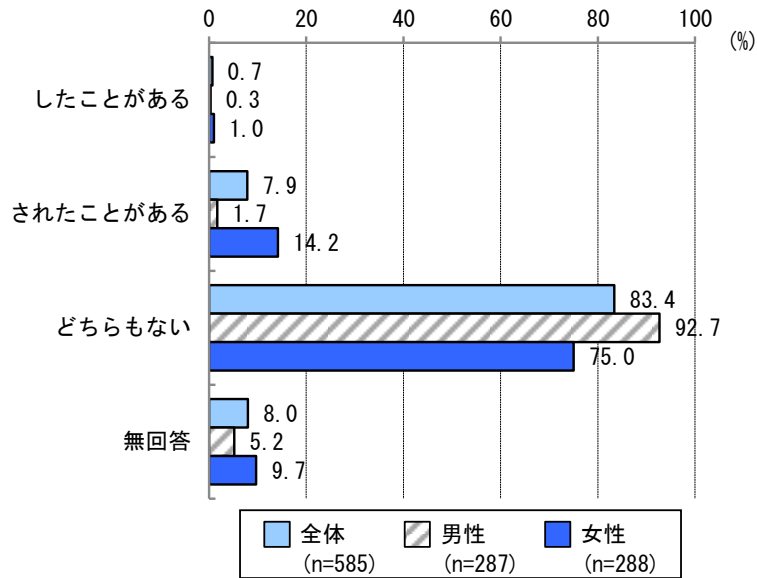




問26 ⑦ 生活費を渡さない、家計等に必要なお金を出してもらえない

生活費を渡さない、家計等に必要なお金を出してもらえない経験については、「どちらもない」が83.4%と8割を超え、最も高くなっています。

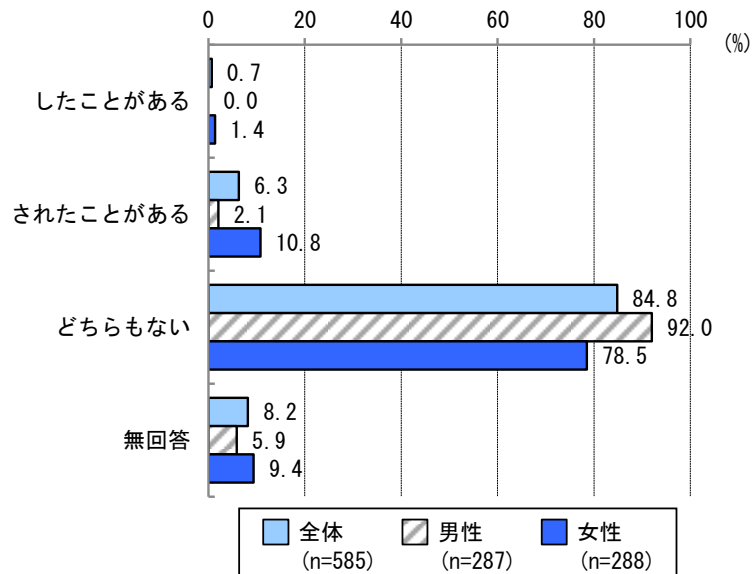
性別でみると、「女性」で「されたことがある」が14.2%と1割を超えています。



問26 ⑧ 交友関係や電話、郵便物等を細かく監視したり、外出を制限する

交友関係や電話、郵便物等を細かく監視したり、外出を制限する経験については、「どちらもない」が84.8%と8割を超え、最も高くなっています。

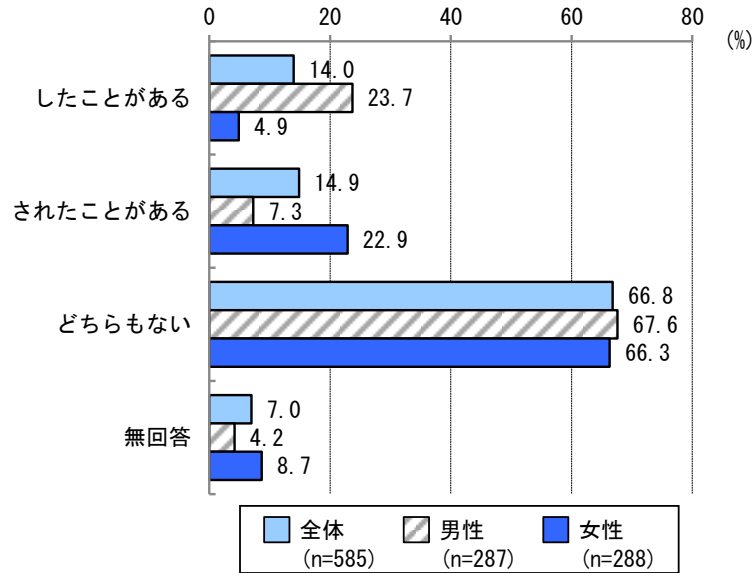
性別でみると、「女性」で「されたことがある」が10.8%と1割を占めています。



問26 ⑨ 大声でどなる

大声でどなる経験については、「どちらもない」が66.8%と6割程度を占め、最も高くなっています。

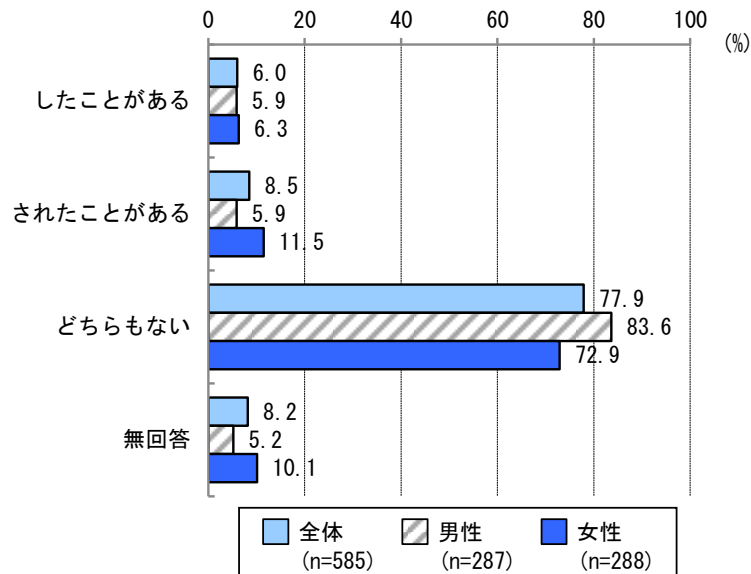
性別で見ると、「男性」で「したことがある」が23.7%と2割を超えている一方で、「女性」で「されたことがある」が22.9%と2割を超えています。



問26 ⑩ 何を言っても、無視し続ける

何を言っても、無視し続ける経験については、「どちらもない」が77.9%と7割を超え、最も高くなっています。

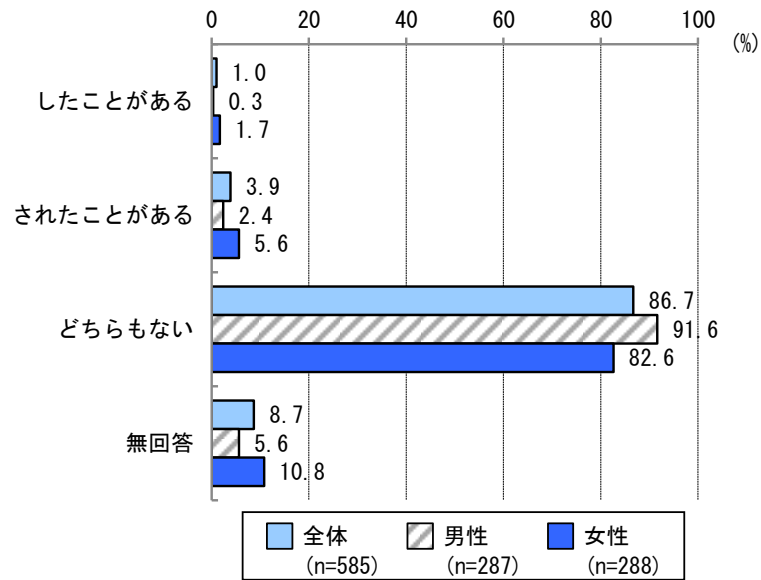
性別で見ると、「女性」で「されたことがある」が11.5%と1割を占めています。



問26 ⑪ 「別れたら死ぬ」などと言う

「別れたら死ぬ」などと言う経験については、「どちらもない」が86.7%と8割を超え、最も高くなっています。

性別で大きな差はみられません。

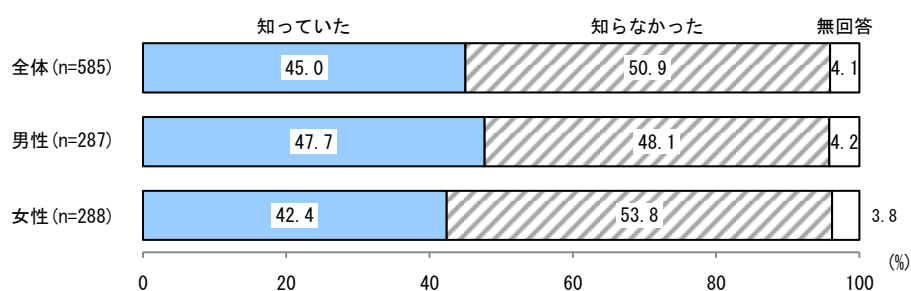


問27 あなたは、上記のような行為すべてがDV（デートDV）にあてはまると知っていましたか。(〇は1つ)

問26の行為がDVにあてはまると知っていたかについては、「知らなかった」が50.9%と5割を超え、最も高くなっています。

性別で大きな差はみられません。

性年代別でみると、「男性」の「10～20歳代」と「女性」の「30歳代」で「知っていた」が6割を超えている一方で、「男性」の「30歳代」で「知らなかった」が68.2%と7割近くを占め高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

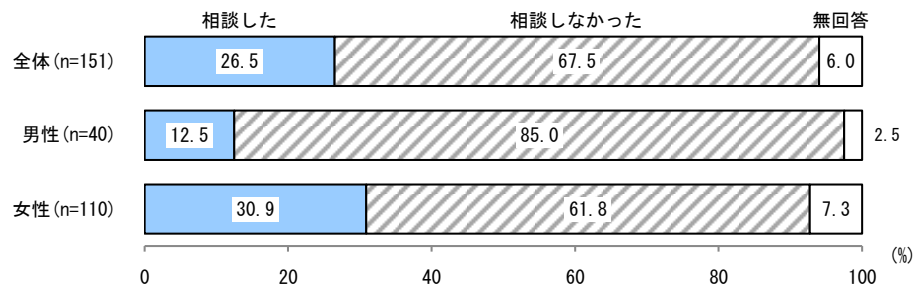
		調査数	知っていた	知らなかった	無回答
全体		585	45.0	50.9	4.1
男性	10～20歳代	21	<b>66.7</b>	28.6	4.8
	30歳代	22	31.8	<b>68.2</b>	-
	40歳代	30	46.7	50.0	3.3
	50歳代	45	53.3	42.2	4.4
	60歳代	57	54.4	42.1	3.5
	70歳代	68	48.5	45.6	5.9
	80歳以上	43	32.6	62.8	4.7
女性	10～20歳代	19	52.6	47.4	-
	30歳代	16	<b>62.5</b>	31.3	6.3
	40歳代	45	40.0	60.0	-
	50歳代	58	37.9	60.3	1.7
	60歳代	52	51.9	44.2	3.8
	70歳代	68	36.8	54.4	8.8
	80歳以上	30	33.3	63.3	3.3

問28 あなたはそのとき、だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。(○は1つ)

(※問26で1つでも「されたことがある」と答えた方にお伺いします。)

DVを受けた際の相談の有無については、「相談しなかった」が67.5%と6割を占め、最も高くなっています。

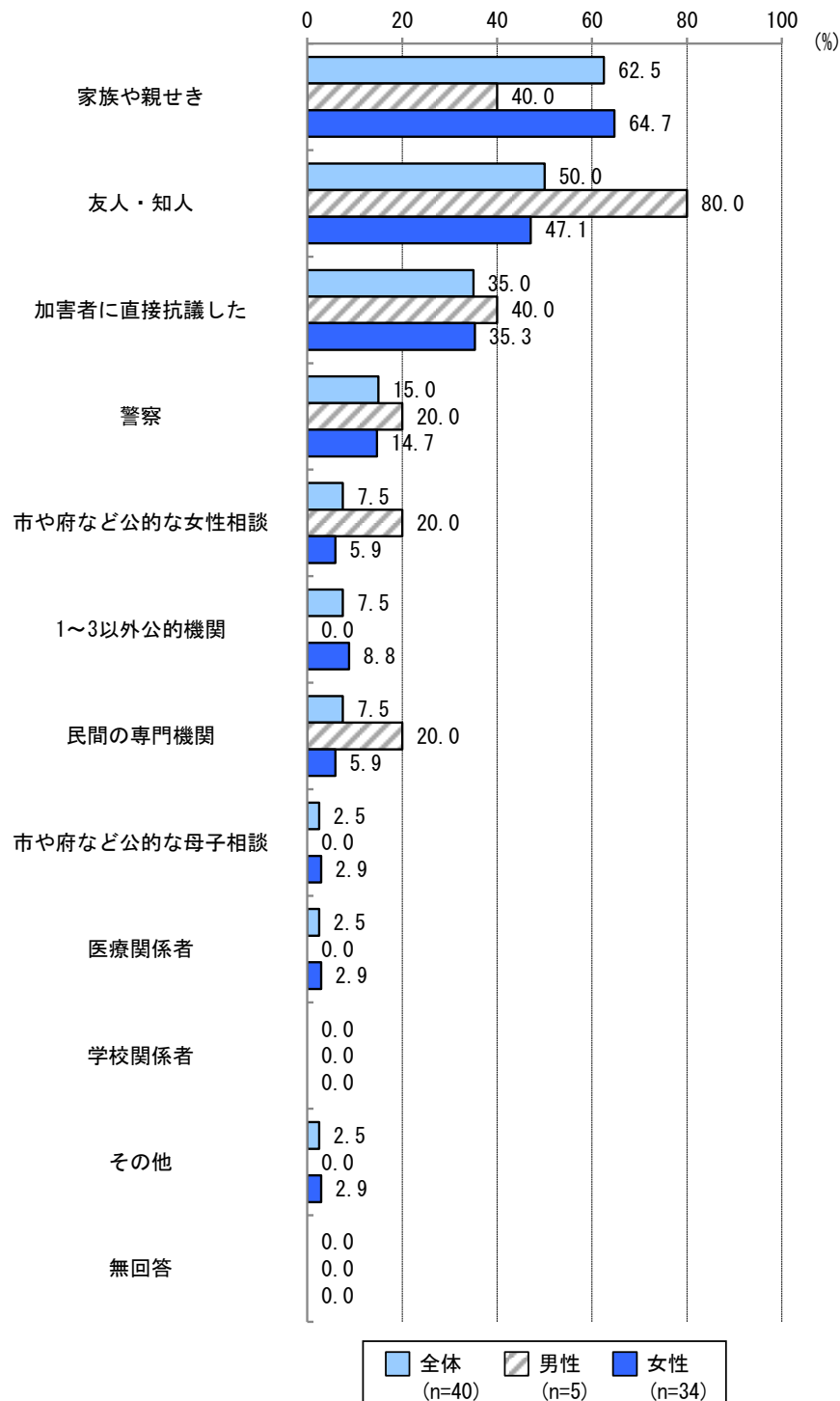
性別で見ると、「男性」で「相談しなかった」が85.0%と8割を超えています。



問29 どこ（だれ）に打ち明けたり相談したりしましたか。（あてはまるものすべてに○）（※問28で「相談した」と答えた方にお伺いします。）

DVを受けた際の相談先については、「家族や親せき」が62.5%と最も高く、次いで「友人・知人」（50.0%）、「加害者に直接抗議した」（35.0%）となっています。

性別でみると、「男性」で「友人・知人」が80.0%と最も高くなっています。

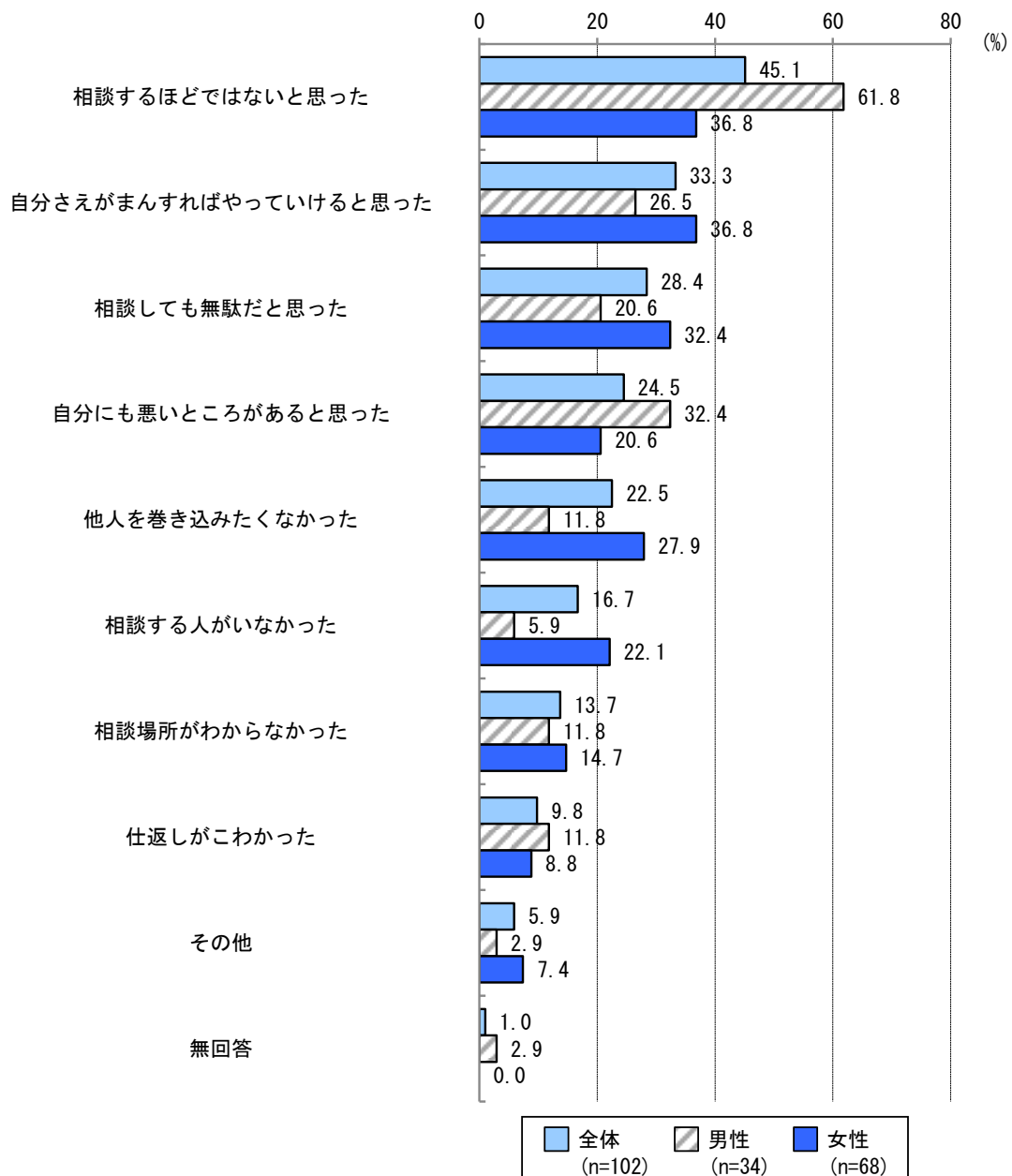


問30 あなたが、だれ（どこ）にも相談しなかったのは、なぜですか。

（あてはまるものすべてに○）（※問28で「相談しなかった」と答えた方にお伺いします。）

相談しなかった理由については、「相談するほどではないと思った」が45.1%と最も高く、次いで「自分さえがまんすればやっていけると思った」（33.3%）、「相談しても無駄だと思った」（28.4%）となっています。

性別で見ると、「男性」で「相談するほどではないと思った」が61.8%と6割を占めています。一方で、「女性」では、「自分さえがまんすればやっていけると思った」が36.8%と、「相談するほどではないと思った」と同率で最も高くなっています。

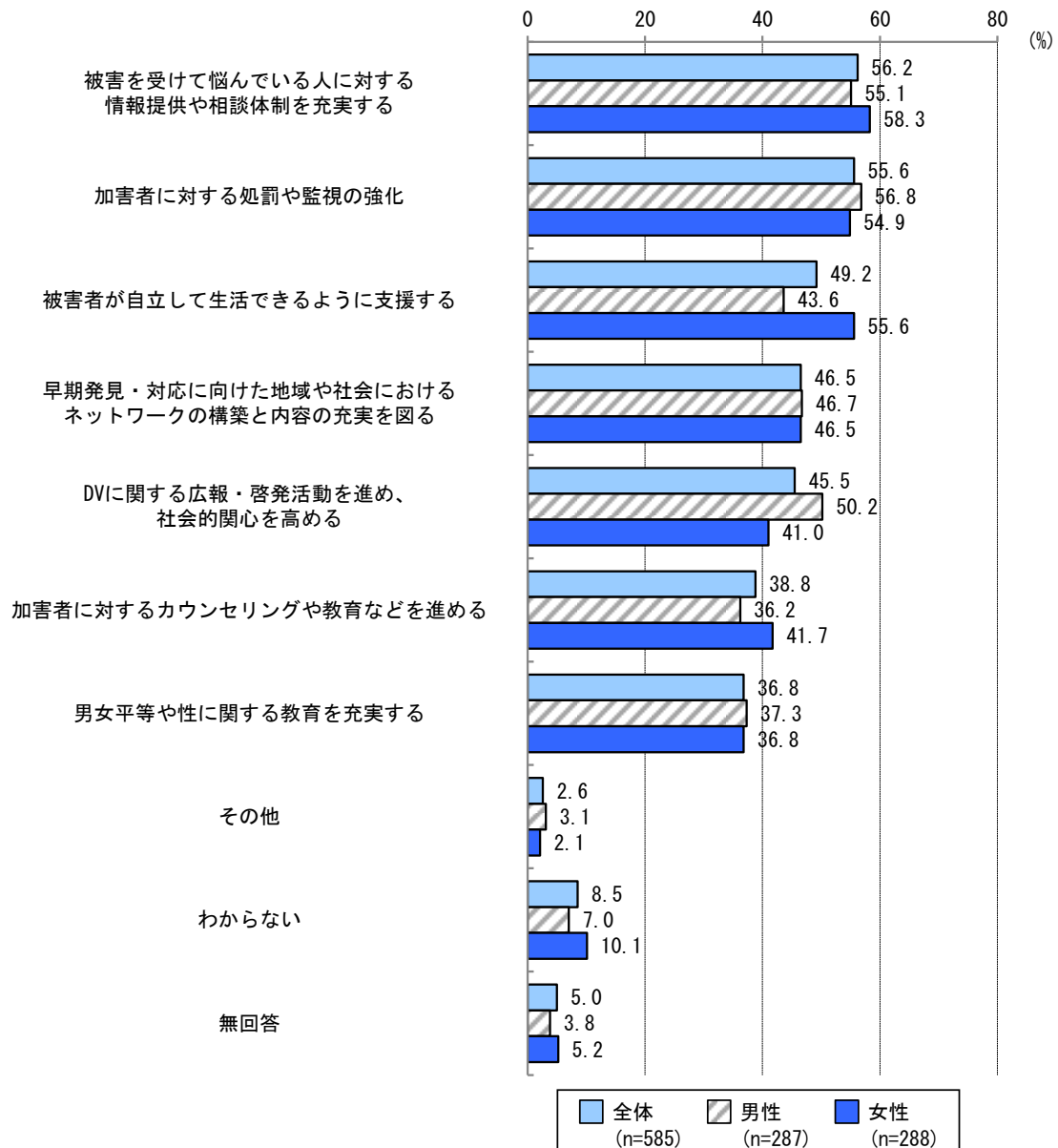


問31 DVをなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

DVをなくすために必要だと思うことについては、「被害を受けて悩んでいる人に対する情報提供や相談体制を充実する」が56.2%と最も高く、次いで「加害者に対する処罰や監視の強化」(55.6%)、「被害者が自立して生活できるように支援する」(49.2%)となっています。

性別で見ると、「男性」で「加害者に対する処罰や監視の強化」が56.8%と最も高くなっています。また、「女性」では「被害者が自立して生活できるように支援する」が55.6%と5割を超えています。

性年代別で見ると、「女性」の「30歳代」で「被害者が自立して生活できるように支援する」、「加害者に対するカウンセリングや教育などを進める」がともに81.3%と8割を超えています。





<性年代別クロス表>

(%)

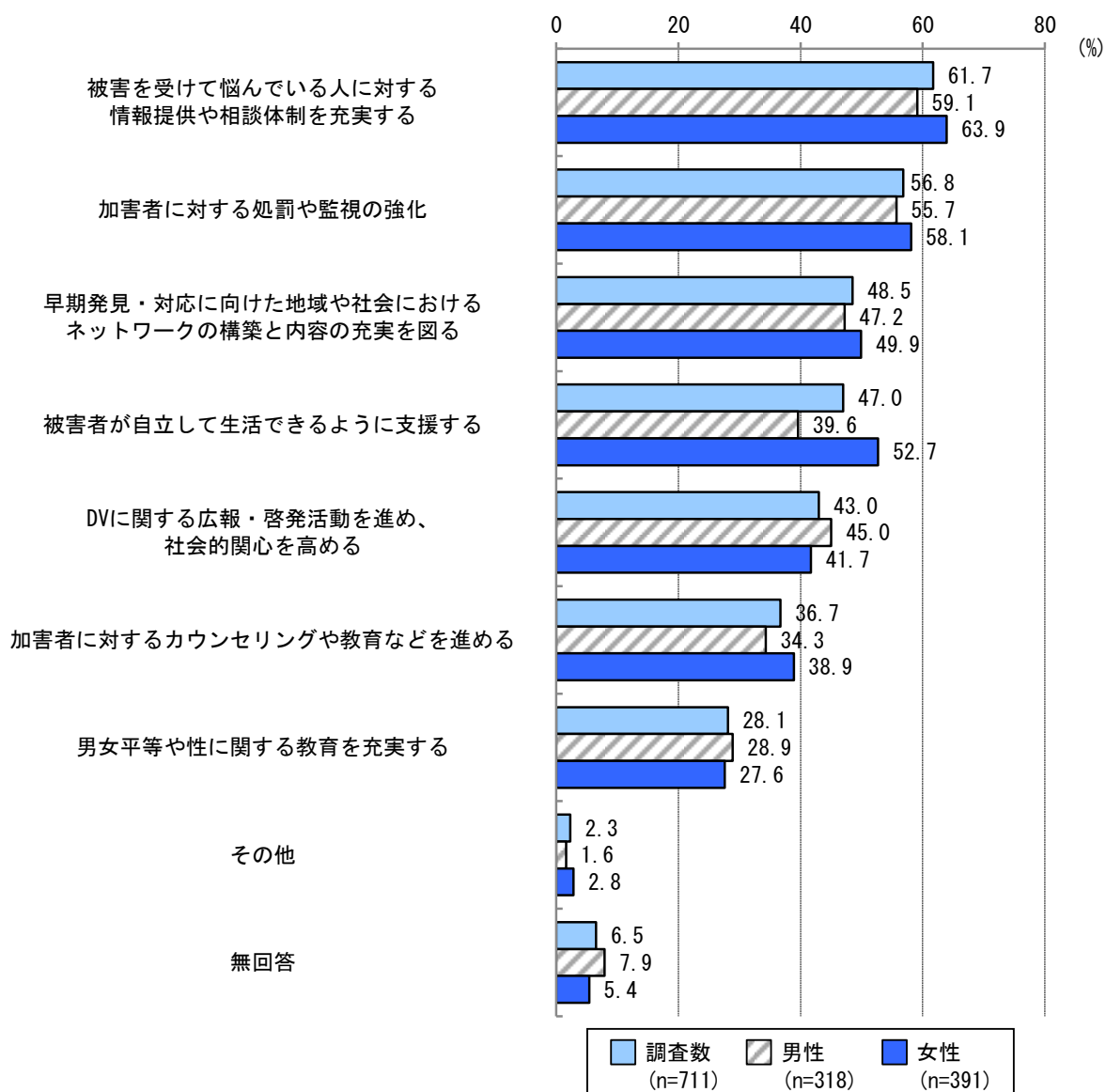
		調査数	DVに関する広報・啓発活動を進め、社会的関心を高める	男女平等や性に関する教育を充実する	被害を受けて悩んでいる人に対する情報提供や相談体制を充実する	被害者が自立して生活できるように支援する	加害者に対するカウンセリングや教育などを進める	加害者に対する処罰や監視の強化	早期発見・対応に向けた地域や社会におけるネットワークの構築と内容の充実を図る
全体		585	45.5	36.8	56.2	49.2	38.8	55.6	46.5
男性	10～20歳代	21	42.9	52.4	52.4	47.6	47.6	52.4	57.1
	30歳代	22	45.5	36.4	63.6	45.5	45.5	68.2	50.0
	40歳代	30	50.0	30.0	50.0	30.0	23.3	50.0	40.0
	50歳代	45	44.4	20.0	53.3	37.8	37.8	64.4	33.3
	60歳代	57	56.1	36.8	61.4	50.9	38.6	64.9	54.4
	70歳代	68	50.0	39.7	55.9	51.5	30.9	50.0	50.0
	80歳以上	43	55.8	51.2	48.8	34.9	39.5	51.2	41.9
女性	10～20歳代	19	63.2	57.9	57.9	68.4	63.2	73.7	68.4
	30歳代	16	31.3	31.3	68.8	<b>81.3</b>	<b>81.3</b>	75.0	68.8
	40歳代	45	48.9	44.4	64.4	71.1	48.9	75.6	55.6
	50歳代	58	46.6	37.9	65.5	63.8	39.7	62.1	46.6
	60歳代	52	44.2	38.5	61.5	53.8	36.5	55.8	51.9
	70歳代	68	33.8	32.4	55.9	41.2	36.8	39.7	36.8
	80歳以上	30	20.0	20.0	30.0	30.0	20.0	20.0	20.0
		調査数	その他	わからない	無回答				
全体		585	2.6	8.5	5.0				
男性	10～20歳代	21	-	-	4.8				
	30歳代	22	-	9.1	-				
	40歳代	30	13.3	10.0	-				
	50歳代	45	6.7	4.4	6.7				
	60歳代	57	1.8	7.0	3.5				
	70歳代	68	-	10.3	2.9				
	80歳以上	43	2.3	4.7	7.0				
女性	10～20歳代	19	-	5.3	-				
	30歳代	16	-	-	-				
	40歳代	45	-	4.4	2.2				
	50歳代	58	3.4	6.9	-				
	60歳代	52	3.8	11.5	1.9				
	70歳代	68	2.9	13.2	8.8				
	80歳以上	30	-	23.3	23.3				

● 問31 前回調査との比較

DVをなくすために必要だと思うことについて、前回調査と比較すると、「男女平等や性に関する教育を充実する」が、前回調査より全体で8.7ポイント増加しています。

性別で見ると、「男性」で、「男女平等や性に関する教育を充実する」が8.4ポイント増加しています。さらに、「DVに関する広報・啓発活動を進め、社会的関心を高める」が、前回調査より5.2ポイント増加しています。また、「女性」で、「男女平等や性に関する教育を充実する」が、前回調査より9.2ポイント増加しています。

【前回調査】



## 9. 市の施策について

問32 あなたは、次の①～⑦について、どの程度ご存知ですか。

(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

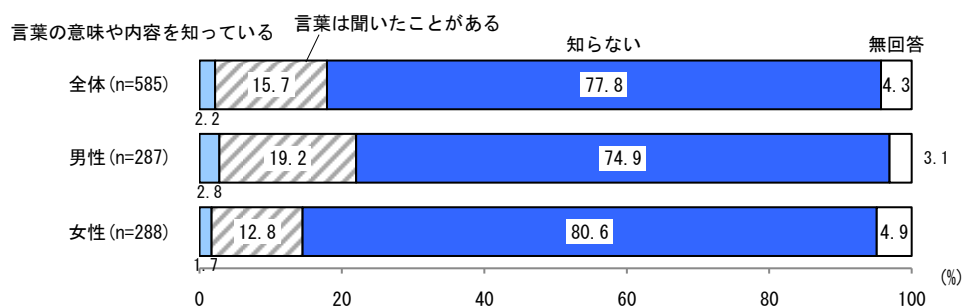
① 貝塚市男女共同参画計画コスモスプラン

貝塚市男女共同参画計画コスモスプランの認知度については、「知らない」が77.8%と7割を超え、最も高くなっています。

性別で見ると、「女性」で「知らない」が80.6%と8割を占めています。

性年代別で見ると、「男性」の「30歳代」、「女性」の「10～30歳代」で「知らない」が9割を超えています。

就労形態別で見ると、「自営業」・「その他無職（年金受給者を含む）」で「言葉は聞いたことがある」が2割を超えています。



### <性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	2.2	15.7	77.8	4.3
男性	10～20 歳代	21	-	23.8	71.4	4.8
	30 歳代	22	-	9.1	90.9	-
	40 歳代	30	3.3	13.3	83.3	-
	50 歳代	45	-	11.1	86.7	2.2
	60 歳代	57	3.5	24.6	70.2	1.8
	70 歳代	68	5.9	14.7	76.5	2.9
	80 歳以上	43	2.3	34.9	53.5	9.3
女性	10～20 歳代	19	-	-	100.0	-
	30 歳代	16	-	-	100.0	-
	40 歳代	45	-	11.1	88.9	-
	50 歳代	58	3.4	8.6	86.2	1.7
	60 歳代	52	-	17.3	80.8	1.9
	70 歳代	68	4.4	19.1	67.6	8.8
	80 歳以上	30	-	16.7	63.3	20.0

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	2.2	15.7	77.8	4.3
常時雇用されている正規社員	183	0.5	10.9	87.4	1.1
パート・アルバイト・派遣社員等	88	3.4	15.9	79.5	1.1
自営業	30	3.3	<b>23.3</b>	73.3	-
その他の収入をとこなう職業	13	-	15.4	84.6	-
家事専業	19	5.3	10.5	78.9	5.3
学生	11	-	-	100.0	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	3.2	<b>21.8</b>	67.1	7.9
上記以外	9	-	-	100.0	-

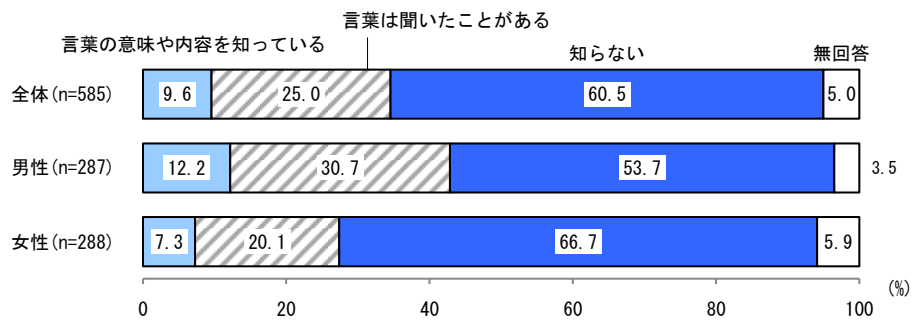
問32 ② 男女共同参画社会基本法

男女共同参画社会基本法の認知度については、「知らない」が60.5%と6割を超え、最も高くなっています。

性別でみると、「男性」で「言葉の意味や内容を知っている」が12.2%と1割を超えています。

性年代別でみると、「男性」の「10～20歳代」で「言葉の意味や内容を知っている」が47.6%と全体より38.0ポイント高くなっています。

就労形態別でみると、「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が63.6%と6割を超え、全体より54.0ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	9.6	25.0	60.5	5.0
男性	10～20 歳代	21	47.6	19.0	28.6	4.8
	30 歳代	22	13.6	31.8	54.5	-
	40 歳代	30	13.3	30.0	56.7	-
	50 歳代	45	4.4	22.2	71.1	2.2
	60 歳代	57	12.3	38.6	47.4	1.8
	70 歳代	68	11.8	29.4	55.9	2.9
	80 歳以上	43	2.3	37.2	48.8	11.6
女性	10～20 歳代	19	31.6	21.1	47.4	-
	30 歳代	16	12.5	25.0	62.5	-
	40 歳代	45	4.4	26.7	68.9	-
	50 歳代	58	8.6	17.2	72.4	1.7
	60 歳代	52	5.8	19.2	73.1	1.9
	70 歳代	68	4.4	20.6	61.8	13.2
	80 歳以上	30	-	13.3	66.7	20.0

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	9.6	25.0	60.5	5.0
常時雇用されている正規社員	183	10.9	26.2	61.7	1.1
パート・アルバイト・派遣社員等	88	10.2	21.6	67.0	1.1
自営業	30	-	30.0	70.0	-
その他の収入をとこなう職業	13	7.7	15.4	76.9	-
家事専業	19	-	10.5	73.7	15.8
学生	11	<b>63.6</b>	18.2	18.2	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	8.8	29.2	53.2	8.8
上記以外	9	-	11.1	88.9	-

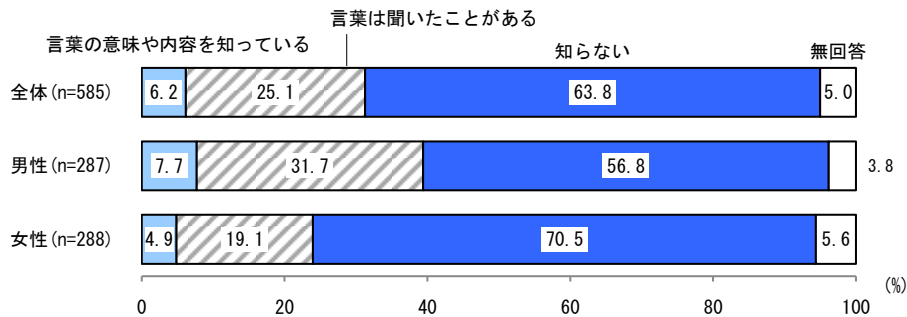
問32 ③ 女性活躍推進法

女性活躍推進法の認知度については、「知らない」が63.8%と6割を超え、最も高くなっています。

性別でみると、「女性」で「知らない」が70.5%と7割を占めています。

性年代別でみると、「男性」の「10～20歳代」、「女性」の「10～20歳代」・「40歳代」で「言葉の意味や内容を知っている」が1割を超えています。

就労形態別でみると、「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が27.3%と全体より21.1ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	6.2	25.1	63.8	5.0
男性	10～20歳代	21	19.0	33.3	42.9	4.8
	30歳代	22	9.1	36.4	54.5	-
	40歳代	30	6.7	36.7	56.7	-
	50歳代	45	8.9	20.0	68.9	2.2
	60歳代	57	5.3	42.1	50.9	1.8
	70歳代	68	8.8	32.4	54.4	4.4
	80歳以上	43	2.3	23.3	62.8	11.6
女性	10～20歳代	19	15.8	15.8	68.4	-
	30歳代	16	-	25.0	75.0	-
	40歳代	45	11.1	24.4	64.4	-
	50歳代	58	1.7	19.0	77.6	1.7
	60歳代	52	1.9	23.1	73.1	1.9
	70歳代	68	5.9	16.2	66.2	11.8
	80歳以上	30	-	10.0	70.0	20.0

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や 内容を知っている	言葉は聞いた ことがある	知らない	無回答
全体	585	6.2	25.1	63.8	5.0
常時雇用されている正規社員	183	7.1	27.3	64.5	1.1
パート・アルバイト・派遣社員等	88	4.5	21.6	72.7	1.1
自営業	30	-	30.0	70.0	-
その他の収入をとまなう職業	13	-	38.5	61.5	-
家事専業	19	5.3	10.5	73.7	10.5
学生	11	<b>27.3</b>	36.4	36.4	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	6.9	25.5	58.8	8.8
上記以外	9	-	11.1	77.8	11.1



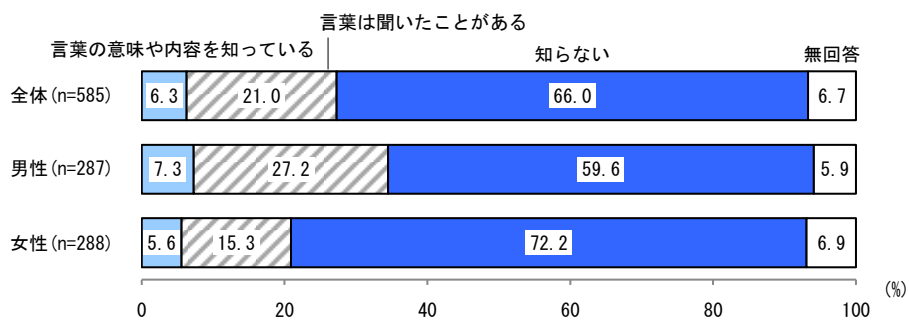
問32 ④ 女子（女性）差別撤廃条約

女子（女性）差別撤廃条約の認知度については、「知らない」が66.0%と6割を超え、最も高くなっています。

性別でみると、「女性」で「知らない」が72.2%と7割を超えています。

性年代別でみると、男女ともに「10～20歳代」で「言葉の意味や内容を知っている」が2割を超えています。

就労形態別でみると、「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が45.5%と4割を超え、全体より39.2ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	6.3	21.0	66.0	6.7
男性	10～20歳代	21	28.6	23.8	42.9	4.8
	30歳代	22	13.6	22.7	63.6	-
	40歳代	30	3.3	30.0	66.7	-
	50歳代	45	4.4	28.9	64.4	2.2
	60歳代	57	5.3	33.3	59.6	1.8
	70歳代	68	7.4	23.5	60.3	8.8
	80歳以上	43	2.3	25.6	53.5	18.6
女性	10～20歳代	19	21.1	15.8	63.2	-
	30歳代	16	-	25.0	75.0	-
	40歳代	45	4.4	24.4	71.1	-
	50歳代	58	-	13.8	84.5	1.7
	60歳代	52	7.7	13.5	73.1	5.8
	70歳代	68	7.4	13.2	64.7	14.7
	80歳以上	30	3.3	6.7	70.0	20.0

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	6.3	21.0	66.0	6.7
常時雇用されている正規社員	183	3.3	23.5	72.1	1.1
パート・アルバイト・派遣社員等	88	6.8	14.8	75.0	3.4
自営業	30	3.3	33.3	56.7	6.7
その他の収入をとこなう職業	13	7.7	38.5	46.2	7.7
家事専業	19	5.3	5.3	73.7	15.8
学生	11	<b>45.5</b>	18.2	36.4	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	7.9	20.8	60.2	11.1
上記以外	9	-	22.2	77.8	-

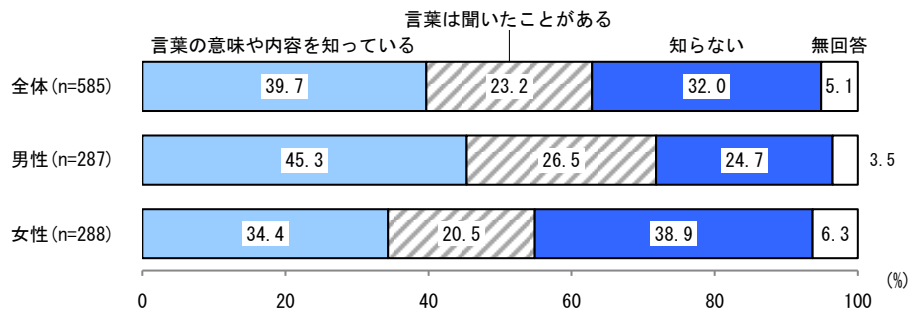
問32 ⑤ 男女雇用機会均等法

男女雇用機会均等法の認知度については、「言葉の意味や内容を知っている」が39.7%と4割近くを占め、最も高くなっています。

性別でみると、「男性」で「言葉の意味や内容を知っている」が45.3%と4割を超えています。

性年代別でみると、「女性」の「80歳以上」で「知らない」が53.3%と5割を超え、全体より21.3ポイント高くなっています。

就労形態別でみると、「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が72.7%と7割を超え、全体より33.0ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	39.7	23.2	32.0	5.1
男性	10～20 歳代	21	57.1	14.3	23.8	4.8
	30 歳代	22	54.5	22.7	22.7	-
	40 歳代	30	50.0	23.3	26.7	-
	50 歳代	45	46.7	22.2	28.9	2.2
	60 歳代	57	56.1	24.6	17.5	1.8
	70 歳代	68	39.7	33.8	23.5	2.9
	80 歳以上	43	25.6	32.6	30.2	11.6
女性	10～20 歳代	19	42.1	10.5	47.4	-
	30 歳代	16	31.3	25.0	43.8	-
	40 歳代	45	44.4	28.9	26.7	-
	50 歳代	58	37.9	19.0	41.4	1.7
	60 歳代	52	38.5	25.0	34.6	1.9
	70 歳代	68	32.4	16.2	38.2	13.2
	80 歳以上	30	6.7	16.7	53.3	23.3

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	39.7	23.2	32.0	5.1
常時雇用されている正規社員	183	50.3	18.0	30.1	1.6
パート・アルバイト・派遣社員等	88	38.6	23.9	36.4	1.1
自営業	30	33.3	30.0	36.7	-
その他の収入をとまなう職業	13	53.8	15.4	30.8	-
家事専業	19	47.4	15.8	26.3	10.5
学生	11	<b>72.7</b>	9.1	18.2	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	31.9	27.3	31.5	9.3
上記以外	9	11.1	22.2	66.7	-

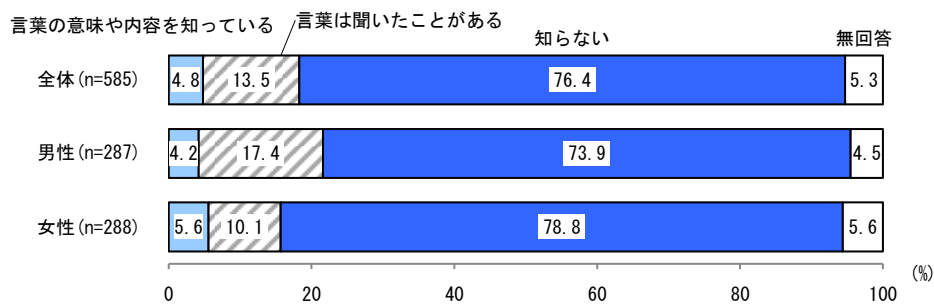
問32 ⑥ ポジティブ・アクション

ポジティブ・アクションの認知度については、「知らない」が76.4%と7割を超え、最も高くなっています。

性別でみると、「女性」で「知らない」が78.8%と、8割近くを占めています。

性年代別でみると、男女ともに「10～20歳代」で「言葉の意味や内容を知っている」が1割を超えています。

就労形態別でみると、「学生」で「言葉の意味や内容を知っている」が27.3%と全体より22.5ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	4.8	13.5	76.4	5.3
男性	10～20 歳代	21	14.3	19.0	61.9	4.8
	30 歳代	22	4.5	22.7	72.7	-
	40 歳代	30	6.7	13.3	80.0	-
	50 歳代	45	4.4	13.3	80.0	2.2
	60 歳代	57	3.5	21.1	71.9	3.5
	70 歳代	68	1.5	16.2	79.4	2.9
	80 歳以上	43	2.3	16.3	65.1	16.3
女性	10～20 歳代	19	15.8	10.5	73.7	-
	30 歳代	16	6.3	6.3	87.5	-
	40 歳代	45	4.4	6.7	88.9	-
	50 歳代	58	1.7	12.1	84.5	1.7
	60 歳代	52	7.7	11.5	78.8	1.9
	70 歳代	68	7.4	10.3	70.6	11.8
	80 歳以上	30	-	10.0	70.0	20.0

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	4.8	13.5	76.4	5.3
常時雇用されている正規社員	183	4.9	13.1	80.9	1.1
パート・アルバイト・派遣社員等	88	4.5	12.5	81.8	1.1
自営業	30	-	20.0	80.0	-
その他の収入をとまなう職業	13	7.7	23.1	61.5	7.7
家事専業	19	10.5	5.3	73.7	10.5
学生	11	<b>27.3</b>	18.2	54.5	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	4.2	14.4	71.8	9.7
上記以外	9	-	-	100.0	-

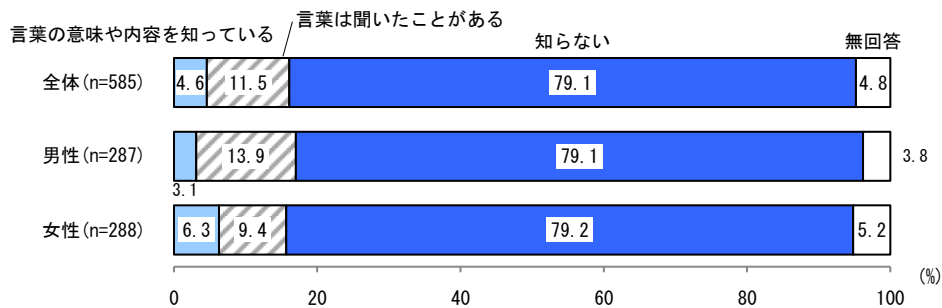
問32 ⑦ 貝塚市パートナーシップ宣誓制度

貝塚市パートナーシップ宣誓制度の認知度については、「知らない」が79.1%と8割近くを占め、最も高くなっています。

性別で大きな差はみられません。

性年代別で見ると、男女ともに「10～20歳代」で「言葉の意味や内容を知っている」が1割を超えています。

就労形態別で見ると、「家事専業」で「言葉の意味や内容を知っている」が15.8%と1割を超え、全体より11.2ポイント高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		585	4.6	11.5	79.1	4.8
男性	10～20歳代	21	14.3	4.8	76.2	4.8
	30歳代	22	4.5	13.6	81.8	-
	40歳代	30	3.3	13.3	83.3	-
	50歳代	45	-	11.1	86.7	2.2
	60歳代	57	1.8	12.3	82.5	3.5
	70歳代	68	2.9	20.6	73.5	2.9
	80歳以上	43	2.3	14.0	72.1	11.6
女性	10～20歳代	19	10.5	15.8	73.7	-
	30歳代	16	-	18.8	81.3	-
	40歳代	45	6.7	15.6	77.8	-
	50歳代	58	5.2	5.2	87.9	1.7
	60歳代	52	9.6	9.6	78.8	1.9
	70歳代	68	7.4	5.9	75.0	11.8
	80歳以上	30	-	6.7	76.7	16.7

<就労形態別クロス表>

(%)

	調査数	言葉の意味や内容を知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	585	4.6	11.5	79.1	4.8
常時雇用されている正規社員	183	4.9	10.9	83.1	1.1
パート・アルバイト・派遣社員等	88	6.8	14.8	77.3	1.1
自営業	30	-	16.7	83.3	-
その他の収入をとこなう職業	13	-	-	100.0	-
家事専業	19	15.8	5.3	68.4	10.5
学生	11	-	27.3	72.7	-
その他無職（年金受給者を含む）	216	4.2	11.6	75.5	8.8
上記以外	9	-	-	100.0	-

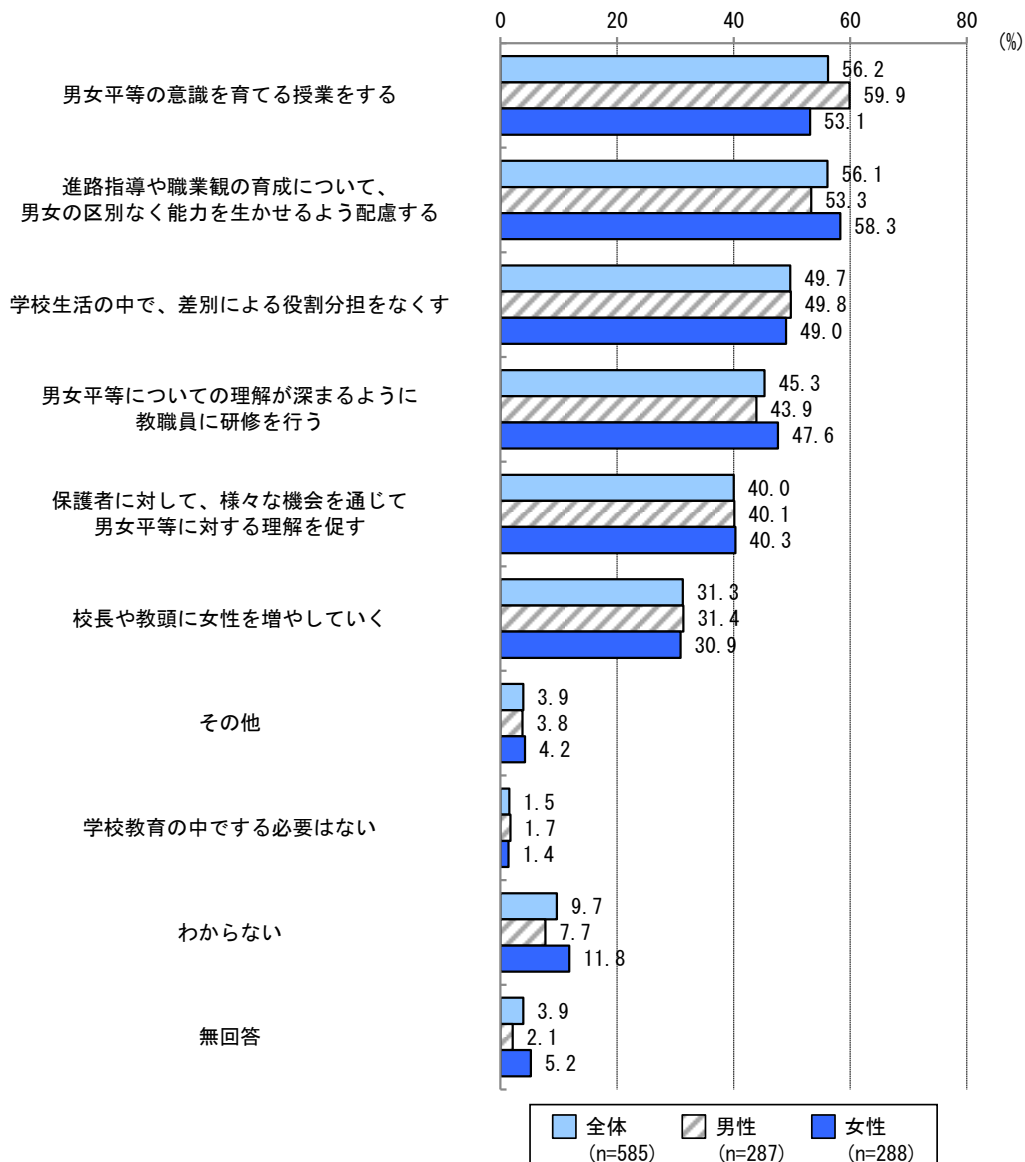


問33 男女平等を推進していくために、学校でどのような取り組みが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

男女平等を推進していくために学校で重要な取り組みについては、「男女平等の意識を育てる授業をする」が56.2%と最も高く、次いで「進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」(56.1%)、「学校生活の中で、差別による役割分担をなくす」(49.7%)となっています。

性別で見ると、「男性」では「男女平等の意識を育てる授業をする」が59.9%と6割近くを占め最も高い一方で、「女性」では「進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」が58.3%と最も高くなっています。

性年代別で見ると、「男性」の「10～20歳代」で「男女平等の意識を育てる授業をする」(76.2%)、「女性」の「10～20歳代」で「学校生活の中で、差別による役割分担をなくす」(84.2%)、「男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う」(68.4%)、「保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す」(63.2%)が、それぞれ全体より20ポイント以上高くなっています。



<性年代別クロス表>

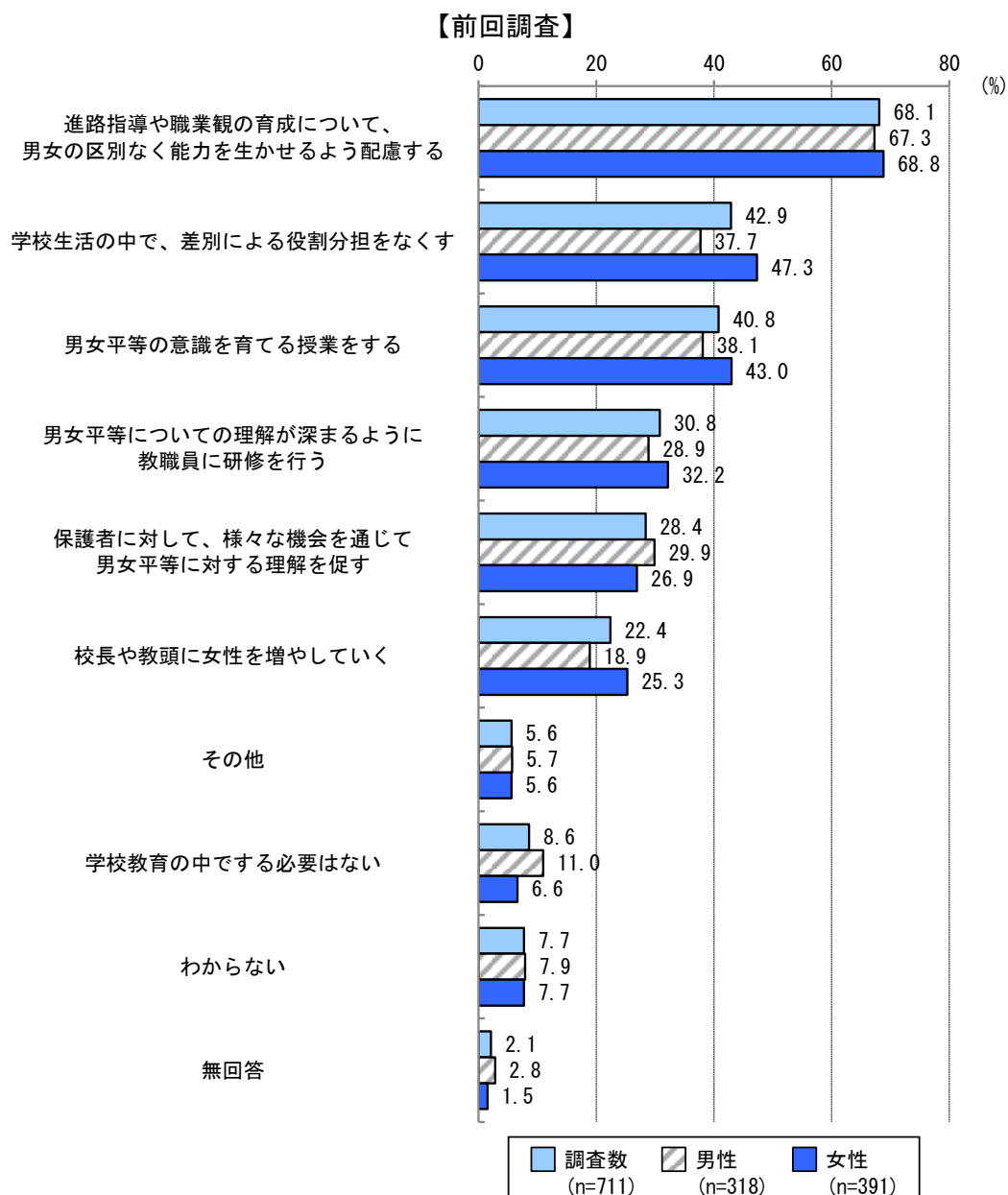
(%)

		調査数	役割分担をなくす 学校生活の中で、差別による	進路指導や職業観の育成について、男女 の区別なく能力を生かせるよう配慮する	男女平等の意識を育てる授業をする	深まるように教職員に研修を行う 男女平等についての理解が	校長や教頭に女性を増やしていく	保護者に対して、様々な機会を通じて 男女平等に対する理解を促す	その他
全体		585	49.7	56.1	56.2	45.3	31.3	40.0	3.9
男性	10～20 歳代	21	61.9	52.4	<b>76.2</b>	52.4	19.0	42.9	14.3
	30 歳代	22	45.5	63.6	45.5	45.5	40.9	45.5	4.5
	40 歳代	30	50.0	43.3	60.0	20.0	16.7	20.0	-
	50 歳代	45	42.2	40.0	53.3	35.6	33.3	26.7	4.4
	60 歳代	57	50.9	63.2	63.2	43.9	28.1	45.6	5.3
	70 歳代	68	50.0	52.9	57.4	51.5	32.4	45.6	1.5
	80 歳以上	43	53.5	58.1	67.4	53.5	44.2	46.5	2.3
女性	10～20 歳代	19	<b>84.2</b>	52.6	68.4	<b>68.4</b>	47.4	<b>63.2</b>	-
	30 歳代	16	37.5	62.5	50.0	56.3	31.3	37.5	6.3
	40 歳代	45	40.0	62.2	57.8	44.4	42.2	42.2	6.7
	50 歳代	58	62.1	60.3	62.1	51.7	31.0	39.7	3.4
	60 歳代	52	42.3	67.3	50.0	51.9	32.7	38.5	7.7
	70 歳代	68	47.1	54.4	51.5	42.6	23.5	42.6	2.9
	80 歳以上	30	36.7	43.3	30.0	30.0	16.7	23.3	-
		調査数	学校教育の中で する必要はない	わからない	無回答				
全体		585	1.5	9.7	3.9				
男性	10～20 歳代	21	-	-	4.8				
	30 歳代	22	4.5	9.1	-				
	40 歳代	30	6.7	10.0	-				
	50 歳代	45	-	8.9	4.4				
	60 歳代	57	1.8	5.3	1.8				
	70 歳代	68	1.5	11.8	-				
	80 歳以上	43	-	4.7	4.7				
女性	10～20 歳代	19	-	5.3	-				
	30 歳代	16	12.5	6.3	-				
	40 歳代	45	2.2	6.7	-				
	50 歳代	58	-	10.3	-				
	60 歳代	52	1.9	15.4	3.8				
	70 歳代	68	-	8.8	13.2				
	80 歳以上	30	-	30.0	13.3				

● 問33 前回調査との比較

男女平等を推進していくために学校で重要な取り組みについて、前回調査と比較すると、「男女平等の意識を育てる授業をする」・「男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う」が全体で15ポイント程度、前回調査より増加しています。さらに、「保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す」が11.6ポイント、前回調査より増加しています。

性別でみると、「男性」で、「男女平等の意識を育てる授業をする」・「男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う」・「校長や教頭に女性を増やしていく」・「学校生活の中で性別による役割分担なくす」・「保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す」が、前回調査より10ポイント以上増加しています。また、「女性」で、「男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う」が15.4ポイント増加しています。さらに、「保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す」・「男女平等の意識を育てる授業をする」が、前回調査より10ポイント程度増加しています。



問34 あなたは、次のことについて、以前に比べて進んでいると思いますか。

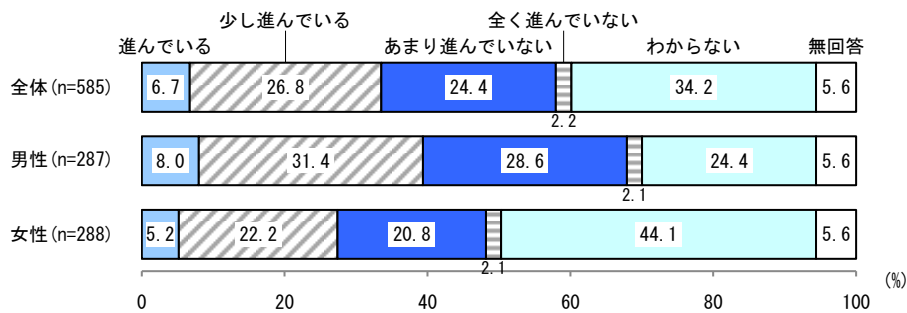
(それぞれについて○は1つずつ)

① 男女共同参画に対する理解

男女共同参画に対する理解の進捗については、「少し進んでいる」が26.8%と最も高く、「進んでいる」(6.7%)と合わせた『進んでいる』の割合は33.5%と3割を超えています。

性別で見ると「男性」で「少し進んでいる」が31.4%と3割を占めており、「進んでいる」(8.0%)を合わせた『進んでいる』の割合は39.4%と4割近くを占めています。一方で、「女性」では「わからない」が44.1%と4割を超えています。

性年代別で見ると、「男性」の「10～20歳代」・「40歳代」で「進んでいる」と「少し進んでいる」を合わせた『進んでいる』の割合が5割を超えています。一方で、「女性」では、「40歳代」以外の年代で「わからない」が4割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

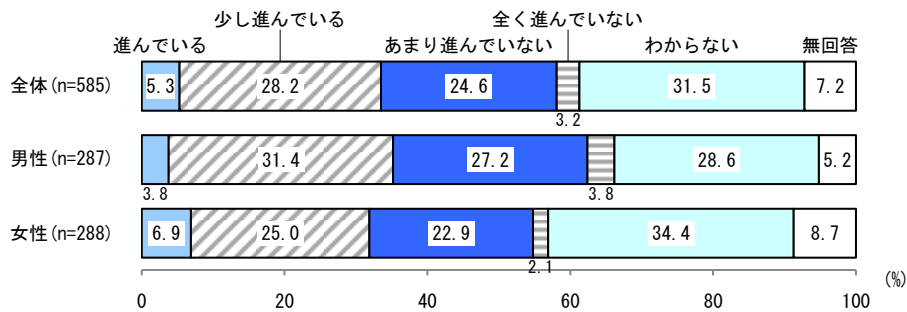
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	6.7	26.8	24.4	2.2	34.2	5.6	33.5	26.6
男性	10～20 歳代	21	19.0	33.3	14.3	-	28.6	4.8	<b>52.3</b>	14.3
	30 歳代	22	9.1	22.7	36.4	4.5	27.3	-	31.8	40.9
	40 歳代	30	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	<b>60.0</b>	20.0
	50 歳代	45	6.7	28.9	24.4	2.2	33.3	4.4	35.6	26.6
	60 歳代	57	10.5	38.6	36.8	1.8	10.5	1.8	49.1	38.6
	70 歳代	68	2.9	29.4	27.9	1.5	29.4	8.8	32.3	29.4
	80 歳以上	43	-	25.6	30.2	4.7	25.6	14.0	25.6	34.9
女性	10～20 歳代	19	5.3	36.8	10.5	-	<b>47.4</b>	-	42.1	10.5
	30 歳代	16	6.3	25.0	18.8	-	<b>50.0</b>	-	31.3	18.8
	40 歳代	45	4.4	26.7	31.1	-	35.6	2.2	31.1	31.1
	50 歳代	58	6.9	20.7	22.4	5.2	<b>44.8</b>	-	27.6	27.6
	60 歳代	52	3.8	26.9	19.2	5.8	<b>40.4</b>	3.8	30.7	25.0
	70 歳代	68	5.9	19.1	17.6	-	<b>45.6</b>	11.8	25.0	17.6
	80 歳以上	30	3.3	6.7	20.0	-	<b>53.3</b>	16.7	10.0	20.0

問34 ② 技能講習や労働相談など、女性が働くことに関する支援

技能講習や労働相談など、女性が働くことに関する支援の進捗については、「分からない」が31.5%と最も高くなっています。また、「進んでいる」(5.3%)と「少し進んでいる」(28.2%)を合わせた『進んでいる』の割合は33.5%となっています。

性別でみると、「男性」で「少し進んでいる」が31.4%と3割程度を占めています。

性年代別でみると、「男性」の「30歳代」で「進んでいる」(9.1%)と「少し進んでいる」(54.5%)を合わせた『進んでいる』の割合が63.6%と6割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

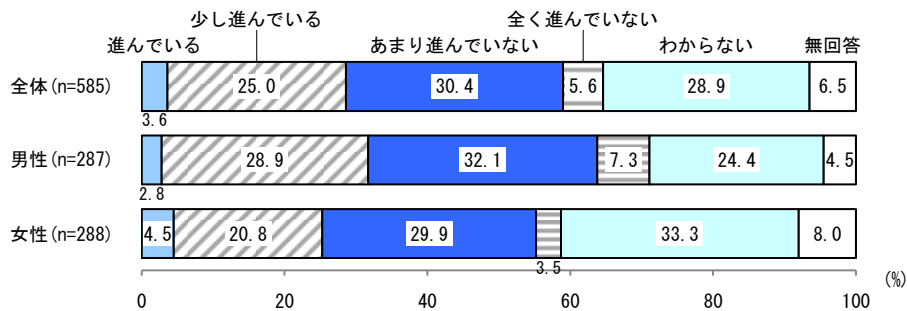
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	5.3	28.2	24.6	3.2	31.5	7.2	33.5	27.8
男性	10~20歳代	21	9.5	23.8	19.0	4.8	38.1	4.8	33.3	23.8
	30歳代	22	9.1	54.5	22.7	-	13.6	-	63.6	22.7
	40歳代	30	3.3	33.3	20.0	3.3	40.0	-	36.6	23.3
	50歳代	45	4.4	31.1	24.4	2.2	33.3	4.4	35.5	26.6
	60歳代	57	3.5	43.9	35.1	5.3	12.3	-	47.4	40.4
	70歳代	68	1.5	22.1	27.9	4.4	35.3	8.8	23.6	32.3
	80歳以上	43	2.3	20.9	27.9	4.7	30.2	14.0	23.2	32.6
女性	10~20歳代	19	-	26.3	26.3	-	47.4	-	26.3	26.3
	30歳代	16	25.0	18.8	12.5	-	43.8	-	43.8	12.5
	40歳代	45	11.1	26.7	26.7	2.2	31.1	2.2	37.8	28.9
	50歳代	58	5.2	27.6	27.6	1.7	36.2	1.7	32.8	29.3
	60歳代	52	5.8	36.5	17.3	1.9	30.8	7.7	42.3	19.2
	70歳代	68	5.9	20.6	22.1	1.5	35.3	14.7	26.5	23.6
	80歳以上	30	3.3	10.0	23.3	6.7	26.7	30.0	13.3	30.0

問34 ③ 女性が、仕事や地域活動に参加するための保育サービス

女性が、仕事や地域活動に参加するための保育サービスの進捗については、「あまり進んでいない」が30.4%と最も高く、「全く進んでいない」(5.6%)を合わせた『進んでいない』の割合は36.0%と3割を超えています。また、「わからない」が28.9%と3割近くを占めています。

性別で見ると、「男性」で「進んでいる」(2.8%)と「少し進んでいる」(28.9%)を合わせた『進んでいる』の割合は31.7%と3割程度を占めています。

性年代別で見ると、「男性」の「30歳代」で「進んでいる」(9.1%)と「少し進んでいる」(45.5%)を合わせた『進んでいる』の割合が54.6%と5割を超えています。一方で、男女ともに「40歳代」で「あまり進んでいない」と「全く進んでいない」を合わせた『進んでいない』の割合が4割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

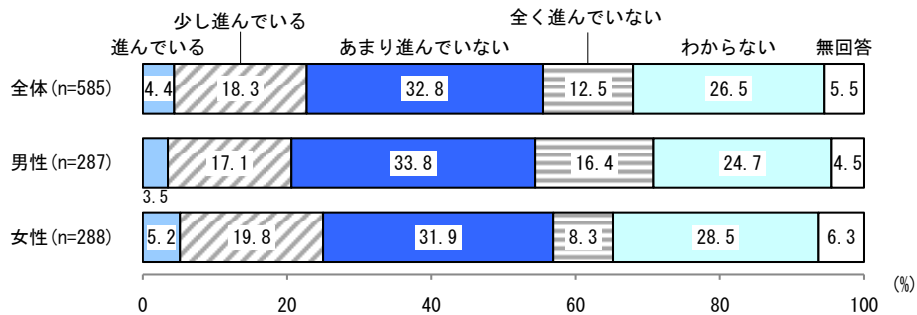
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	3.6	25.0	30.4	5.6	28.9	6.5	28.6	36.0
男性	10~20歳代	21	4.8	33.3	19.0	14.3	23.8	4.8	38.1	33.3
	30歳代	22	9.1	45.5	27.3	9.1	9.1	-	<b>54.6</b>	36.4
	40歳代	30	-	30.0	43.3	3.3	23.3	-	30.0	<b>46.6</b>
	50歳代	45	2.2	26.7	22.2	11.1	33.3	4.4	28.9	33.3
	60歳代	57	3.5	28.1	47.4	7.0	14.0	-	31.6	54.4
	70歳代	68	2.9	22.1	30.9	4.4	32.4	7.4	25.0	35.3
	80歳以上	43	-	32.6	23.3	7.0	25.6	11.6	32.6	30.3
女性	10~20歳代	19	5.3	42.1	15.8	5.3	31.6	-	47.4	21.1
	30歳代	16	6.3	18.8	25.0	6.3	43.8	-	25.1	31.3
	40歳代	45	8.9	22.2	37.8	2.2	26.7	2.2	31.1	<b>40.0</b>
	50歳代	58	3.4	22.4	32.8	5.2	36.2	-	25.8	38.0
	60歳代	52	3.8	19.2	30.8	1.9	36.5	7.7	23.0	32.7
	70歳代	68	4.4	14.7	29.4	2.9	33.8	14.7	19.1	32.3
	80歳以上	30	-	20.0	23.3	3.3	26.7	26.7	20.0	26.6

問34 ④ 介護する家族の負担を軽減するための支援

介護する家族の負担を軽減するための支援の進捗については、「あまり進んでいない」が32.8%と最も高く、「全く進んでいない」(12.5%)を合わせた『進んでいない』の割合は45.3%と4割を超えています。また、「わからない」が26.5%と2割を超えています。

性別でみると、「男性」で「全く進んでいない」が16.4%と1割を超えており、「あまり進んでいない」(33.8%)を合わせた『進んでいない』の割合は50.2%と5割を占めています。

性年代別でみると、「男性」の「30歳代」で「あまり進んでいない」(45.5%)と「全く進んでいない」(18.2%)を合わせた『進んでいない』の割合が63.7%と6割を超えています。一方で、「女性」の「60歳代・80歳以上」では、「進んでいる」と「少し進んでいる」を合わせた『進んでいる』の割合が3割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

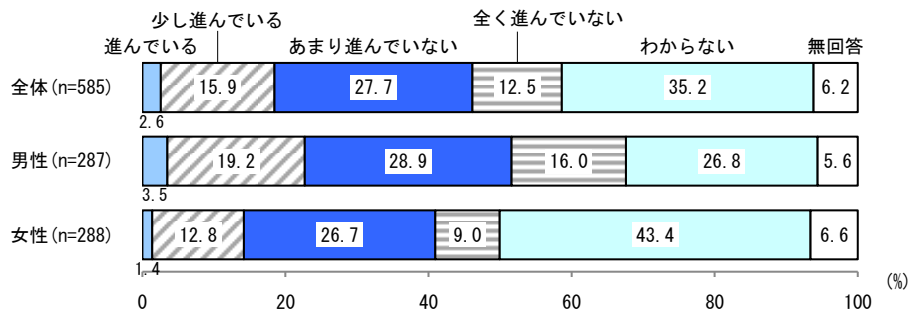
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	4.4	18.3	32.8	12.5	26.5	5.5	22.7	45.3
男性	10~20歳代	21	-	28.6	19.0	23.8	23.8	4.8	28.6	42.8
	30歳代	22	4.5	9.1	45.5	18.2	22.7	-	13.6	63.7
	40歳代	30	-	13.3	36.7	13.3	36.7	-	13.3	50.0
	50歳代	45	4.4	22.2	17.8	13.3	37.8	4.4	26.6	31.1
	60歳代	57	3.5	21.1	47.4	17.5	10.5	-	24.6	64.9
	70歳代	68	4.4	13.2	38.2	13.2	23.5	7.4	17.6	51.4
	80歳以上	43	4.7	14.0	25.6	18.6	25.6	11.6	18.7	44.2
女性	10~20歳代	19	-	21.1	36.8	5.3	36.8	-	21.1	42.1
	30歳代	16	6.3	12.5	18.8	12.5	50.0	-	18.8	31.3
	40歳代	45	4.4	13.3	37.8	11.1	31.1	2.2	17.7	48.9
	50歳代	58	5.2	12.1	36.2	10.3	36.2	-	17.3	46.5
	60歳代	52	3.8	30.8	38.5	5.8	15.4	5.8	34.6	44.3
	70歳代	68	2.9	25.0	29.4	5.9	25.0	11.8	27.9	35.3
	80歳以上	30	16.7	16.7	13.3	10.0	23.3	20.0	33.4	23.3

問34 ⑤ 男性対象の子育て講座など、男性に対する子育て支援

男性対象の子育て講座など、男性に対する子育て支援の進捗については、「わからない」が35.2%と最も高くなっています。また、「あまり進んでいない」(27.7%)と「全く進んでいない」(12.5%)を合わせた『進んでいない』の割合は40.2%と4割程度を占めています。

性別で見ると、「男性」で「あまり進んでいない」(28.9%)と「全く進んでいない」(16.0%)を合わせた『進んでいない』の割合が44.9%と4割を超えています。一方で、「女性」で「わからない」が43.4%と4割を超えています。

性年代別で見ると、「男性」の「10～30歳代」、「女性」の「10～20歳代」で、「進んでいる」と「少し進んでいる」を合わせた『進んでいる』の割合が4割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	2.6	15.9	27.7	12.5	35.2	6.2	18.5	40.2
男性	10～20歳代	21	14.3	28.6	19.0	14.3	14.3	9.5	42.9	33.3
	30歳代	22	18.2	27.3	22.7	22.7	9.1	-	45.5	45.4
	40歳代	30	-	36.7	26.7	10.0	26.7	-	36.7	36.7
	50歳代	45	2.2	15.6	28.9	13.3	35.6	4.4	17.8	42.2
	60歳代	57	3.5	19.3	43.9	17.5	15.8	-	22.8	61.4
	70歳代	68	-	8.8	29.4	14.7	36.8	10.3	8.8	44.1
	80歳以上	43	-	18.6	18.6	18.6	32.6	11.6	18.6	37.2
女性	10～20歳代	19	-	42.1	15.8	10.5	31.6	-	42.1	26.3
	30歳代	16	6.3	6.3	18.8	18.8	50.0	-	12.6	37.6
	40歳代	45	4.4	17.8	22.2	13.3	40.0	2.2	22.2	35.5
	50歳代	58	1.7	17.2	24.1	8.6	48.3	-	18.9	32.7
	60歳代	52	-	7.7	42.3	5.8	40.4	3.8	7.7	48.1
	70歳代	68	-	5.9	29.4	5.9	45.6	13.2	5.9	35.3
	80歳以上	30	-	6.7	16.7	10.0	43.3	23.3	6.7	26.7

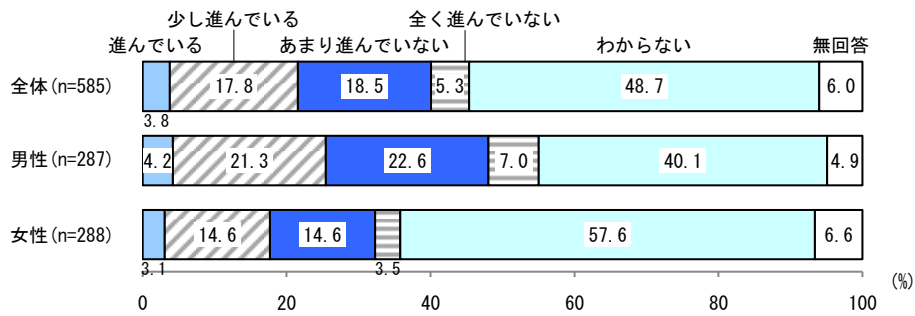


問34 ⑥ 学校等における男女平等の意識を育てる教育

学校等における男女平等の意識を育てる教育の進捗については、「わからない」が48.7%と最も高くなっています。また、「あまり進んでいない」(18.5%)と「全く進んでいない」(5.3%)を合わせた『進んでいない』の割合は23.8%となっています。

性別でみると、「男性」で「あまり進んでいない」(22.6%)と「全く進んでいない」(7.0%)を合わせた『進んでいない』の割合が29.6%と3割近くを占めています。一方で、「女性」で「わからない」が57.6%と6割近くを占めています。

性年代別でみると、「男性」の「40歳代」・「60歳代」、「女性」の「10～20歳代」で「進んでいる」と「少し進んでいる」を合わせた『進んでいる』の割合が3割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

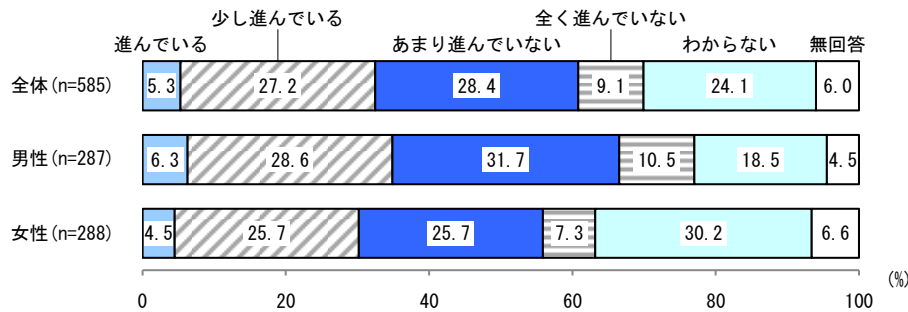
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	3.8	17.8	18.5	5.3	48.7	6.0	21.6	23.8
男性	10～20歳代	21	9.5	19.0	23.8	14.3	28.6	4.8	28.5	38.1
	30歳代	22	9.1	18.2	27.3	13.6	31.8	-	27.3	40.9
	40歳代	30	6.7	26.7	16.7	3.3	46.7	-	33.4	20.0
	50歳代	45	-	20.0	20.0	2.2	53.3	4.4	20.0	22.2
	60歳代	57	5.3	26.3	33.3	7.0	28.1	-	31.6	40.3
	70歳代	68	1.5	16.2	22.1	4.4	47.1	8.8	17.7	26.5
	80歳以上	43	4.7	23.3	14.0	9.3	37.2	11.6	28.0	23.3
女性	10～20歳代	19	10.5	21.1	15.8	5.3	47.4	-	31.6	21.1
	30歳代	16	6.3	6.3	6.3	18.8	62.5	-	12.6	25.1
	40歳代	45	2.2	22.2	17.8	4.4	51.1	2.2	24.4	22.2
	50歳代	58	1.7	13.8	12.1	5.2	67.2	-	15.5	17.3
	60歳代	52	1.9	15.4	25.0	-	51.9	5.8	17.3	25.0
	70歳代	68	1.5	13.2	13.2	-	58.8	13.2	14.7	13.2
	80歳以上	30	6.7	6.7	3.3	3.3	60.0	20.0	13.4	6.6

問34 ⑦ 男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担の見直し

男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担の見直しの進捗については、「あまり進んでいない」が28.4%と最も高く、「全く進んでいない」(9.1%)を合わせた『進んでいない』の割合は37.5%と4割近くを占めています。

性別でみると、「男性」で「あまり進んでいない」(31.7%)と「全く進んでいない」(10.5%)を合わせた『進んでいない』の割合が42.2%と4割を超えています。一方で、「女性」で「わからない」が30.2%と3割を占めています。

性年代別でみると、「男性」の「10~40歳代」、「女性」の「30歳代」で「進んでいる」と「少し進んでいる」を合わせた『進んでいる』の割合が4割を超えています。一方で、「男性」の「60歳代」では「あまり進んでいない」(43.9%)と「全く進んでいない」(7.0%)を合わせた『進んでいない』の割合が50.9%と5割を占めています。



<性年代別クロス表>

(%)

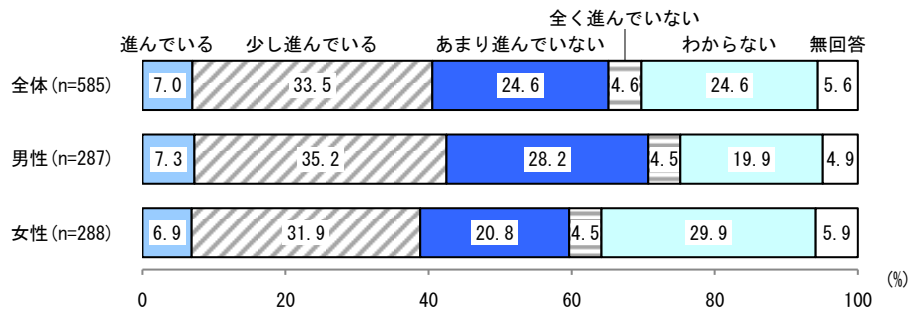
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	5.3	27.2	28.4	9.1	24.1	6.0	32.5	37.5
男性	10~20 歳代	21	19.0	33.3	19.0	14.3	9.5	4.8	52.3	33.3
	30 歳代	22	18.2	31.8	18.2	13.6	13.6	4.5	50.0	31.8
	40 歳代	30	10.0	33.3	26.7	10.0	20.0	-	43.3	36.7
	50 歳代	45	2.2	22.2	31.1	11.1	28.9	4.4	24.4	42.2
	60 歳代	57	5.3	31.6	43.9	7.0	12.3	-	36.9	50.9
	70 歳代	68	1.5	26.5	36.8	7.4	20.6	7.4	28.0	44.2
	80 歳以上	43	4.7	27.9	25.6	14.0	18.6	9.3	32.6	39.6
女性	10~20 歳代	19	10.5	26.3	31.6	5.3	26.3	-	36.8	36.9
	30 歳代	16	6.3	37.5	18.8	18.8	18.8	-	43.8	37.6
	40 歳代	45	6.7	24.4	31.1	11.1	24.4	2.2	31.1	42.2
	50 歳代	58	3.4	29.3	29.3	8.6	29.3	-	32.7	37.9
	60 歳代	52	1.9	26.9	25.0	3.8	36.5	5.8	28.8	28.8
	70 歳代	68	4.4	25.0	23.5	2.9	30.9	13.2	29.4	26.4
	80 歳以上	30	3.3	13.3	16.7	10.0	36.7	20.0	16.6	26.7

問34 ⑧ 女性が、仕事や地域活動に参加することに対する家族の理解

女性が、仕事や地域活動に参加することに対する家族の理解の進捗については、「少し進んでいる」が33.5%と最も高く、「進んでいる」(7.0%)を合わせた『進んでいる』の割合は40.5%と4割を占めています。

性別で見ると、「男性」で「進んでいる」(7.3%)と「少し進んでいる」(35.2%)を合わせた『進んでいる』の割合が42.5%と4割を超えている一方で、「女性」で「わからない」が29.9%と3割近くを占めています。

性年代別で見ると、「男性」の「10～30歳代」、「女性」の「30歳代」・「70歳代」で「進んでいる」と「少し進んでいる」を合わせた『進んでいる』の割合が5割を超えています。一方で、「女性」の「50歳代」では「わからない」が48.3%と5割近くを占めています。



<性年代別クロス表>

(%)

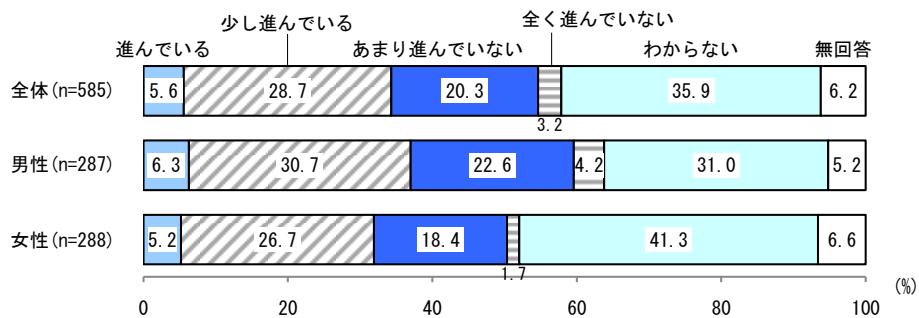
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	7.0	33.5	24.6	4.6	24.6	5.6	40.5	29.2
男性	10～20歳代	21	14.3	38.1	9.5	9.5	23.8	4.8	52.4	19.0
	30歳代	22	22.7	40.9	31.8	-	4.5	-	63.6	31.8
	40歳代	30	13.3	33.3	23.3	3.3	26.7	-	46.6	26.6
	50歳代	45	4.4	33.3	24.4	2.2	31.1	4.4	37.7	26.6
	60歳代	57	8.8	33.3	40.4	5.3	12.3	-	42.1	45.7
	70歳代	68	2.9	35.3	27.9	5.9	19.1	8.8	38.2	33.8
	80歳以上	43	-	37.2	27.9	4.7	18.6	11.6	37.2	32.6
女性	10～20歳代	19	15.8	15.8	26.3	10.5	31.6	-	31.6	36.8
	30歳代	16	6.3	43.8	18.8	6.3	25.0	-	50.1	25.1
	40歳代	45	15.6	26.7	22.2	8.9	24.4	2.2	42.3	31.1
	50歳代	58	3.4	17.2	27.6	3.4	48.3	-	20.6	31.0
	60歳代	52	1.9	46.2	19.2	1.9	25.0	5.8	48.1	21.1
	70歳代	68	7.4	42.6	13.2	2.9	23.5	10.3	50.0	16.1
	80歳以上	30	3.3	23.3	23.3	3.3	26.7	20.0	26.6	26.6

問34 ⑨ 自治会やPTA、職場において、重要事項を決める会議への女性の参画

自治会やPTA、職場において、重要事項を決める会議への女性の参画の進捗については、「わからない」が35.9%と最も高くなっています。また、「進んでいる」(5.6%)と「少し進んでいる」(28.7%)を合わせた『進んでいる』の割合は34.3%と3割を超えています。

性別で見ると、「女性」で「わからない」が41.3%と4割を占めています。

性年代別で見ると、「男性」の「10～30歳代」で「進んでいる」と「少し進んでいる」を合わせた『進んでいる』の割合が5割を超えています。一方で、「男性」の「50歳代」、「女性」の「30歳代」・「50歳代」で「わからない」が5割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

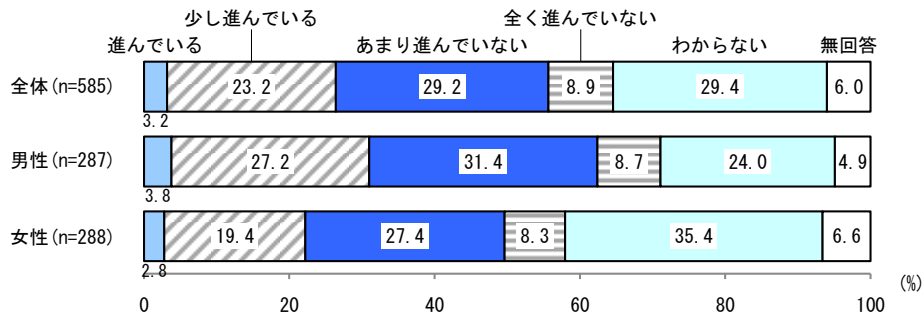
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	5.6	28.7	20.3	3.2	35.9	6.2	34.3	23.5
男性	10～20歳代	21	4.8	47.6	14.3	4.8	23.8	4.8	52.4	19.1
	30歳代	22	4.5	50.0	18.2	4.5	22.7	-	54.5	22.7
	40歳代	30	6.7	26.7	20.0	-	46.7	-	33.4	20.0
	50歳代	45	2.2	22.2	15.6	4.4	51.1	4.4	24.4	20.0
	60歳代	57	7.0	26.3	40.4	5.3	21.1	-	33.3	45.7
	70歳代	68	10.3	29.4	19.1	2.9	27.9	10.3	39.7	22.0
	80歳以上	43	4.7	32.6	20.9	7.0	23.3	11.6	37.3	27.9
女性	10～20歳代	19	5.3	26.3	21.1	5.3	42.1	-	31.6	26.4
	30歳代	16	6.3	6.3	18.8	-	68.8	-	12.6	18.8
	40歳代	45	4.4	24.4	26.7	-	42.2	2.2	28.8	26.7
	50歳代	58	1.7	25.9	13.8	5.2	53.4	-	27.6	19.0
	60歳代	52	5.8	34.6	19.2	-	36.5	3.8	40.4	19.2
	70歳代	68	7.4	29.4	16.2	1.5	30.9	14.7	36.8	17.7
	80歳以上	30	6.7	23.3	16.7	-	33.3	20.0	30.0	16.7

問34 ⑩ 職場における配置や昇進、職務分担などに対する男女格差の解消

職場における配置や昇進、職務分担などに対する男女格差の解消の進捗については、「わからない」が29.4%と最も高くなっています。また、「あまり進んでいない」(29.2%)と「全く進んでいない」(8.9%)を合わせた『進んでいない』の割合は38.1%と4割近くを占めています。

性別で見ると、「男性」で「あまり進んでいない」(31.4%)と「全く進んでいない」(8.7%)を合わせた『進んでいない』割合が40.1%と4割を占めている一方で、「女性」で「わからない」が35.4%と3割を超えています。

性年代別で見ると、「男性」の「30歳代」で「進んでいる」(9.1%)と「少し進んでいる」(50.0%)を合わせた『進んでいる』の割合が59.1%と6割近くを占めています。一方で、「男性」の「50歳代」、「女性」の「40歳代」では「あまり進んでいない」と「全く進んでいない」を合わせた『進んでいない』の割合が5割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

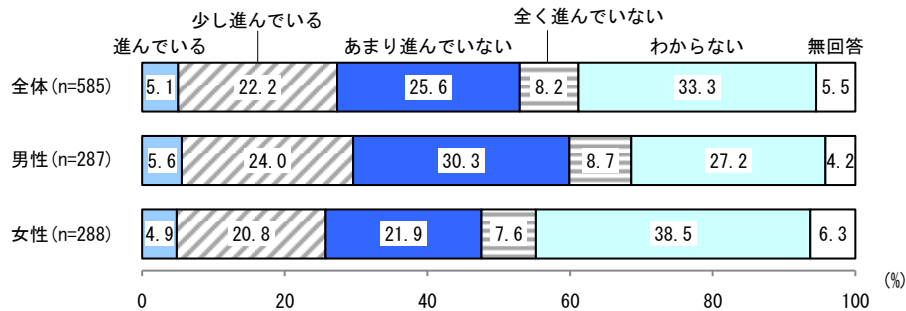
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	3.2	23.2	29.2	8.9	29.4	6.0	26.4	38.1
男性	10~20 歳代	21	-	42.9	19.0	9.5	23.8	4.8	42.9	28.5
	30 歳代	22	9.1	50.0	18.2	4.5	18.2	-	59.1	22.7
	40 歳代	30	3.3	40.0	26.7	6.7	23.3	-	43.3	33.4
	50 歳代	45	6.7	15.6	44.4	11.1	17.8	4.4	22.3	55.5
	60 歳代	57	7.0	33.3	35.1	8.8	15.8	-	40.3	43.9
	70 歳代	68	-	19.1	33.8	8.8	29.4	8.8	19.1	42.6
	80 歳以上	43	2.3	16.3	25.6	9.3	34.9	11.6	18.6	34.9
女性	10~20 歳代	19	5.3	15.8	31.6	10.5	36.8	-	21.1	42.1
	30 歳代	16	6.3	31.3	31.3	6.3	25.0	-	37.6	37.6
	40 歳代	45	6.7	13.3	42.2	15.6	20.0	2.2	20.0	57.8
	50 歳代	58	5.2	19.0	27.6	15.5	32.8	-	24.2	43.1
	60 歳代	52	-	28.8	34.6	1.9	30.8	3.8	28.8	36.5
	70 歳代	68	-	20.6	16.2	2.9	45.6	14.7	20.6	19.1
	80 歳以上	30	-	6.7	13.3	6.7	53.3	20.0	6.7	20.0

問34 ⑪ セクシャル・ハラスメント防止のための啓発や、相談体制

セクシャル・ハラスメント防止のための啓発や、相談体制の進捗については、「わからない」が33.3%と最も高くなっています。また、「あまり進んでいない」(25.6%)と「全く進んでいない」(8.2%)を合わせた『進んでいない』の割合が33.8%と3割を超えています。

性別で見ると、「男性」で「あまり進んでいない」(30.3%)と「全く進んでいない」(8.7%)を合わせた『進んでいない』の割合が39.0%と4割近くを占めている一方で、「女性」では「わからない」が38.5%と4割近くを占めています。

性年代別で見ると、「男性」の「10~40歳代」で「進んでいる」と「少し進んでいる」を合わせた『進んでいる』の割合が4割を超えています。一方で、「男性」の「60歳代」では、「あまり進んでいない」(36.8%)と「全く進んでいない」(12.3%)を合わせた『進んでいない』の割合が49.1%と5割近くを占めています。



<性年代別クロス表>

(%)

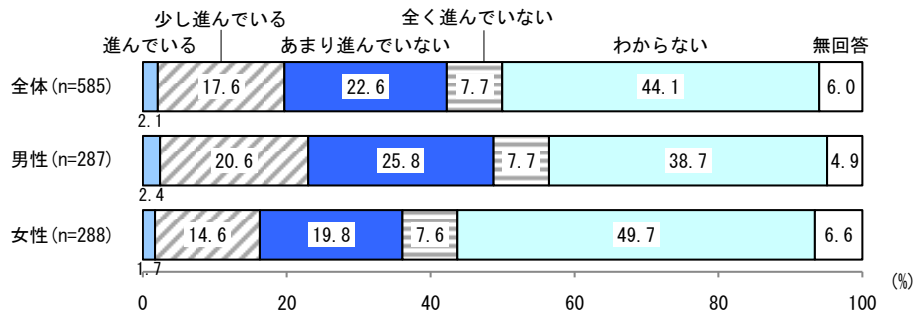
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	5.1	22.2	25.6	8.2	33.3	5.5	27.3	33.8
男性	10~20歳代	21	9.5	33.3	23.8	9.5	19.0	4.8	42.8	33.3
	30歳代	22	13.6	27.3	27.3	13.6	18.2	-	40.9	40.9
	40歳代	30	6.7	36.7	20.0	6.7	30.0	-	43.4	26.7
	50歳代	45	6.7	22.2	35.6	6.7	24.4	4.4	28.9	42.3
	60歳代	57	5.3	28.1	36.8	12.3	17.5	-	33.4	49.1
	70歳代	68	4.4	20.6	32.4	4.4	30.9	7.4	25.0	36.8
	80歳以上	43	-	11.6	25.6	11.6	41.9	9.3	11.6	37.2
女性	10~20歳代	19	-	36.8	15.8	10.5	36.8	-	36.8	26.3
	30歳代	16	6.3	31.3	18.8	18.8	25.0	-	37.6	37.6
	40歳代	45	11.1	22.2	33.3	8.9	22.2	2.2	33.3	42.2
	50歳代	58	10.3	19.0	20.7	8.6	41.4	-	29.3	29.3
	60歳代	52	1.9	28.8	30.8	3.8	30.8	3.8	30.7	34.6
	70歳代	68	1.5	14.7	16.2	7.4	47.1	13.2	16.2	23.6
	80歳以上	30	-	6.7	10.0	3.3	60.0	20.0	6.7	13.3

問34 ⑫ DV被害者のための相談体制

DV被害者のための相談体制の進捗については、「わからない」が44.1%と最も高くなっています。また、「あまり進んでいない」(22.6%)と「全く進んでいない」(7.7%)を合わせた『進んでいない』割合は30.3%と3割を占めています。

性別でみると、「男性」で「あまり進んでいない」(25.8%)と「全く進んでいない」(7.7%)を合わせた『進んでいない』の割合が33.5%と3割を超えている一方で、「女性」では「わからない」が49.7%と5割近くを占めています。

性年代別でみると、「男性」の「60歳代」で「あまり進んでいない」(40.4%)と「全く進んでいない」(10.5%)を合わせた『進んでいない』の割合が50.9%と5割を占めています。一方で、「女性」の「50歳代」・「80歳以上」で「わからない」が6割を占めています。



<性年代別クロス表>

(%)

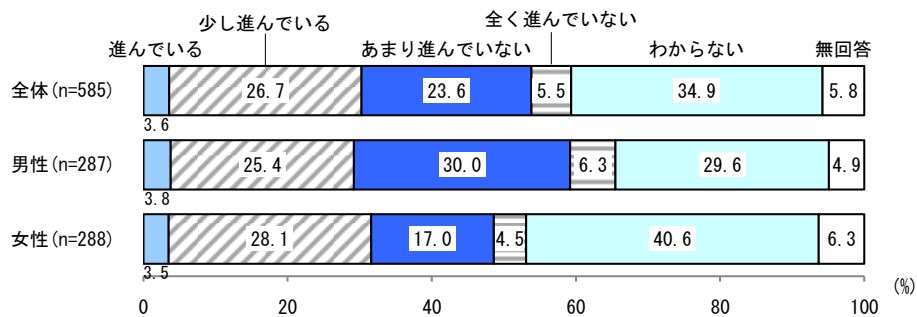
		調査数	進んでいる	少し進んでいない	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	2.1	17.6	22.6	7.7	44.1	6.0	19.7	30.3
男性	10~20 歳代	21	4.8	28.6	19.0	4.8	38.1	4.8	33.4	23.8
	30 歳代	22	4.5	18.2	36.4	9.1	31.8	-	22.7	45.5
	40 歳代	30	3.3	26.7	26.7	6.7	36.7	-	30.0	33.4
	50 歳代	45	4.4	15.6	17.8	8.9	48.9	4.4	20.0	26.7
	60 歳代	57	3.5	22.8	40.4	10.5	22.8	-	26.3	50.9
	70 歳代	68	-	20.6	22.1	2.9	45.6	8.8	20.6	25.0
	80 歳以上	43	-	16.3	18.6	11.6	41.9	11.6	16.3	30.2
女性	10~20 歳代	19	-	31.6	15.8	10.5	42.1	-	31.6	26.3
	30 歳代	16	6.3	6.3	18.8	25.0	43.8	-	12.6	43.8
	40 歳代	45	6.7	15.6	31.1	6.7	37.8	2.2	22.3	37.8
	50 歳代	58	-	13.8	20.7	5.2	60.3	-	13.8	25.9
	60 歳代	52	1.9	23.1	23.1	7.7	40.4	3.8	25.0	30.8
	70 歳代	68	-	10.3	14.7	7.4	54.4	13.2	10.3	22.1
	80 歳以上	30	-	3.3	10.0	3.3	60.0	23.3	3.3	13.3

問34 ⑬ 生涯にわたる健康についての情報提供や相談体制

生涯にわたる健康についての情報提供や相談体制の進捗については、「わからない」が34.9%と最も高くなっています。

性別で見ると、「男性」で「あまり進んでいない」(30.0%)と「全く進んでいない」(6.3%)を合わせた『進んでいない』の割合が36.3%と3割を超えている一方で、「女性」では「わからない」が40.6%と4割を占めています。

性年代別で見ると、「男性」の「10～20歳代」で「進んでいる」(14.3%)と「少し進んでいる」(28.6%)を合わせた『進んでいる』の割合が42.9%と4割を超えています。一方で、「男性」の「60歳代」で「あまり進んでいない」(42.1%)と「全く進んでいない」(10.5%)を合わせた『進んでいない』の割合が52.6%と5割を超えています。また、「女性」の「50歳代」で「わからない」が50.0%と5割を占めています。



<性年代別クロス表>

(%)

		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	3.6	26.7	23.6	5.5	34.9	5.8	30.3	29.1
男性	10～20 歳代	21	14.3	28.6	23.8	4.8	23.8	4.8	42.9	28.6
	30 歳代	22	-	31.8	27.3	9.1	31.8	-	31.8	36.4
	40 歳代	30	3.3	23.3	26.7	3.3	43.3	-	26.6	30.0
	50 歳代	45	2.2	20.0	31.1	-	42.2	4.4	22.2	31.1
	60 歳代	57	5.3	26.3	42.1	10.5	15.8	-	31.6	52.6
	70 歳代	68	2.9	26.5	26.5	8.8	26.5	8.8	29.4	35.3
	80 歳以上	43	2.3	25.6	25.6	4.7	30.2	11.6	27.9	30.3
女性	10～20 歳代	19	-	36.8	15.8	5.3	42.1	-	36.8	21.1
	30 歳代	16	12.5	25.0	18.8	-	43.8	-	37.5	18.8
	40 歳代	45	6.7	26.7	26.7	4.4	33.3	2.2	33.4	31.1
	50 歳代	58	1.7	27.6	15.5	5.2	50.0	-	29.3	20.7
	60 歳代	52	1.9	34.6	17.3	5.8	36.5	3.8	36.5	23.1
	70 歳代	68	1.5	25.0	14.7	5.9	39.7	13.2	26.5	20.6
	80 歳以上	30	6.7	23.3	10.0	-	40.0	20.0	30.0	10.0

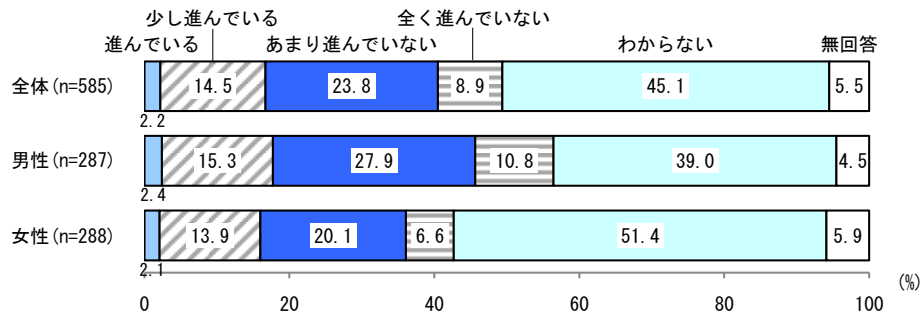


問34 ⑭ 性的マイノリティであるかどうかを問わずに、全ての市民が平等に生活できる社会に向けた支援

性的マイノリティであるかどうかを問わずに、全ての市民が平等に生活できる社会に向けた支援の進捗については、「わからない」が45.1%と最も高くなっています。また、「あまり進んでいない」(23.8%)と「全く進んでいない」(8.9%)を合わせた『進んでいない』の割合は32.7%と、3割を超えています。

性別でみると、「男性」で「あまり進んでいない」(27.9%)と「全く進んでいない」(10.8%)を合わせた『進んでいない』の割合が38.7%と4割近くを占めている一方で、「女性」で「わからない」が51.4%と5割を占めています。

性年代別でみると、「男性」の「10～20歳代」で「進んでいる」(9.5%)と「少し進んでいる」(28.6%)を合わせた『進んでいる』の割合が38.1%と4割近くを占めています。一方で、「女性」の「10～20歳代」・「50歳以上」で「わからない」が5割を超えています。



<性年代別クロス表>

(%)

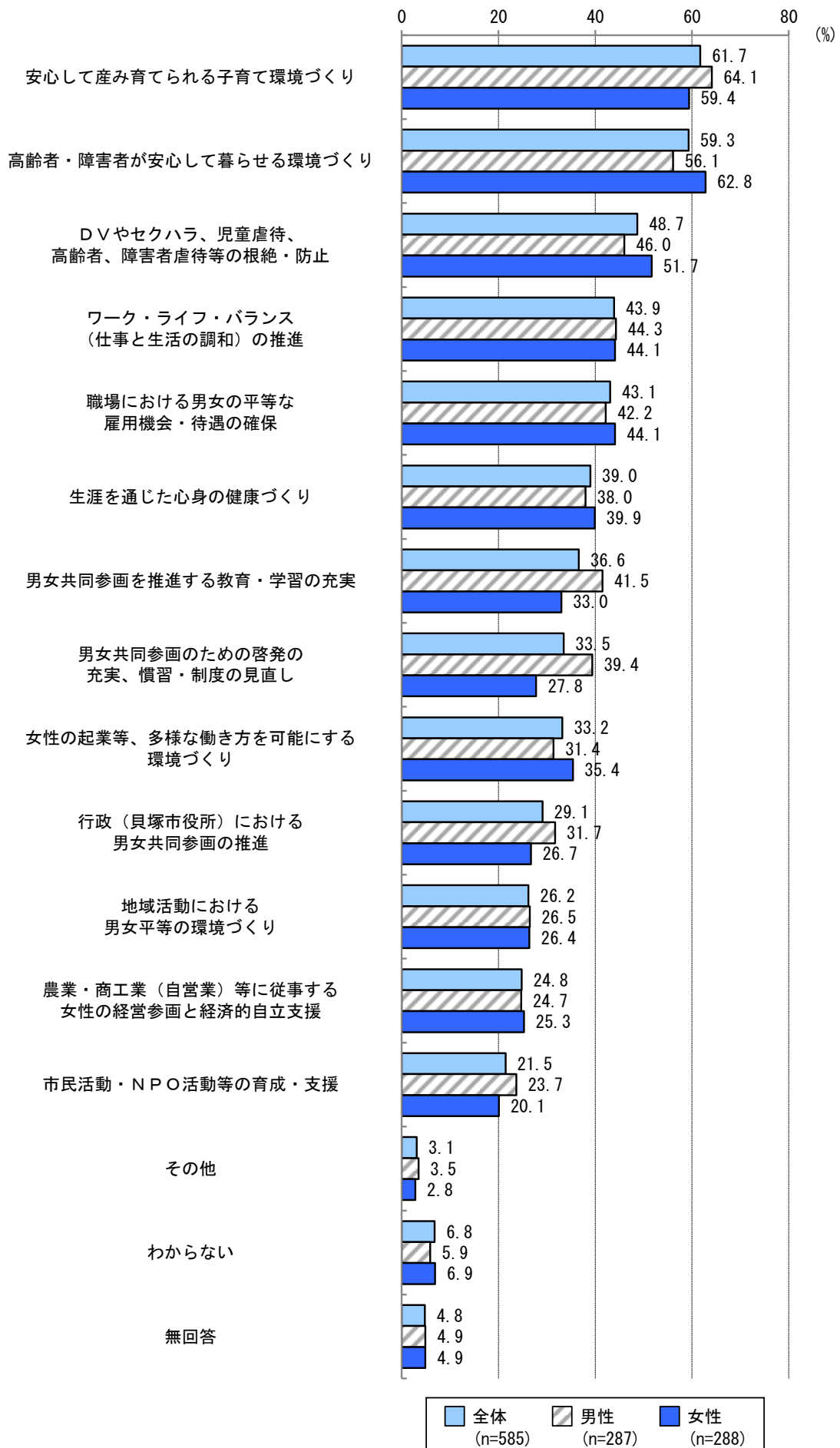
		調査数	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない	無回答	『進んでいる』計	『進んでいない』計
全体		585	2.2	14.5	23.8	8.9	45.1	5.5	16.7	32.7
男性	10～20歳代	21	9.5	28.6	14.3	19.0	23.8	4.8	38.1	33.3
	30歳代	22	-	9.1	40.9	13.6	36.4	-	9.1	54.5
	40歳代	30	3.3	23.3	26.7	3.3	43.3	-	26.6	30.0
	50歳代	45	2.2	15.6	22.2	6.7	48.9	4.4	17.8	28.9
	60歳代	57	3.5	15.8	36.8	14.0	29.8	-	19.3	50.8
	70歳代	68	-	13.2	26.5	11.8	41.2	7.4	13.2	38.3
	80歳以上	43	2.3	9.3	25.6	9.3	41.9	11.6	11.6	34.9
女性	10～20歳代	19	-	15.8	21.1	10.5	52.6	-	15.8	31.6
	30歳代	16	6.3	6.3	31.3	12.5	43.8	-	12.6	43.8
	40歳代	45	4.4	20.0	24.4	11.1	37.8	2.2	24.4	35.5
	50歳代	58	-	13.8	17.2	10.3	58.6	-	13.8	27.5
	60歳代	52	1.9	15.4	25.0	3.8	50.0	3.8	17.3	28.8
	70歳代	68	2.9	14.7	17.6	2.9	50.0	11.8	17.6	20.5
	80歳以上	30	-	3.3	10.0	-	66.7	20.0	3.3	10.0

問35 男女共同参画をすすめるために、今後、貝塚市が特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

男女共同参画をすすめるために貝塚市が力を入れるべきだと思うことについては、「安心して産み育てられる子育て環境づくり」が61.7%と最も高く、次いで「高齢者・障害者が安心して暮らせる環境づくり」(59.3%)、「DVやセクハラ、児童虐待、高齢者、障害者虐待等の根絶・防止」(48.7%)となっています。

性別で見ると、「男性」で「安心して産み育てられる子育て環境づくり」が64.1%と6割を超え最も高い一方で、「女性」では「高齢者・障害者が安心して暮らせる環境づくり」が62.8%と、6割を超え最も高くなっています。

性年代別で見ると、「男性」の「10～20歳代」で「男女共同参画を推進する教育・学習の充実」が57.1%と全体より20.5ポイント高くなっています。「男性」の「30歳代」では「安心して産み育てられる子育て環境づくり」が81.8%と8割を超え、全体より20.1ポイント高くなっています。「女性」の「10～20歳代」では「職場における男女の平等な雇用機会・待遇の確保」(63.2%)、「地域活動における男女平等の環境づくり」(47.4%)が、それぞれ全体より20ポイント程度高くなっています。



<性年代別クロス表>

(%)

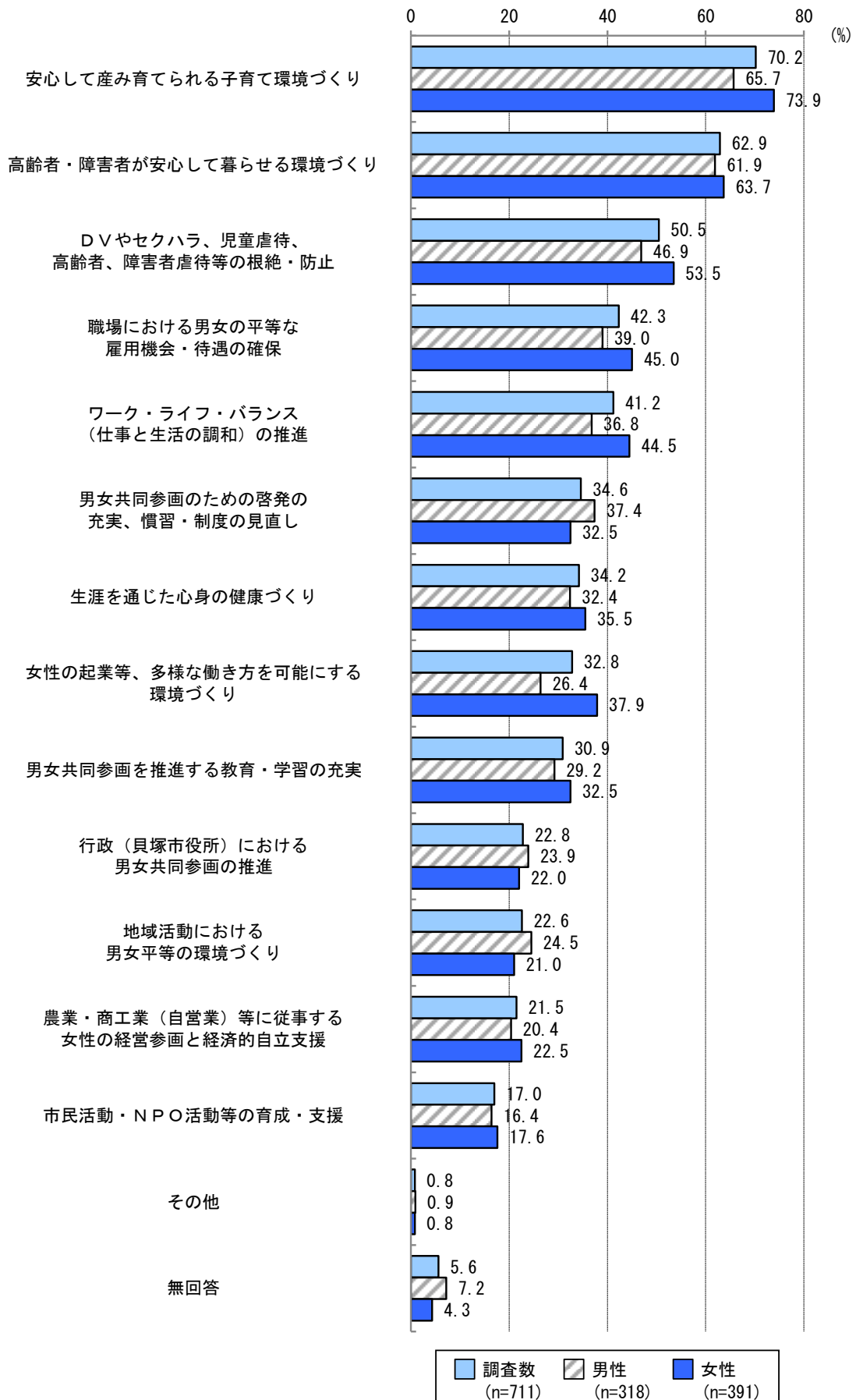
		調査数	慣習・制度の見直し 男女共同参画のための啓発の充実、	学習の充実 男女共同参画を推進する教育・	DVやセクハラ、児童虐待、高齢者、 障害者虐待等の根絶・防止	雇用機会・待遇の確保	職場における男女の平等な	農業・商工業（自営業）等に従事する 女性の経営参画と経済的自立支援	女性の起業等、多様な働き方を 可能にする環境づくり	ワーク・ライフ・バランス （仕事と生活の調和）の推進	安心して産み育てられる 子育て環境づくり	
全体		585	33.5	36.6	48.7	43.1	24.8	33.2	43.9	61.7		
男性	10～20 歳代	21	42.9	57.1	42.9	47.6	28.6	19.0	52.4	57.1		
	30 歳代	22	27.3	36.4	22.7	31.8	18.2	31.8	59.1	81.8		
	40 歳代	30	20.0	36.7	36.7	40.0	10.0	33.3	43.3	53.3		
	50 歳代	45	35.6	31.1	48.9	40.0	20.0	40.0	48.9	48.9		
	60 歳代	57	47.4	43.9	47.4	42.1	29.8	29.8	45.6	71.9		
	70 歳代	68	36.8	41.2	48.5	42.6	26.5	27.9	35.3	66.2		
	80 歳以上	43	53.5	46.5	55.8	46.5	30.2	32.6	39.5	67.4		
女性	10～20 歳代	19	47.4	52.6	68.4	63.2	26.3	47.4	57.9	78.9		
	30 歳代	16	12.5	31.3	37.5	56.3	37.5	50.0	50.0	87.5		
	40 歳代	45	35.6	40.0	51.1	48.9	28.9	46.7	62.2	62.2		
	50 歳代	58	24.1	29.3	51.7	46.6	27.6	36.2	53.4	50.0		
	60 歳代	52	26.9	34.6	50.0	44.2	23.1	34.6	32.7	57.7		
	70 歳代	68	23.5	27.9	50.0	32.4	22.1	25.0	38.2	55.9		
	80 歳以上	30	30.0	26.7	56.7	40.0	20.0	26.7	20.0	56.7		
全体		調査数	暮らしを 暮らせる環境づくり	高齢者・ 障害者が 安心して	健康づくり	生涯を通じた心身の	地域活動における 男女平等の環境づくり	市民活動・NPO活動等の 育成・支援	行政（貝塚市役所）における 男女共同参画の推進	その他	わからない	無回答
全体		585	59.3	39.0	26.2	21.5	29.1	3.1	6.8	4.8		
男性	10～20 歳代	21	33.3	38.1	38.1	14.3	23.8	4.8	4.8	4.8		
	30 歳代	22	40.9	40.9	27.3	22.7	22.7	13.6	9.1	-		
	40 歳代	30	40.0	26.7	13.3	6.7	13.3	10.0	10.0	-		
	50 歳代	45	48.9	17.8	20.0	20.0	26.7	2.2	8.9	4.4		
	60 歳代	57	63.2	38.6	26.3	35.1	33.3	-	3.5	3.5		
	70 歳代	68	73.5	44.1	26.5	23.5	36.8	2.9	5.9	4.4		
	80 歳以上	43	55.8	55.8	37.2	30.2	46.5	-	2.3	14.0		
女性	10～20 歳代	19	57.9	47.4	47.4	21.1	36.8	5.3	10.5	-		
	30 歳代	16	43.8	25.0	37.5	25.0	31.3	-	6.3	-		
	40 歳代	45	55.6	40.0	26.7	17.8	20.0	6.7	6.7	-		
	50 歳代	58	70.7	46.6	25.9	17.2	24.1	-	6.9	1.7		
	60 歳代	52	59.6	36.5	25.0	19.2	30.8	1.9	7.7	5.8		
	70 歳代	68	76.5	38.2	22.1	25.0	27.9	2.9	4.4	10.3		
	80 歳以上	30	46.7	40.0	20.0	16.7	23.3	3.3	10.0	10.0		

● 問35 前回調査との比較

男女共同参画をすすめるために貝塚市が力を入れるべきだと思うことについて、前回調査と比較すると、「行政（貝塚市役所）における男女共同参画の推進」・「男女共同参画を推進する教育・学習の充実」が、前回調査より全体で5ポイント以上増加しています。

性別で見ると、「男性」で、「男女共同参画を推進する教育・学習の充実」が、前回調査より12.3ポイント増加しています。また、「女性」で、「安心して産み育てられる子育て環境づくり」が、前回調査より14.5ポイント減少しています。

【前回調査】



問36 最後に、貝塚市に対して、「男女平等」や「男女共同参画」に関するご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

男女共同参画社会実現のための意見、要望については、154件の自由記述が寄せられました。以下に主な意見を抜粋したものを掲載しています。

※下記の自由記述については原文ままで掲載。

#### <男女共同参画・男女平等について>

- ・市が動くのは当然だが、そもそも国が変わらないと貝塚市民だけが男女平等に対応できても、世に出ればギャップが必ず応じるので、そもそも国に問題がある。しかし時代遅れな世の中なので、貝塚市から発展できれば素晴らしいと思う。日本教育を見直し、幼少期から性への認識を高め、思春期など大切な時期には互いを尊重し合えるようできればいいと思う。現大人に対しては、メディアや政治が動かないと堅い考えが取れないので柔軟に早期に動くべき。長期戦な課題なので、早い改善がみられることを期待しています。専門家ではないので、あとは宜しくお願いします。(10~20歳代女性)
- ・男女平等について教えるのはごもっともとは思いますが、性的マイノリティに関しては消極的と言わざるを得ません。権利について考える前に認知されていない現実を何とかしてほしいです。無関心が生む無意識的な差別が根強く残っている現状。パートナーシップ制度以前の問題かと思えます。法律上の認知が得られて初めて権利が得られると考えています。市職員への教育を行い、まずは職員の認知を得てから政策について考えてみてはいかがでしょうか(大阪市や伊丹市参照)。(30歳代男性)
- ・言葉や文字での意識づけは必要だと思うが、実際の生活の中ではすすんでいないことが多いと感じる。貝塚市役所も含め、貝塚市の中から仕事での給料や対偶に差をつけないことを率先してやってほしい。(40歳代女性)
- ・政治や事業に女性登用~%以上など数字ありきはどうかと思う。逆に能力(感情的にならず、客観的に考察できる等)があれば、全員でも構わないと思えます。男女平等などは本来、法令・条例で定めるものでなく、教育の中で育てていくものだと思います。子育ての中で、子供に法体系で教育した事は一度もありません。”良い” ”悪い”をしっかりと教え、”人”として関係を築いてくれています。教える人の教育から教わる人への教育が始まると思えます。それが、性別などを越えた人としての平等・共同参画につながると考えています。(50歳代男性)
- ・何かの催しで多勢の人が集まる時に、少しだけ「男女平等」「男女共同参画」等、催しとは違っていても話をするとか、興味のない人にでも少しずつ訴えかける事が必要だと思う。もともと「男女平等」等に関心がある人ばかりで進めている傾向があるので、幅広く広めていく事が推進になると思う。(50歳代女性)
- ・国への要望になりますが、選択的男女別氏制度になってほしい。家事・育児に男性も参加なんて言いますが男性も主役でやらないといけません。意識改革はまだまだです。市会議員・市長も女性が出てきてほしい。(60歳代女性)
- ・男女平等、共同参画に平等でないとは思っていませんが、行政による多様で自由な社会の推進を望んでいる。(70歳代男性)

## <子育てについて>

---

- ・男女平等に関しては、保育の部分が大きく影響すると思います。子供を産みやすい環境を作り、保育士の拡充、保育費の無償(0~3才)を実施し、女性が社会復帰しやすい状況ができてから、やっと対等に話し合えると思います。今の枠組みを変えずに男女平等、共同参画というのは、なかなか難しいと思います。いろいろな事業が単独で動くように思われがちですが、いろいろな部分でつながっていると考えます。まずは出生率UP、子育てを第一に取り組んで頂きたいです。(40歳代男性)
- ・高齢になる程、男性の方は昔の慣習が抜けていらっしゃらないと感じます。当たり前と思っていた時代に育てられた男性優先の社会。能力ある女性はどんどん採用して平等に判断し、社会に貢献できる人材を育ててほしいと願います。男性も子育てに参加し易い情報提供の充実。子供を出産した後の不安等の相談できる方を地域に増やしていったら良いのではないかと思います。(60歳代女性)

## <教育について>

---

- ・道徳教育の充実・推進など。(40歳代男性)
- ・教育の大切さ、女性が仕事を持つ事の重要性を教育の場で。仕事さえ持てば、DVがあっても離別できる。女性の意識改革が必要、このようなアンケート、デジタル化できませんか？人件費も郵送費ももったいない。貝塚市のデジタル化の遅れはヒドイです。もっとがんばってください。情けない。(50歳代女性)
- ・人としての有り方を学校教育で徹底して教える。いじめや差別等が何故いけないのかを小さい頃からの教育が足りない。(60歳代男性)

## <地域活動・まちづくりについて>

---

- ・若い年代の女性が働きやすく、暮らしやすい(子育てしやすい)まちづくりを盛んにしてほしい。(10~20歳代女性)
- ・公園の整備をしてほしい、草花(緑)をふやしてほしい、街並をキレイにしてほしい。(40歳代女性)
- ・高齢者が健康で日々過ごせる体力作りができるような場所、地域の集会場所等利用できないのでしょうか。(70歳代女性)



## <行政の取組について>

---

- ・広報活動の在り方、各自治体に参加していない方には広報かいつかを見る機会が少ない。また、高齢者で目が悪く、文字を見れない方や億劫な方もおられると思う。全市民に行き渡るための広報活動の画策に力を入れることも必要かと思います。(50歳代男性)
- ・行政が主導になって環境整備を行ってほしい。(50歳代男性)
- ・子供・高齢者・障害者に対してのアンケートや意見を言えるものが、あればいいと思います。(50歳代女性)
- ・公報等、様々な機会に啓発的なイラスト、ロゴ、見出しなど、わかりやすい言葉などで定期的に発信していけばどうか。(60歳代男性)
- ・意見や希望を聞かせて下さいと言われても、文章に書くのは「苦手」で、言葉で話すのは楽である。市役所で1つTELコーナーを設けていつでも聞いてほしい、・女性がもっと家庭から社会に出るようにして、社会性を身につけ、役員や議員になり意見を言うようにする。女性議員を多くしていく、女性の生活しやすい社会にしていく。(70歳代女性)

## <アンケートについて>

---

- ・第3期コスモスプランとアンケート結果をしっかりと分析して何が問題で解決するための具体的方策を誰にでもわかりやすく、実効性のあるプランを策定してほしい。そのプランの評価は誰が行うのかも作成時点で定めておくと良いと思います。言葉を並べるだけなのは誰でもできます。きれいごとではなく、1つでも良いから、成果として得られるものを期待します。(50歳代男性)
- ・アンケートに答え、自分があまり関心を持っていないことに気づいた。自分の住んでいる町・市での取り組みをもっと知っておく必要があると感じた。関係ないことですが、アンケートの返信用の封筒が小さすぎると思います。(50歳代女性)
- ・貝塚市の取組み内容については全く知りませんでした。今後は色々な機会を通じて見ていこうと思います。(60歳代男性)
- ・年のいった私には少し難しいアンケートでした。(70歳代女性)

### Ⅲ 調査票

## 貝塚市男女共同参画市民意識調査へのご協力をお願い

日頃は、貝塚市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

貝塚市では平成 25 年 3 月に「貝塚市男女共同参画計画（第 3 期）コスモスプラン」を策定し、「互いを尊重し、個性や能力を発揮できる、元気な貝塚市」を基本理念とし、取り組みを進めてまいりました。現行の計画は令和 4 年度で終了となるため、来年度「貝塚市男女共同参画計画（第 4 期）コスモスプラン」の策定を予定しています。

この調査はその基礎資料とするため、貝塚市にお住まいの 18 歳以上の方を性別・年齢階層別に無作為に 2,000 人選び、実施するものです。答えていただいた内容は、個人が特定されたり、他に漏れたり、他の目的に利用されることは一切ありませんので、ご安心ください。

この調査結果については、男女共同参画社会の実現に向けて、よりよい施策の展開に役立ててまいります。

みなさまのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和 4 年 6 月 貝塚市

#### 【調査について】

- ◇ 調査の結果は、統計的な集計・分析だけに用いられますので、ご回答いただいた内容が外部に漏れることや、他の目的で使用されることは一切ございません。

#### 【ご記入にあたって】

- ◇ 調査票はあて名のご本人がご回答いただきますようお願いいたします。ご本人による記入が困難な場合は、ご本人の同意のうえでご家族などの代筆をお願いします。
- ◇ ご回答は、えんぴつ、ボールペンなどではっきりとご記入ください。
- ◇ お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。○をつける数は、「1つ」、「あてはまるものすべて」など質問によって異なりますので、指示に従ってご回答ください。
- ◇ 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、( ) 内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
- ◇ 設問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がございますので、注意書きをよくお読みください。
- ◇ 回答が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、6 月 30 日（木）までにご返送ください。返信用封筒にはお名前などは書かないでください。

本調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

貝塚市役所 都市政策部 人権政策課  
〒597-8585 大阪府貝塚市畠中 1 丁目 17 番 1 号  
TEL : 072-433-7160 (直通) FAX : 072-433-7511 (代表)

あなた自身とご家族のことについてお伺いします。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性      2. 女性      3. 1、2のどちらでもない      4. 答えたくない

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

1. 18・19歳      2. 20歳代      3. 30歳代      4. 40歳代  
5. 50歳代      6. 60歳代      7. 70歳代      8. 80歳以上

問3 あなたのご家族の構成は次のどれですか。(○は1つ)

1. 単身(ひとり暮らし)      2. 夫婦・パートナーのみ  
3. 2世代家族(親と子)      4. 3世代家族(親と子と孫、親と子と祖父母など)  
5. その他(具体的に )

問4 あなたの主なお仕事をお答えください。(○は1つ)

1. 常時雇用されている正規社員      2. パート・アルバイト・派遣社員等  
3. 自営業      4. その他の収入をともなう職業  
5. 家事専業      6. 学生  
7. その他無職(年金受給者を含む)      8. 1～7以外(具体的に )

問4で「1～4」のいずれかを答えた方にお伺いします。

問5 あなたの1日の労働時間(残業・通勤時間を含む)の平均と1日の家事時間の平均は次のうちどれですか。(各項目で○は1つずつ)

①労働時間	②家事時間
1. 4時間未満	1. 4時間未満
2. 4時間～6時間未満	2. 4時間～6時間未満
3. 6時間～8時間未満	3. 6時間～8時間未満
4. 8時間～10時間未満	4. 8時間～10時間未満
5. 10時間～12時間未満	5. 10時間～12時間未満
6. 12時間以上	6. 12時間以上

問6 あなたは結婚をされていますか。(○は1つ)

- |           |                         |       |
|-----------|-------------------------|-------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していないがパートナーと暮らしている |       |
| 3. 離別     | 4. 死別                   | 5. 未婚 |

問6で「1」、「2」のいずれかを答えた方にお伺いします。

問7 あなたの配偶者・パートナーの主なお仕事をお答えください。(○は1つ)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 常時雇用されている正規社員   | 2. パート・アルバイト・派遣社員等 |
| 3. 自営業             | 4. その他の収入をともなう職業   |
| 5. 家事専業            | 6. 学生              |
| 7. その他無職(年金受給者を含む) | 8. 1～7以外(具体的に )    |

問7で「1～4」と答えた方にお伺いします。

問8 あなたの配偶者・パートナーの1日の労働時間(残業・通勤時間を含む)の平均と1日の家事時間の平均は次のうちどれですか。(各項目で○は1つずつ)

①労働時間	②家事時間
1. 4時間未満	1. 4時間未満
2. 4時間～6時間未満	2. 4時間～6時間未満
3. 6時間～8時間未満	3. 6時間～8時間未満
4. 8時間～10時間未満	4. 8時間～10時間未満
5. 10時間～12時間未満	5. 10時間～12時間未満
6. 12時間以上	6. 12時間以上

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてお伺いします。

ここからは全員の方にお伺いします。

問9 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」について、どの程度知っていますか。（○は1つ）

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 言葉の意味や内容を知っている | 2. 言葉は聞いたことがある |
| 3. 知らない           |                |

～ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは～

老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の趣味など、様々な活動について、自ら希望するバランスで実現できる状態のことです。

問10 あなたの生活は次のどれにあてはまりますか。（①・②のそれぞれに○は1つずつ）

	「仕事」を優先	「家庭や地域活動」を優先	「個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先	「仕事」と「個人の生活」をともに優先	「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先
①実際の生活	1	2	3	4	5	6	7
②理想の生活	1	2	3	4	5	6	7

問11 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうかお考えですか。（○は1つ）

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 女性は職業をもたない方がよい                    |
| 2. 結婚・出産に関わらず、職業をもち続ける方がよい           |
| 3. 結婚するまでは、職業をもち続ける方がよい              |
| 4. 子どもができるまでは、職業をもち続ける方がよい           |
| 5. 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい |
| 6. その他（具体的に )                        |
| 7. わからない                             |

問 12 仕事をもち続けることを希望する人が、出産・子育て・介護などの理由で仕事を辞めずに働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進
2. 労働時間の短縮や子育て中の社員に対する残業免除
3. 在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入
4. 育児休業・介護休業中の賃金の補てんやその他の経済的支援の充実
5. 職場における男女の差別的取り扱いの是正
6. 育児や介護のための施設やサービスの充実
7. 働くことに対する家族や周囲の理解や協力
8. 自分や家族の健康
9. 家事や育児、介護等への家族の参加
10. その他（具体的に \_\_\_\_\_）
11. わからない

問 13 再就職を希望する人が、出産・子育て・介護などで仕事を辞めた後、再就職しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 就職情報の積極的な提供
2. 就職活動の疑問や不安を解消するための相談窓口の設置
3. 育児や介護のための施設やサービスの充実
4. 技能・技術を身に付けるための研修や職業訓練の機会の充実
5. 育児や介護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及
6. 労働時間の短縮やフレックスタイム制の導入
7. 働くことに対する家族や周囲の理解や協力
8. 自分や家族の健康
9. 家事や育児、介護等への家族の参加
10. その他（具体的に \_\_\_\_\_）
11. わからない

家庭での役割分担についてお伺いします。

問 14 家庭での夫婦の役割分担について、あなたはどうお考えですか。配偶者・パートナーが  
られない方は（１）の希望の生活のみお答えください。（（１）希望の生活、（２）現実の  
生活で、①～⑤のそれぞれについて、○は１つずつ）

	（１）希望の生活				（２）現実の生活			
	主として夫	夫婦同じくらい	主として妻	その他・あてはまらない	主として夫	夫婦同じくらい	主として妻	その他・あてはまらない
①家事（洗たく・掃除・食事等）	1	2	3	4	1	2	3	4
②しつけやあそびなど、日常生活での子育て	1	2	3	4	1	2	3	4
③近所づきあい	1	2	3	4	1	2	3	4
④高齢者・病人の世話・介護	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤特に子どもが3歳くらいまでの幼少期の世話	1	2	3	4	1	2	3	4

問 15 あなたは結婚や家庭についてどう思いますか。各項目についてあなたのお考えに最も近いものをお答えください。（①～④のそれぞれについて、○は１つずつ）

	賛成	い え は 賛 成	ど ち ら か と	い え は 反 対	ど ち ら か と	反 対	わ か ら な い
①結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5		
②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5		
③結婚しても必ずしも子どもはもたなくてよい	1	2	3	4	5		
④結婚しても相手に満足できないときは、離婚も仕方がない	1	2	3	4	5		



地域活動についてお伺いします。

問 16 は今までに自治会や町内会活動に参加したことがある方にお伺いします。

問 16 あなたの住んでいる自治会や町内会の活動では、次のようなことがありますか。(①～⑤のそれぞれについて○は1つずつ)

	ある	少しある	ない ほとんど	全くない
① 行事やイベントの企画は主に男性が決定している	1	2	3	4
② 代表者は男性から選ばれる	1	2	3	4
③ 女性は責任のある役を引き受けたがらない	1	2	3	4
④ お茶入れや食事の準備などは女性がしている	1	2	3	4
⑤ 女性は発言しにくい雰囲気がある	1	2	3	4

ここからは全員の方にお伺いします。

問 17 あなたがボランティア活動など、地域活動に参加しようとするとき、支障となるものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                              |
|------------------------|------------------------------|
| 1. 仕事が忙しく、時間がない        | 2. 子どもや高齢者の世話で時間がない          |
| 3. 経済的にゆとりがなく、働くことで精一杯 | 4. 自分のしたい活動をしているグループなどの情報がない |
| 5. 自分の健康や体力に自信がない      |                              |
| 6. その他(具体的に )          |                              |
| 7. 特に支障はない             |                              |

問 18 男女が仕事と家事や子育て・介護を両立し、地域活動に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること      |
| 2. 男性が家事や子育て・介護に参加することについて、社会的評価を高めること |
| 3. 夫婦の間で家事などの役割分担をするように充分話し合うこと        |
| 4. 労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること |
| 5. 小さいときから、男女ともに家事や育児に関する教育をすること       |
| 6. その他(具体的に )                          |
| 7. 特に必要なことはない                          |



男女平等に関する意識についてお伺いします。

問 19 あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。各項目についてあなたのお考えに最も近いものをお答えください。（①～⑨のそれぞれについて、○は1つずつ）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
①家庭生活	1	2	3	4	5	6
②就業の機会	1	2	3	4	5	6
③職場	1	2	3	4	5	6
④学校教育の場	1	2	3	4	5	6
⑤政治の場	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑧自治会やPTAなどの地域活動の場	1	2	3	4	5	6
⑨社会全体	1	2	3	4	5	6

問 20 男女が、家庭・職場・地域・政治などあらゆる分野に平等に参画し、共に協力していく社会を作っていくためには、次のうち何が重要であると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事と家庭が両立できる社会にしていくこと
2. 一人ひとりが、人権に関する制度や法律をよく知り、活用できるようになること
3. 保育所などの、女性の就労や社会参加を支える施設やサービスを充実させること
4. 男性中心の社会のしきたりや慣習を改めること
5. 家事・子育ての重要性について、社会が十分評価すること
6. 女性の社会参加や男性の家事・子育てへの参加の大切さを、家庭や学校で教育すること
7. 女性を管理職や政治の場に積極的に登用すること
8. その他（具体的に \_\_\_\_\_）
9. 特にない
10. わからない

性の多様性についてお伺いします。

問 21 あなたは、次の①～③について、どの程度ご存知ですか。

（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

	言葉の意味や内容を 知っている	言葉は聞いた ことがある	知らない
① ジェンダー	1	2	3
② LGBT	1	2	3
③ SOGI	1	2	3

～ジェンダーとは～

生まれつきの生物学的性別(セックス/sex)とは別に、社会によって作り上げられた「男らしさ」、「女らしさ」といった男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」(ジェンダー/gender)と言います。

～LGBTとは～

次の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的マイノリティ（性的なありかたを理由として社会的に弱い立場に置かれた人）を表す言葉の一つとして使われることもあります。レズビアン(Lesbian):女性の同性愛者(心の性が女性で恋愛対象も女性)、ゲイ(Gay):男性の同性愛者(心の性が男性で恋愛対象も男性)、バイセクシャル(Bisexual):両性愛者(恋愛対象が女性にも男性にも向いている)、トランスジェンダー(Transgender):「身体の性」は男性でも「心の性」は女性というように、「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人。

～SOGIとは～

次の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、全ての人に関わる概念です。性的指向(Sexual Orientation):どのような性別の人を好きになるか、性自認(Gender Identity):自分の性をどのように認識しているのか。

問 22 現在、性的マイノリティの方々にとって、偏見や差別などにより生活しづらい社会だと思  
いますか。(〇は1つ)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1. そう思う            | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそうは思わない | 4. そうは思わない      |
| 5. わからない           |                 |

→問 22 で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答した方にお伺いします。

問 23 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、性的マイノリティの方々が生  
活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 行政が住民等へ周知啓発を行う                                      |
| 2. 相談窓口を充実させ、周知する                                      |
| 3. 生徒や住民への対応を想定し、幼稚園・認定こども園・小中学校などの教員や行政職員への<br>研修等を行う |
| 4. 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換を行う                          |
| 5. 働きやすい環境づくりの取り組みをする                                  |
| 6. その他(具体的に )  |
| 7. わからない   |

女性視点での防災についてお伺いします。

ここからは全員の方にお伺いします。

問 24 防災や震災対応に女性が参画するために、どのような施策が必要だと思えますか。  
(あてはまるものすべてに〇)

- |  |
|--|
| 1. 市の防災会議や災害対策本部に女性の委員・職員を増やす                  |
| 2. 地域防災拠点の運営に女性も参画できるようにする                     |
| 3. 女性も男性も防災活動や訓練に取り組む                          |
| 4. 備蓄品について女性の視点を入れる                            |
| 5. 女性に配慮した避難所マニュアルなどをつくり、女性が安全に過ごせるようにする       |
| 6. 防災や災害現場で活動する女性のリーダーを育成する                    |
| 7. 日ごろからの男女平等、男女共同参画意識を高める                     |
| 8. 性別や立場によって異なる災害時の備え(生活環境・物資・安全など)について知識を普及する |
| 9. その他(具体的に )                                  |
| 10. わからない                                      |

DV（ドメスティック・バイオレンス）についてお伺いします。

問 25 あなたは、次の①・②について、どの程度ご存知ですか。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

	内容を 知っている	言葉の意味や 言葉は聞いた ことがある	知らない
① DV	1	2	3
② デートDV	1	2	3

～DV(ドメスティック・バイオレンス)とは～

Domestic Violence の頭文字を取って組み合わせた言葉で、配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあつた者から振るわれる暴力のことを意味します。身体的暴力だけでなく、精神的暴力、性的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力、行動の制限などの社会的暴力なども含みます。

～デートDVとは～

交際相手からの暴力被害のことを意味し、上記と同様、身体的暴力だけでなく、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力、社会的暴力なども含みます。

問 26 あなたは、以下のようなことを配偶者やパートナー、交際相手に「したこと」または「されたこと」がありますか。（①～⑪のそれぞれについてあてはまるものすべてに○）

	した こと がある	され たこ と がある	ど ち ら も な い
① 生命の危機を感じるほどの暴力をふるう	1	2	3
② 平手でぶつ、足でける、物をなげつける	1	2	3
③ 殴るふりをしておどしたり、暴れて物を壊す	1	2	3
④ 嫌がるのに、性的な行為を強要する	1	2	3
⑤ 避妊に協力しない	1	2	3
⑥ 「誰のおかげで生活できてんだ」などと言う	1	2	3
⑦ 生活費を渡さない、家計等に必要なお金を出してもらえない	1	2	3
⑧ 交友関係や電話、郵便物等を細かく監視したり、外出を制限する	1	2	3
⑨ 大声でどなる	1	2	3
⑩ 何を言っても、無視し続ける	1	2	3
⑪ 「別れたら死ぬ」などと言う	1	2	3

問 27 あなたは、上記のような行為すべてがDV（デートDV）にあてはまると知っていましたか。

（○は1つ）

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

問 26 で1つでも「2. されたことがある」と答えた方にお伺いします。

問 28 あなたはそのとき、だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。(○は1つ)

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| 1. 相談した | 2. 相談しなかった ⇒ 問 30へ |
|---------|--------------------|

問 28 で「1. 相談した」と答えた方にお伺いします。

問 29 どこ(だれ)に打ち明けたり相談したりしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 市や府など公的な女性相談 | 2. 市や府など公的な母子相談 |
| 3. 警察           | 4. 1～3以外の公的機関   |
| 5. 医療関係者        | 6. 民間の専門機関      |
| 7. 学校関係者        | 8. 家族や親せき       |
| 9. 友人・知人        | 10. 加害者に直接抗議した  |
| 11. その他(具体的に    | )               |

問 28 で「2. 相談しなかった」と答えた方にお伺いします。

問 30 あなたが、だれ(どこ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 相談しても無駄だと思った     | 2. 相談場所がわからなかった         |
| 3. 相談する人がいなかった      | 4. 自分さえがまんすればやっていけると思った |
| 5. 自分にも悪いところがあると思った | 6. 仕返しがこわかった            |
| 7. 他人を巻き込みたくなかった    | 8. 相談するほどではないと思った       |
| 9. その他(具体的に         | )                       |

ここからは全員の方にお伺いします。

問 31 DVをなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |   |
|---|---|
| 1. DVに関する広報・啓発活動を進め、社会的関心を高める             |   |
| 2. 男女平等や性に関する教育を充実する                      |   |
| 3. 被害を受けて悩んでいる人に対する情報提供や相談体制を充実する         |   |
| 4. 被害者が自立して生活できるように支援する                   |   |
| 5. 加害者に対するカウンセリングや教育などを進める                |   |
| 6. 加害者に対する処罰や監視の強化                        |   |
| 7. 早期発見・対応に向けた地域や社会におけるネットワークの構築と内容の充実を図る |   |
| 8. その他(具体的に                               | ) |
| 9. わからない                                  |   |

市の施策についてお伺いします。

問 32 あなたは、次の ①～⑦について、どの程度ご存知ですか。（それぞれ、あてはまるもの 1 つに○）

	言葉の意味や 内容を知っている	言葉は聞いた ことがある	知らない
① 貝塚市男女共同参画計画コスモスプラン	1	2	3
② 男女共同参画社会基本法	1	2	3
③ 女性活躍推進法	1	2	3
④ 女子（女性）差別撤廃条約	1	2	3
⑤ 男女雇用機会均等法	1	2	3
⑥ ポジティブ・アクション	1	2	3
⑦ 貝塚市パートナーシップ宣誓制度	1	2	3

～ポジティブ・アクションとは～

社会的・構造的な差別によって不利益を被っている人に対して、一定の範囲で特別の機会を提供することなどにより、実質的な機会均等を実現することを目的として講じる暫定的な措置のことを意味します。

～貝塚市パートナーシップ宣誓制度とは～

一方又は双方が性的マイノリティであるパートナーであって、お互いをその人生のパートナーとして相互に協力し合うことを約束した二人からパートナーシップの宣誓があった場合、宣誓書受領証を交付することにより、市が証明する制度です。宣誓制度は婚姻と同等の法律上の権利があることを証明するものではありませんが、一定の範囲で婚姻関係や事実婚と同様のサービスを受けられる場合があります。

問 33 男女平等を推進していくために、学校でどのような取り組みが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 学校生活の中で、性別による役割分担をなくす
2. 進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する
3. 男女平等の意識を育てる授業をする
4. 男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う
5. 校長や教頭に女性を増やしていく
6. 保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す
7. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）
8. 学校教育の中でする必要はない
9. わからない



問 34 あなたは、次のことについて、以前に比べて進んでいると思いますか。（それぞれについて○は1つずつ）

	進んでいる	少し進んでいる	あまり進んでいない	全く進んでいない	わからない
① 男女共同参画に対する理解	1	2	3	4	5
② 技能講習や労働相談など、女性が働くことに関する支援	1	2	3	4	5
③ 女性が、仕事や地域活動に参加するための保育サービス	1	2	3	4	5
④ 介護する家族の負担を軽減するための支援	1	2	3	4	5
⑤ 男性対象の子育て講座など、男性に対する子育て支援	1	2	3	4	5
⑥ 学校等における男女平等の意識を育てる教育	1	2	3	4	5
⑦ 男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担の見直し	1	2	3	4	5
⑧ 女性が、仕事や地域活動に参加することに対する家族の理解	1	2	3	4	5
⑨ 自治会やPTA、職場などにおいて、重要事項を決める会議への女性の参画	1	2	3	4	5
⑩ 職場における配置や昇進、職務分担などに対する男女格差の解消	1	2	3	4	5
⑪ セクシャル・ハラスメント防止のための啓発や、相談体制	1	2	3	4	5
⑫ DV被害者のための相談体制	1	2	3	4	5
⑬ 生涯にわたる健康についての情報提供や相談体制	1	2	3	4	5
⑭ 性的マイノリティであるかどうかを問わず、全ての市民が平等に生活できる社会に向けた支援	1	2	3	4	5

問 35 男女共同参画をすすめるために、今後、貝塚市が特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 男女共同参画のための啓発の充実、慣習・制度の見直し
2. 男女共同参画を推進する教育・学習の充実
3. DVやセクハラ、児童虐待、高齢者、障害者虐待等の根絶・防止
4. 職場における男女の平等な雇用機会・待遇の確保
5. 農業・商工業（自営業）等に従事する女性の経営参画と経済的自立支援
6. 女性の起業等、多様な働き方を可能にする環境づくり
7. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
8. 安心して産み育てられる子育て環境づくり
9. 高齢者・障害者が安心して暮らせる環境づくり
10. 生涯を通じた心身の健康づくり
11. 地域活動における男女平等の環境づくり
12. 市民活動・NPO活動等の育成・支援
13. 行政（貝塚市役所）における男女共同参画の推進
14. その他（具体的に )
15. わからない



問 36 最後に、貝塚市に対して、「男女平等」や「男女共同参画」に関するご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。用紙が足りない場合は別の用紙にご記入ください。


アンケートは以上です。  
記入漏れがないかもう一度ご確認のうえ、  
同封の返信用封筒にて 6月30日(木) までにご投函ください。  
ご協力ありがとうございました。



**令和4年度 貝塚市男女共同参画市民意識調査  
報告書**

発行年月：令和5年3月

発行：貝塚市 編集：都市政策部 人権政策課

〒597-8585 大阪府貝塚市畠中1-17-1

TEL：072-433-7160 FAX：072-433-7511



